

第七十一回
帝國議會
貴族院

船員法改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案(追加)

通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險
及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ
關スル法律案

昭和十二年八月五日(木曜日)午前十時十
三分開會

○委員長(侯爵西郷從德君) 只今カラ委員

會ヲ開會致シマス、御異存ナケレバ司法大
臣ガ御見エニナル迄質問ヲ御許シシタイト
思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○橋本辰二郎君 我ガ國ノ高級船員ハ非常
ニ缺乏ヲ致シテ居リマシテ、現在ニ於テモ
往々ニシテ船ノ出帆ニ差支ヲ生ズルト云フ
事態ガ發生シテ居ルノデアリマス、之ニ近
ク竣功スル所ノ新造船約、是ハ百萬噸アラ
ウト思ヒマス、之ニ要スル高級船員ハ千五
百名以上ヲ要スルト思ヒマスルガ、此ノ補
充ニ付キマシテ通信省ニ於キマシテハ如何
ナル處置ヲ御執リニナツテ居ルカ、ソレヲ伺
ヒタイト思ヒマス、尙此ノ高級船員ガ今日
ノ此ノ不足ヲ生ズルト云フコトハ、通信當
局トシテハ早く是ハ御承知ニナラナケレバ
ナラスコトデアッテ、之ニ對スル對策ハ疾ク

ニ講ゼラレル筈デアルニ拘ラズ、今日迄之
ニ對スル何ラノ對策ヲ見ルコトガ出來ズシ
テ、折角優秀船員出來テモ之ヲ海外ニ進出
セシムルニ支障ヲ來スト云フコトニナツタ
ノハ、誠ニ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、

三四年前ヨリシテ新造船ノ熱ハ非常ニ高マ
リマシテ、年々竣功スル船ハ相當ノ噸數ニ
上ツテ居ル、而シテ之ニ乗組ム船員ニ於キマ
シテハ何分不十分ヲ始終感ジテ居ッタ次第
デアリマス、ノミナラズ海運界不況ノ爲ニ
地方ノ商船學校ノ如キモノハ既ニ廢校シタ
モノガアリ、又官立ノ商船學校ニ於キマシ
テモ其ノ收容人員ヲ減ジタト云フヤウナコ
トモアツタノデアリマス、サウスレバ昨年若
シクハ今年、若シクハ明年ニ此ノ學校ヨリ
出ヅル所ノ生徒ノ數ト云フモノハ豫メ是ハ
分リ切ツタコトデアルト思ヒマスルガ、之ニ
對シマシテ今日ノ事態アルコトヲ豫想セラ
レマシテ、相當ナル處置ヲ御執リニナラナ
カッタト云フコトハ誠ニ通信當局ノ爲ニ惜
シムコトト私ハ思フノデアリマス、マア過
去ノコトハ免ニ角ト致シマシテ、此ノ焦眉
ノ急ニ應ズル對策ニ付キマシテドウ云フ手
段ヲ御執リニナツテ居ルカ、又ソレニ依ッテ

海員ノ不足ヲ十分補充スルコトガ出來ルト
云フ御自信ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ、
其ノ事ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(小野猛君) 御尤モナ御質問デ

アリマス、實ハ此ノ船員ノ供給ト云フコト
ハ私共ノ方デ非常ニ慎重ニ考ヘテ居リマシ
タノデ、御承知ノヤウニ非常ニ先走ッテ養成
スルト云フコトニナリマス、見込ヲ違ヒマ
スト忽チニ失業業者ガ出ルト云フヤウナコ
トデ、失業問題ニ關聯致シマシテ、慎重ニ
慎重ナ態度ヲ執ッテ居ッタノデアリマス、唯
昨年ノ海運國策ト云フモノヲ樹テマスル際
ニ於キマシテハ、此ノ點ニ大イニ考慮ヲ拂ヒ
マシテ、海運國策ニ對應スルダケノコトハ
相當見込ヲ付ケテ居ッタノデアリマス、高級
海員ハ現在ノ海事協會ニ於ケル登錄ノ數ト
云フモノカラ見マシテモ、大體足りハシナ
イカ、ソレカラ下級海員ニ付テハ幾分ノ練
習ヲ加ヘタモノニ付テ不足ヲ感ジハシナイ
カト思ヒマシタノデ、昨年ノ豫算デモ海員
救濟會ニ對スル海員養成費用ヲ相當要求シ
テ頂戴致シタヤウナ次第デアリマス、處ガ
御承知ノヤウニ昨年ノ暮カラ本年ノ初メ、
最近ニ掛ケマシテ世界ノ海運界ガ急騰シタ

ノデアリマス、此ノ豫想ガ付カナカッタカト
云フコトデアリマスガ、私共モ相當海運界ハ
好景氣ニナルモノトハ心得テ居ッタノデアリ
マスガ、斯クノ如ク急激ナル「カーヴ」ヲ描イテ
海運界ガ跳ネ返ヘラウト云フコトモ考ヘナカッ
タノデアリマス、併シ其ノ上ニ又最近ハ日支事
變ト云フヤウナコトデ非常ナ船腹ヲ要シ、事
變ノ爲ノ人モ要ルト云フヤウナコトニ相成ッテ
參リマシタノデ、相當人ノ不足ガ認めラレ
ルノデアリマス、此ノ事實ハ私共承認致ス
ノデアリマス、ソコデ此ノ應急對策トシテ
如何ナルコトヲヤッタカト云フコトデアリマ
スルガ、高級海員ニ付キマシテハ、日支事
變前ノ色々ナ計數カラ見マシテ、ドノ程度
ノコトヲヤレバ一應凌ギガ付カウト云フコ
トデ、所管省デアリマス文部當局トモ相談
致シマシテ、神戸ノ高等商船學校デ百二十
名許リ、大阪ノ府立海員養成所デ九十名バ
カリト云フモノヲ急需ニ應ジマスルヤウナ
設備ヲ講ズルコトニ相成リマシテ、當議會
ニ文部省カラソレニ要スル費用ヲ豫算トシ
テ提出致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、
扱是デ十分足りルカドウカト云フ問題デア
リマスルガ、日支事變ガ擴大長期ニ互リマ

スレバ相當不足ヲ告ゲルト云フヤウナコトニ相成ルカモ知レマセスガ、私共ノ方ノ試験機關其ノ他有ラユル關係方面ノ者ヲ動員致シマシテ、船ガ動カナイト云フヤウナコトニナライヤウニ萬全ノ方策ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、現在ニ於キマシテハ色ナ方面カラ驅リ出シマシテ、或ハ陸上ニ於キマシテ外ノ生業ニ就イテ居リマスル者モ相當出テ參リ、又勸誘モ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、何トカシテ此ノ急場ヲ其ノ方面カラモ切拔ケヨウト云フ手段ヲ熱心ニ努力致シテ居リマスル次第デアリマス、今ノ所デハ是デ一應ノ間ニ合フノデハナカラウカト思フノデアリマスルガ、ドウシテモ足リナイト云フコトニナリマスレバ、更ニ次ノ議會等ニモ相當大キナモノヲ出サナケレバナライカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 只今ノ百二十名及九十名ト云フコトデアリマスルガ、之ニハドウ云フ教養ヲ施シマシテ、ドノ位ノ位置ニ學校ヲ出レバ直チニ就職ガ出來ル御見込デスカ、而シテソレガ何時頃役ニ立ツノデスカ

○政府委員(小野猛君) 養成期間ハ一年ノ積リデアリマス、ソレヲ修業致シマシテ遞信省ノ試験ヲ受ケルノデアリマスルガ、此

ノ試験ニ付キマシテモ……只今ノ御答ヲ訂正致シマスガ、神戸ハ初メハ一年ト云フコトデアリマシタノデアリマスルガ、來年ノ四月ニ卒業スルコトト致シタノデアリマス、大阪ニ付キマシテハ六箇月ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、私共ノ方ノ試験機關ニ於キマシモ、成ルベク此ノ設備ニ於テ修業致ス者ニ付キマシテハ、修業中ノ成績等モ考慮致シマシテ、是ガ急ニ成ルベク圓滑ニ實務ニ就クヤウニ十分考慮致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 只今通知ガゴザイマシテ、通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案、是ガコチラノ委員ニ併託トナリマシタ、此ノ案ハ後廻シニスルコトニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ後廻シニ致シマス

○橋本辰二郎君 只今ノ速成高級海員ハ甲板部ト機關部トハドウ云フ割合ニナッテ居リマスカ、尙目下高級海員ノ最モ不足ヲ感ジテ居ルノハ甲板部デアアルカ、機關部デアアルカト云フコトモ承リタイ

○政府委員(小野猛君) 只今機關部ノ方ガ

不足ヲ告ゲテ居リマス、ソレニ應ジマシテ、神戸ニ於キマシテハ甲板部三十名、機關部九十名、大阪ニ於キマシテハ甲板部三十名、機關部六十名、斯ウ云フ豫定デヤッテ居リマス

○橋本辰二郎君 御答辯ニ依リマス、神戸ニ於テハ甲板部ノ方ガ機關部ヨリモ三倍ニナッテ居リマスガ、其ノ缺乏ヲ感ジテ居ル側ノ者ヲ多クスルト云フコトハ當然ナルニモ拘ラズ、ドウシテ斯ウ云フ振當ヲナサッテオイデニナリマスカ

○政府委員(小野猛君) 神戸ニ於キマシテハ甲板部三十名、機關部九十名……

○橋本辰二郎君 サウデスカ、ソレデハ分リマシタ、サウシテ是等ノ者ガ卒業致シマスルト云フト、ドウ云フ職務ニ就キ得ラレルノデスカ

○政府委員(小野猛君) 甲板部ハ大體甲二、機關部ハ二等機關士ノ免狀ヲヤルヤウナコトニ致シテ居リマス

○橋本辰二郎君 此ノ位ナ速成ノ海員ヲ御拵ヘニナリマシテモ、現在ノ不足ヲ補フコトハ或ハ出來得ルカモ知レマセスガ、目下續々竣功シツ、アル所ノ新船ニ對スル乗組員ニ付キマシテハ、ソレト建シテ後ニ於キマシテノ手當ハ終ッテ居ルモノデアリマ

スルカ、ドンナ振合ニナッテ居リマスカ

○政府委員(小野猛君) 新造船ノ竣功ノ順序デアリマスガ、年内ニ大體今カラ約三十萬噸足ラズ、來年ノ上半期ニ二十四萬噸位ノ積リデアリマス、其ノ他ニ付キマシテハ今ハツキリシタ竣功ノ見込ヲ申上ゲル迄ニハ參リマセスガ、今申上ゲマシタモノノ竣功スルノニ續キマシテ續々出テ來ルコトと思フノデアリマス、ソレデ是デ足リマセスト云フコトニナリマスレバ、次ノ議會ニ相當多量ノ者ノ修業ヲスルヤウナ施設ヲ考ヘテ見タイト存ジテ居ル次第デアリマス、來年ノ四月頃迄、此ノ議會ノ豫算ガ成立致シマスル其ノ程度ニ於テ此ノ難場ヲ切拔ケヨウト考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ外ニ尙最前上ゲマシタヤウニ、陸上ニ今隠レテ居リマスル者ヲ、相當努力致シマシテ海ノ方ニ誘致スル方策ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、是以上ニ實際ハ出テ來ルノデハナカラウカト思ッテ居リマス

○橋本辰二郎君 目下ノ海員ノ不足ニ對スル補充策ニ付キマシテ、色々御努力ニナッテ居ラレルト云フコトハ承リマシテゴザイマスガ、今御話ノ中ニ目下陸上ニ隱退シテ居ル者モ動員シツ、アルト云フコトデアリマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ餘程御考慮ヲ煩

ハシタイト思ヒマス、目下本委員會ニ於テ審議中ノ此ノ船員法ニ付キマシテノ或一箇條ノ挿入ト云フコトヲ日本ノ高級海員及船舶關係者一同ガ舉ゲテソレド、熱望致シテ居ルニモ拘ラズ、不幸ニシテ原案ニハ之ヲ見ルコトガ出來ナカッタノデス、而シテ此ノ事柄ト云フモノハ海員ノ自尊心及其ノ矜持ヲ非常ニ傷ツケル感ガアルノデアリマス、是ハ司法省ノ答辯ニ徴シテ明カデアルト思フ、ソレデスウ云フ場合ニ於キマシテハ男子ノ意氣地トシテ、自己ノ當然ナル要求ヲ容レラレザル限りニ於テハ自分等ハ他ニ職ヲ求メルト云フヤウナ考ヲ起スノハ、是ハ何人モ同ジコトデアラウト思フノデアリマス、而シテ今陸上ニ於キマシテハ各種重工業、就中機械工業ノ發展ト云フモノハ特ニ著シイモノガアリマシテ、一藝一能ノアル者ハ何レノ機械工場ニ於キマシテモ奪ヒ合ヒト云フヤウナ有様デアリマス、ソレデ海員ノ機關部ニ屬スル者ハ皆一廉ノ技術者デアアルノデアリマスカラ、是等ノ者ガ若シ陸上ニ轉職スルト云フコトニナリマシタナラバ、喜ンデ之ヲ歡迎ラシ、優遇スル所ノ向ハ多クアラウト思フ、サウ云フコトニナリマスルト云フト、今隱退シテ居ル者ヲ動員ラスルト云フコトノ不可能ナルノミナラズ、現

ニ海上ニ於ケル任務ニ從事シテ居ル者迄モ陸上ニ追ヒ上ゲルト云フヤウナ結果ヲ來スデハナカラウカト私ハ憂フルノデアリマスルガ、ソレニ對シマシテ遞信當局ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○政府委員(小野猛君) 御尤モデアリマス

ガ、御承知ノヤウニ高級海員ノ熟練技術ト云フモノハ極メテ特殊ナモノデアリマシテ、陸上ノ重工業等ニ直チニ其ノ技術ヲ以テ應ズルト云フコトガ割合ニ外ノ技術者ヨリ困難デハナカラウカト思フノデアリマス、ソレデ、マア豫テ私共ハ高級海員ト云フ者ハ他ニ轉職ノ方法ガ極メテ少イモノデアルト云フコトデ、特別ナ保護ヲ要求シ、ソレヲヤツテ來テ居ッタノデアリマスノデスガ、併シ御説ノヤウニ、斯ウ云フ風ニ陸上ノ景氣モ非常ニ好クナルト云フコトニナリマスレバ、相當他ニ行クヤウナ傾向ニナルカモ知レマセヌガ、私ノ方デ十分努力致シマスレバ本來ノ自分等ノ職場ニ復ルト云フコトハ敢テ難事デハナカラウト考ヘルノデアリマス、只今ニ重刑罰問題等ニ付キマシテノ御質問モ御尤デアリマスルガ、私共トシテハ海員ノ立場ニ飽ク迄同情致シマシテ之ニ應ズル施設ヲ致シマシテ、成ルベク海カラ陸ニ逃レナイヤウニト云フ風ナ方策ヲ年々

攻究致シテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 マダ御尋ネシタイコトガアリマスガ、幸ヒ海軍ノ政府委員モ御出席ノヤウデアリマスルカラ……私ノ質問ハ之ニ關スル限りニ於テ一先ヅ打切ッテ置キマス

○男爵井上清純君 昨日ノ質問ニ續イテ二質問シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵西郷從德君) 祕密會ニスル必要ハアリマセヌカ

○男爵井上清純君 アリマセヌ

○委員長(侯爵西郷從德君) デハドウジ……

○男爵井上清純君 近頃赤化ノ思想ノ宣傳ニ付キマシテハ陸上労働者ヨリモ海上労働者、海上從業員ニ向ッテ其ノ手ガ伸びテ居ルヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、日本ノ國ノ國情ニ即シタ彼等ノ思想ノ宣傳、思想戰ノ方向ガ海上ニ向ッテ居ルト云フコトハ誠ニ恐ルベキコトデハナイカト思ヒマス、然ルニ之ニ對スル遞信省ノ此ノ思想ノ方面ノ警戒ニ付キマシテハ、ドウ云フ御考ヲ御持チニナッテ居ルカ、ソレヲ先ヅ承リタイト思ヒマス

○政府委員(小野猛君) 御説ノ如ク海員ハ非常ナ國ノ重要ナ公益産業ニ服シテ居ル者デアリマスルカラ、之ニ不健全ナ、不穩ナ思想ノ者ガ入込ムト云フコトハ非常ニ嚴重ニ警

戒シナケレバナラス、又サウ云フ方面ニ付キキマシテハ内務省ノ思想警察ト共同致シマシテ、現在デモ共產主義其ノ他ノ不穩分子ノナイヤウニ極力警戒致シテ居ル次第デアリマス

○男爵井上清純君 具體的ナ御答デハナカッタヤウデアリマスガ、近頃國體明徴ノ問題ニ付テ、一部ノ船員ニ於キマシテハ今迄ノヤウナ「マドロス」的ナ、國際人ノヤウナ觀念ヲ持ッテ居ルコトデハイケナイ、須ク日本人ノ本來ノ立場ニ還ヘラナクチャナラスト云フヤウナ聲ガ船員ノ一部ニ起ッテ居ルヤウデアリマス、一般ノ船員ノ狀況トシマシタナラバ、矢張りドウモ國際人ノヤウナ觀念ニ居ッタカト思フノデアリマス、ソレガ漸ク日本精神ニ覺メカケテ居ルト云フコトハ、誠ハ慶賀ニ堪ヘナイコトデアリマスケレドモ、併シ遞信省ノ之ニ對スル處置等ヲ拜見スルノニ、ドウモ此ノ間モ大阪デ以テ其ノ問題ガ起リマシタケレドモ、唯事勿レ主義デアリマシテ、唯爭議ナドガ起ラスヤウニ、ドウ云フ國體ニ即シタ爭議デアッテモソレハイケナイ、總テ彈壓のニ、サウ云フ争ヒヲ起サスヤウナ方策ヲ御採リニナッテ居ルヤウデアリマス、是ハ非常ナ間違ッタクコトデヤナイカト思ヒマスガ、若シモサウデアルナラバ、國體的ニ目覺メタ者ト、

サウデナイ者トノ爭議デアリマスカラ、須ク遞信省トシマシタナラバ、ドウシテモ日本人ノ本來ノ精神ニ歸ッテ、サウシテ重要ナ國策ノ一部ノ海運業ニ向ッテ精進努力セヨト云フヤウナ方針ヲ以テ、二者ノ間ノ融和ヲ御圖リニナラナケレバナラスト思フノニ、サウデナクシテ矢張り少數ノ部分ヲ壓迫サレマシテ、大多數ノ目覺メス者ヲ助ケラレテ、サウシテ努メテ當面ヲ糊塗サレルト云フヤウナ御態度ヲ御執リニナッタヤウニ見エルノデアリマスガ、ソレハ私ノ誤解カモ知レマセヌケレドモ、其ノ點ニ付キマシテハ遞信當局カラ御考ヲ承リタイト思ヒマス、尙ソレニ關聯シマシテ、本案ノ中ニモ國際勞働總會ニ於テ採擇セラレタ條約案ノ中四箇條ノ趣旨ヲ採リ入レラレテ居ルノデアリマス、此ノ國際勞働總會ト云フモノニ必ズシモ參加シナケレバナラストモノデアルカ、其ノ點ニ付テハ多クノ疑問ヲ持ッテ居リマス、此ノ國際勞働總會ト云フモノハ、第三「インター」ノ別働隊デアリマシテ、斯ウ云フ會ニ日本ノ勞働者ガ參加スルナラバ、必ズヤ赤化ノ手ガ其處カラ伸ビマシテ、大事ナ日本ノ海員ノ中ニ思想ノ攪亂ヲ生ジハセヌカト云フヤウナ疑ガアルノデアリマス、國際勞働總會ト云フモノニ國際性ヲ顧慮シテ御參加

ニナッテ居ルト云フコトガ書イテアリマシガ、成ル程海運ト云フモノハ國際性ヲ顧慮シナケレバナリマセヌケレドモ、併シ日本ノ船舶デアリマス、日本ノ船員デアリマス、其ノ日本ノ船員ガ國際的ノ考ヲ持タレテ活動サレタナラバソレハ大事デアリマス、幸ヒ此處ニハ海軍ノ御當局ガ來テ居ラレマスルガ、一朝戰時ノ場合ニ於テハ現代ノ商船ハ悉ク現役ノ軍艦ト同ジク、現役ノ軍人トナルベキモノデヤナイカト思ヒマス、或ハ陸海軍ニ徵集サレマス御用船トナリ或ハ假裝巡洋艦トナリ、悉ク現役セラレルモノトナルノデヤナイカト思ヒマス、ソレ故ニ海軍ノ當局トシマシタナラバ、餘程此ノ船員ノ思想ト云フモノニ付テハ深甚ノ考慮ヲ拂ッテ居ラレルベキモノデヤナイカト思ヒマス、然ルニ今回ノ爭議ニ對シテモ甚ダ其ノ態度ノ御冷淡デアッタヤウニ見エルノデアリマス、若シモサウデアアルナラバ是ハ由々シイコトデアリマス、一朝戰時ニナリマシタナラバ何百萬噸ノ商船隊ガ直グ御用船トナリ、或ハ假裝巡洋艦トナルベキモノデアアルカラ、豫備員ト云フヨリモ寧ロ現役員ノ延長ト見ナケレバナラヌ筋合ノモノヲ海軍ノ當局ハドウ考ヘテ居ラレルカ、併セテ承リタイト思ヒマス

○政府委員(田島勝太郎君) 御尋ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、遞信當局ト致シマシテハ、勞働爭議等ノ起リマシタ場合ニ或方面ノ人ヲ抑ヘテ、或ル方面ノ人ヲ揚ゲルトカ云フヤウナ片手落ノ立場ニ立ッテ仕事ヲ處理ヲ致シマシタト云フヤウナコトハ全クナイノデゴザイマシテ、至公至平ノ立場ニ於キマシテ、海運業ノ發達ト云フコトヲ主眼ト致シマシテ、問題ノ處理ニ當ッテ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、御尋ノヤウナコトニ付キマシテハ事實全ク是ナカッタモノト考ヘテ居リマス、又國際條約ノ四箇ノ條約案ノ趣旨ヲ本案ニ取入レマシタコトニ付キマシテ、御意見御尤モモ存ジマスルガ、是ハ此ノ條約案ノ決定サレテ居リマスコトヲ取入レマスコトガ、海員ノ福祉ヲ増進シ、勞働能率ヲ増加スル上ニ於テ極メテ必要デアッテ、詰リ海員ノ立場ヲ考慮致シマシテ、斯ウ云フヤウナ精神ノ規定ヲ船員法中ニ設ケマスコトガ、宜シイト云フヤウナ建前カラ取入レマシタヤウナ次第デゴザイマス、尙國際勞働總會ニ付テノ御意見モアツクノデゴザイマスルガ、國際勞働總會ノ問題ハ、是ハ「ヨロッパ」大戰後ノ假條約ノ結果、同條約ニ依リマシテ國際勞働總會ト云フモノガ設ケラレルコトニナリマシタコトハ井上

男爵モ御存ジノコトト考ヘマスル、ソレデアノ條約ニ帝國ガ參加致シテ居リマスノデ其ノ結果ト致シマシテ、國際勞働總會ガアリマス場合ニハ之ニ參加シテ居ルヤウナ次第デアリマスルガ、併シ仰セノ如キコトガ若シ假ニ此ノ爲ニ赤化思想ヲ海員ノ中ニ宣傳スルヤウナ虞ガアルトカ、或ハサウ云フ方面ニ傾キマシタ何カ申合セナリ、條約ナリト云フモノガ、若シ國際勞働協會ニ於テ問題ニナルヤウナコトガ萬一アルヤウナ場合ガゴザイマシタナラバ、無論仰セノ通りノ立場ニ於キマシテ、帝國ノ立場ニ於テ之ニ對シテ相當ノ眞劍ナル處置ヲ執ルト云フコトハ當然ノコトト考ヘマスルガ、今日迄ハサウ云フヤウナ關係モゴザイマセヌノデ、條約ノ義務ニ依リマシテ參加致シテ居リマス次第デアリマス

○政府委員(豊田副武君) 海軍ニ於キマシテ、商船ヲ第二線ノ兵力或ハ其ノ補助機關トシテ重要視シテ居リマスルコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマス、是ハ豫備員デゴザイマス、其ノ他下級ノ幹部ノ者ニモ海軍ノ豫備員ト云フモノガゴザイマス、又是等一般ノ漁船ノ乗組員トカ、其ノ外一般船員ニ付キマシテモ豫備員ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、一朝有事ノ場合ニ於ケル軍事能力

ヲ保持サレルト云フコトニ付キマシテハ、ソレノ研究畫策ヲ致シテ居リマス、從テ當時ニ於キマシテハ海軍ガ、商船乗員ノ業務或ハ其ノ外ノ問題ニ付キマシテ直接客味ヲ得マス範圍ハ此ノ豫備員ニ付テハ出來ルト思ヒマス、併シソレ以外ノ一般船員ニ付キマシテハ彼此差出ガマシイコトハ海軍トシテ致シ兼ネマス、併シ希望ハ持ッテ居リマス、希望ヲ持ッテ居リマスガ、其希望ノ實現ニハソレノ主管ノ省ガアリマスノデ、其ノ主管ノ省ニ連絡ヲ執リマシテ、海軍ノ要望ガ實現致シマスルヤウニ努力ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、從テ此ノ國際労働關係ノ問題ニ船員ガ聯繫ヲ持ツコトガ宜イカ悪イカト云フヤウナコトモ、海軍省直接所管ノ事項トシテ茲デ彼此ノ所見ヲ申述ベルコトヲ差控ヘタイト存ジマス、但シ初メニ申シマシタヤウニ第二線ノ海上國防、兵力或ハ補助機關トシテ海軍ハ最モ重大視シテ居リマスモノデアリマスカラ、此ノ乗員ガ戰時ハ勿論ノコト、平時ニ於テハ日本精神ヲ十分シツカリ持ッテ居リマシテ、軍事ノ補助機關トシテ活潑ナ能力ヲ發揮スルト云フコトニ付キマシテハ、海軍ノ最モ熱望致シテ居ル所デアリマス、諸般ノ施策何レモ之ニ適應致シマシヤウニ、常ニ十分心ヲ入レマシテ

努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙御參考迄ニ申述ベマスルガ、戰時ニ於キマシテ商船ニ收容致シマス其ノ乗員ハ、全部ガ當時業務ニ從事致シテ居リマス海上ノ業務者デハナイノデアリマシテ、第一線ニ於テ補助巡洋艦トカ或ハ其ノ他戰艦動作ヲ致シマス艦船ハ重要艦船デアリマスガ、中ニ入ッテ居ル者ハ全部軍人デアリマス、從テ一般ノ商船船員トシテ海軍ノ業務ニ戰時從事致シテ居リマス者ハ只今申上ゲマシタモノノ外ハ、是ハ直接戰鬪行動ト云フヤウナモノニハ從事致サナイ、主トシテ運送其ノ他雜役ニ從事スル次第デアリマス、是ダケ御參考ニ申上ゲテ置キマス

○男爵井上清純君 只今遞信當局カラノ御

答ハ了承致シマシタ、此ノ國際労働總會ニ於テ採用サレマシタ條約ノ中ニ於キマシテ、船員ノ年齢ノ件ガアルノデアリマス、此ノ船員ノ年齢ノ最低限度ヲ決メラレテ居ルノデアリマスガ、是ハ大キナ問題デアラウト思ヒマス、飛行機ニ於キマシテモ又商船ニ於キマシテモ成ルベク若イ時分カラ訓練スル方ガ宜シイト思ヒマス、益々機械ガ巧妙ニナルニ從ヒマシテ、小サイ時分カラ船ニ乗ルト云フコトガ大事デアラウト思ヒマス、ソレヲ火六、フタリデモ十八歳位ニ制限

サレテ居ルコトヲ見マスルト、是ハ西洋人ノ見方デアリマシテ、日本人カラ見マスルト是ハ不利ナコトデハナイカト思フ、ソレ等ノコトニ付キマシテモ、ドウモ國際労働總會ナドニ參加サレテ居ルト云フコトハドウカト思フ、是ハ今條約ノ御話ガアリマシタケレドモ、ソレヲ超越シマシテドウカ御勘考ヲ願ヒタイノデアリマス、尙海軍ノ當局者ニ伺ヒマスルガ、斯クノ如キ重要ナル商船員ノ切ナル願望ニ對シマシテハ、御耳ニ入ッテ居ルコトト思フノデアリマスガ、自分達ノ業務ニ關スル安心ガ出來ナイヤウナ法律ガ茲ニアルトスルナラバ、ソレニ對シテ如何様ニ御考ヘニナリマスカ、其ノ點ヲ御聽キシタイノデアリマス、併シナガラ海軍自體ガ同ジヤウナ刑法ヲ持ッテ居ラレルノデアリマス、海軍刑法ニ於テハ艦船ノ事故ニ對スル過失罪ヲ普通刑法ニ讓ッテ居ルヤウデアリマス、ソレハ昔ハサウデナカッタノデアリマスガ、近頃サウ云フヤウニ改メラレタノデアリマス、サウシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタ場合ニ於テハ、如何ナル人デアッテモ失官シナケレバナラス、是ハ實ニ苛酷ナモノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナコトヲ屢、行ハレナイカラ宜シイヤウナモノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ規定ガアル以上

ハ安ンジテ艦船ヲ操縦スルコトガ出來ナイ、一體國家ノ干城ガ必ズシモ總テガ技術者ト云フコトハ出來ナイ、船乗ト云フモノハ一ツノ技術者デアリマス、總テノ人ガ船ヲウマク操縦スルカドウカト云フコトハソレハ言ヘナイ、忠君愛國ノ精神ガ旺シナデアッテモ、此ノ船乗ノ技術ハ拙劣ナ人ガアリマス、サウ云フ人ガ偶、艦船ヲ破壊スル場合ニ於テハ、直チニ失官サレル、サウナッテ來ルト軍人精神ノ根柢ヲ動搖シマスカラ、此ノ點ヲ先ヅ御改メニナラナケレバナラス、然ル後ニ船員法ニ於テモ相當ノ海軍ノ御考ヲ刑法ノ上ニ持ッテオイデニナラナケレバナラスデヤナイカ、唯他ノ所管デアルカラ、サウ表向キニ干涉ハサレナイト云フコトハ然ルベキコトデアリマスケレドモ、併シ事柄ガ精神上ノ問題デアリマシテ、而モソレガ軍人ニ準ズル人達ノ問題デアリマス、今ヤ國家非常時ニ於キマシテ、此ノ商船隊ノ任務ト云フモノハ重大ナモノデアリマス、是等ノ方々ガ精神上ニ於テ眞ニ團結スルナラバ、日本ノ國ハ誠ニ堅イノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ單リ現役ノ海軍將兵ダケヲ御考ヘニナラナイデ、此ノ豫備ノ中ノ、最モ近イ所ノ商船隊員ニ對シテモ、十分ナル一ツ御考慮ヲ御拂ヒ下サランコトヲ希望

致シマスガ、是等ニ付キマシテ海軍當局カラモ御見解ノ所ヲ御聽キシタイト思フノデアリマス

○政府委員(田島勝太郎君) 御答ヲ申上ゲ

ス、國際勞働總會ノ採擇致シマシタ條約ニ付キマシテ御意見ノ趣ハ御尤モト存ジマス、是ハ私カラ申上ゲル迄モゴザイマセヌガ、パリー條約ニ依ッテ、此ノ勞働總會ニハ帝國トシテ參加ノ義務ハゴザイマスガ、勞働總會デ採擇致シマシタ條約案ガ帝國ニ不利益デアルト考ヘマスル場合ニ於キマシテハ、

無論御批准ヲ奏請致サナカッタト云フ例モアルノデゴザイマス、ソレデ只今問題トナッテ居リマス船員法ニ關係シテ居リマス場合ハ、先刻御答ヘ申上ゲマシタヤウニ條約ノ内容ガ、日本ノ海員ノ福祉ヲ増進スル爲ニ至極結構デアラウト云フ意味ニ於キマシテ、其ノ精神ヲ取入レテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、井上男爵ノ仰セノ通り、若シ國家ニ不利益ナヤウナモノガアルト云フ場合ニハ、ソレニ對スル態度ハ自ラ別問題デアルト云フコトヲ御了承願ヒタイト考ヘマス、ソレカラ又最低年齡ヲ制限シタト云フコトニ付テ、非常ニ不利益デハナйкаト云フヤウナ思召モオアリデゴザイマシタガ、右ニ付キマシテハ、昨日他ノ政府委員ヨリ御答

ヲ申上ゲマシタ勅令ヲ以テ定メマス例外事項ガゴザイマシテ、其ノ例外事項ニ依リマシテ同一ノ課程ニ屬スル者ノミヲ使用致シマスル船舶、ソレカラ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ、船員ノ教習ヲ致シマス教習船ニ於テ一同ヲ乗組マシメル場合、斯ウ云フヤウナノハ例外トナッテ居ルノデゴザイマスカラ、男爵ノ御心配ノヤウナ問題モ自ラ、此ノ勅令ノ例外ニ依リマシテ、解消サレルコトデハナйкаト考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○政府委員(豊田副武君) 海軍ニ於キマス

ル艦船操縦運用ニ關係シマシタ過失罪ニ對スル處罰ノ從來ノ變遷ト現状ハ、只今井上男爵ノ御述べニナリマシタ通りデアリマス、此ノ現状ニ對シマシテ、海軍ノ内部ニ於キマシテモ舊法ノ方ガ宜シイ、即チ過失罪ハ一般刑法ノ規定ニ依ラズニ、軍刑法ニ規定ヲシテ、之ニ依ッテ處罰シタ方ガ適當デアルト云フ意見ガゴザイマス、但シ是ハマダ纏ッタ意見デハゴザイマセヌ、一部ニサウ云フ意見ガアルノダト云フダケデアリマス、而シテ軍刑法デ處罰ラシタ方ガ宜シイト云フノハ、只今茲デ御審議ニナッテ居リマス船員法ニ於テ論議サレテ居ルヤウニ、重過失ダケヲ特別法デ律スル、輕過失ハ之ヲ問ハナイ

ト云フ趣旨トハ全ク違フノデアリマシテ、艦船ノ長ガ自分ノ職務執行ニ當ッテ、過失ニ依ッテ此ノ龐大ナル國帑ヲ失フ、或ハ人命ヲ傷ツケタ場合ハ、是ハ又別ノ條項ニナリマスガ、是ハ自分ノ職務ニ、軍事行動トシテ直接ノ行爲ニ關係スルモノデアラカシテ、一般ノ刑法ニ依ッテ、一般ノ辱職罪デ問フノハ不當デアアル、モット重ク見ルノガ本當デアアル、軍刑法ノ辱職罪トシテ見ルノガ至當デアアル、斯ウ云フ理由デアリマス、從テ今御紹介申上ゲマシタ一部ノ者ガ主張致シテ居リマスヤウニ、刑法ノ百二十九條ノ適用ヲ止メテ、軍刑法ニ特別ノ規定ヲ設ケタトシマシテモ、其ノ結果ハ重過失ハ之ヲ罰スル、輕過失ハ之ヲ罰シナイト云フ結果ニ、ナルトハ限ラナイノデアリマス、心持トシテハ其ノ逆ニナルト思ヒマス、課シマス刑罰ノ輕重ハ是ハ又第二段ニナルト思ヒマス、ト申シマスノハ艦船ノ保安ト云フモノハ海軍デハ重大ナモノデアリマシテ、唯技術ガ足ラストカ、チョットシテ過失ガアツタト云フヤウナコトデ、重大ナ結果ヲ起スト云フコトハ、海軍トシテハ絶對ニ之ヲ防止シタイト云フ心持デアリマス、チョットシタ過失デモ何千萬圓ト云フヤウナ大事ノ軍艦ヲ無クナシテシマフト云フコトハ、其ノ罪

ハ決シテ輕クナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ風ニ嚴シク艦船ノ保安ニ付テ臨ンデ居リマスガ、尙今日ト雖モ毎年相當ノ艦船事故ガアルノデアリマシテ、中ニハ不可抗力ノモノモアリマスガ、注意不足ニ因ルト云フモノモ相當多數ニアリマス、從テ刑ヲ輕クシテ安心シテ職務ニ從事サセルト云フコトハ結果ガ決シテ宜シクナイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、商船ニ付テモ重大ナ財貨、人命ヲ預ッテ居ル商船ノ高級船員ガ重イ罪デナケレバ罰セラレヌカラ、職務ニ安心シテ從事出來ルト云フ考ヘ方ハ、海軍トシテハ必ズシモ適正ナル考ヘ方デハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵井上清純君 チョット一言御許シテ願ヒタイト思ヒマス、只今ノ海軍政府委員ノ御答ハ一面ニ於テハ非常ニ御尤モデアリマス、斯クノ如ク海軍當局ガ艦船ヲ大事ニ扱ハレル、サウシテ國防ノ任務ヲ全ウセラレルト云フコトハ、國民トシテハ誠ニ有難イコトダト考ヘルノデアリマス、併シナガラ法ト云フモノハ天皇ノ御稜威デナケレバナラヌト思フノデアリマス、外ノ國ノ法トハ違フノデアリマス、其ノ御稜威ノ中ニハ天皇ノ大慈大悲ガ籠ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ法ダケニ依ッテ人ノ注意ヲ喚

起スルト云フコトデハ足りナイノデアリマス、精神的ニ心カラ御奉公ノ念ガ厚クナラバ、決シテ小サナモノト雖モ粗末ニ扱ハナイト云フ精神ヲ涵養スルコトガ大事デアリマス、此ノ點ガドウモ私共ト官吏諸君ノ御考トハ合ハナイノデアリマス、法萬能ノ精神ハ矢張り力ノ政治ナリ、力ニ依ッテ過失ヲ豫防スルコトハ或程度迄ハ出來マスケレドモ、心ノ中カラシテ、眞底カラ精神的ニ擁護スルト云フ精神ヲ寧ロ喚起スル方ガ日本國民ニ即シタモノデアリマス、ドウカモウ少シ御考ヲ深クサレマシテ、日本人ハ未ダ嘗テ我々ノ家庭ニ於テモ一ツノ法律規則モ無イノニ、立派ニ治マッテ居ル、其ノ家庭ガ何千年間立派ニ治マツタ家庭ガ廣大シタノガ我ガ日本皇國デアルト思ヒマス、日本皇國ハ家庭的ノ國家デアリマス、成ルベク法律ダトカ規則ナドハ用ヒナイヤウニシテ治マルベキ國デナケレバナラスノデアリマス、苟モ自分ガ天皇ノ御船ヲ御預リ申上ゲ取扱フト云フ觀念ニ至ツタ場合ニ於テハ、罷リ間違ヘバ切腹スルダケデアリマス、何ノ法律ノ制裁ナドハナクテモ、十分ニ海軍軍人トシテ其ノ職ヲ全ウスルコトガ出來ルト思ヒマス、ソレヲ唯法一片ニ依ッテ之ヲ取締ラナケレバナラスト云フヤウナ考ノ所ニ海軍

ノ軍人ノ精神ト云フモノガ墮落シテ居ナイカ、其處ガ一番大事ナ所デアリマスカ一言申上ゲテ置キマス

○政府委員(豊田副武君) 只今ノ御言葉ハ

誠ニ其ノ儘御受取り致シ兼ねマス、海軍ガ重要ナル職務ニ從事シテ居リマス者ノ行爲ヲ律スルノニ、法律ダケヲ以テ考ヘテ居ル、ソレ以外ノコトヲ考ヘテ居ナイト云フ風ナ御話ガアリマシタガ、ドウ云フ根據ガアッデサウ云フコトヲ仰セニナルノカ、甚ダ私ハ遺憾ニ感ジマス、法ハ抑、未デアリマス、海軍ニ於テ艦船ノ操縦ニ付キマシテハ、技術ノ修練、精神ノ修養、軍人トシテノ其ノ他指導ト云フコトニ付キマシテハ、第一義的ニ萬全ノ力ヲ盡シテ居リマス、結果モ其ノ通りデアルト存ジマス、昭和二年ノ八月ニ美保ヶ關ニ於テ軍艦神通ト驅逐艦蕨ガ衝突シテ神通ハ大破損ヲ致シ、蕨ハ沈没ヲ致シマシテ、百數十名ノ人命ヲ失ツタコトガゴザイマシタガ、其ノ時神通ノ艦長水城大佐ハ立派ニ公判ヲ受ケマシタ、サウシテ公判ガ終了致シマシテ翌日ハ判決ト云フ日ニ立派ニ自決ヲ致シタノデアリマス、此ノ一事ヲ以チマシテモ海軍ガ艦船事故ヲ如何ニ取扱ッテ居ルカト云フコトハ御了解下サルコトガ出來ルト思フノデアリマス、法

一ツバカリシカ考ヘテ居ナイト云フノハ、海軍トシテハ私ハ最モ不名譽ナ御言葉ヲ頂戴シタノダト云フコトヲ明カニ言明致シマス

○男爵井上清純君 モウ早私ハ申上ゲルコトハアリマセスガ、只今ノ御言葉ヲ拜聴致シマシテ非常ニ心強ク感ジマス、ドウカ其ノ御精神ニ依ッテ益、君國ノ爲ニ御盡シ下サルコトヲ御願ヒ致シマス、私ノ質問ハ是デ止メマス

○男爵深尾隆太郎君 司法大臣ニ御尋ネシタイト思ヒマス、昨日若田博士カラ御話ノアツタコトデアリマスガ、昨年ノ暮ニ遞信省ノ原案ト申シマスカ、未定稿ト申シマスカ、此ノ船員法ノ改正ノ原案ハ第六十三條ニ於テ「船員カ著シク其ノ職務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損若ハ覆没又ハ人ヲ死傷致シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」斯ウ云フ事項ガアリマシタノガ今回削ラレテ居ルノデアリマス、其ノ事ヲ若田博士ガ御質問ニナツタノニ對シマシテ、昨日司法省ノ説明員カラ四點ノ箇條ヲ擧ゲラレマシテ、司法省ガソレニ同意ガ出來ナカッタト云フコトヲ説明サレタノデアリマス、併シナガラ私ハ其ノ四點トモ承服ガ出來ナイヤウニ思フノデアリマスガ、簡單ニ其ノ事ヲ申

上ゲテ見タイト思フ、昨日御説明ニナリマシタ第一點ハ、陸上交通機關トノ差別ハ公正ヲ缺ク、若シ斯ウ云フ重大過失ダケヲ罰スルト云フ風ニシテ輕過失ヲ罰シナカッタナラバ、陸上ノ方ハ輕過失ヲ罰セラレテ、船員ハ輕過失ヲ罰セラレナイカラ、陸上交通機關トノ差別ニ付テ公正ヲ缺ク、斯ウ云フ御議論デアリマシタ、此ノ點ハ昨日若田博士モ指摘サレタノデアリマスガ、法文ノ中ニ現レタ形式カラ論ズレバ司法當局ノ御意見ノ通りデ、船員ノミガ輕過失ノ責ヲ免カル、ト云フコトハ不公正ノヤウニ見エルノデアリマス、之ヲ實質的ニ考ヘテ見マス、茲ニ一ツノ事故ガ出來テ船ガ坐礁シタ、或ハ汽車ガ衝突シタト云フ時ニ檢察當局ハドウ考ヘマスカ、直チニ海陸無差別的ニ是ハ過失ガアツタ豫斷スルデアラウト思フノデアリマス、此ノ點ヲ私共ガ心配ラシテ居ル、陸上ノ交通ト、海上ノ交通トニハ非常ナ差ガアルノデアリマス、陸上ノ汽車、電車ト云フモノハ動カナイ地面ノ上ヲ走ッテ居ル、船舶ハ動イテ居ル水ノ上ヲ走ッテ居ル、陸上ノ交通機關ハアブナイト思ヘバ、止マレバ先ヅ安全デアル、先般關西ノ颱風ノ時ニ瀬田川ノ鐵橋ノ上デ列車ガ顛覆ラシマシテ怪我人ガ相當出來

マシタ、是ハ當時不可抗力トシテ不起訴ニ
ナツタ心得テ居リマスガ、斯様ナ事件ハズ
ツト前ニ東北本線ノ碓川ノ鐵橋ノ上デモアッ
タノデアリマス、烈風ニ對シテ列車ノ運轉
ヲスルト云フコトハ、烈風ノ時ハ徐行ヲシ
ナケレバ危險デアルト云フクラキノコトハ、
列車ノ運轉ヲ心得テ居ル者ハ知ツテ居ルベ
キ筈デアリマス、然ルニサウ云フ時ニア、
云フ遭難ガアツタノデアリマスガ、是ハ思フ
ニ左程ノ風ト思ハナイデ、鐵橋ニ差掛ツタ
處、偶、其ノ烈風ノ中心ガ鐵橋ノ所ヲ通ツタ
爲、斯様ナ事故ガ出來タ、瞬間ノ出來事
デアル、不可抗力デアル、斯ウ檢察當局ハ
認メラレタモノト思フノデアリマス、ソレ
デモ陸上ノコトハ止ツテ危險ヲ避ケルコトガ
出來マスガ、今申上ゲタヤウニ、海上デハ
左様ナコトハ出來ナイノデアリマス、只今
申上ゲマシタヤウニ、海上デハ潮ガ流レテ
居ル、風モ吹イテ居ル、適當ナ錨地ノ無イ
所ヘ錨ヲ入レテ止マルト云フコトハ尙更危
險デアル、ソコヘ霧ガ掛カルトカ、雨ガ降
ルトカシテ、展望ノ利カナイヤウナ場合ニ
ナリマシタラ、ドウシタラ宜イカ、誠ニ咄
嗟ノ間ニ判斷ヲ下サナケレバナラス、實ニ
船長ノ苦心ト云フモノハ察スルニ餘リガア
ルノデアリマス、斯様ナ不安ガアツテモ、實

際ニ於テハ海上ノ事故ト云フモノガ極メテ
稀デアルト言ツテモ宜イ、陸上ニ比シテ稀デ
アリマス、是ハ私ハ全ク我が國ノ船員、船
長ノ優秀ナル能力ト、深キ注意ト、多年ノ
經驗ニ依ツテ得タ感ノ賜物デアルトモ思フ位
デアリマス、斯様ニ海上ト陸上トハ違ツテ
居ッテ、私ハ海上ノ事故ハ大方不可抗力ニ基
因スルト申上ゲタイクラキデアルノデアリ
マス、ソレナラバ、司法當局ハ、其ノ通りデ
アレバ、取調ノ結果過失ガ無い、無過失トナ
ルカラ、宜イデヤナイカト、或ハ言ハレルカ
モ知レマセヌガ、私ノ申上ゲルノハ、海上ノ
コトハ只今申上ゲタヤウニ後日ノ取調モ證
明モ非常ニ困難デアリ、其ノ瞬間ノ風ノ力ト
カ、潮ノ力トカ、方向トカ云フモノハ、實際
ハ分ラヌノデ、後日ノ書類ノ調査ヲ以テ過失
ガアツタカ、無カッタカト云フコトヲ判斷スル
ト云フコトハ、非常ニ實ハムヅカシイノデ
アリマス、併シ一方事故ヲ生ジタト云フコ
トハ事實デアリマスカラ、檢察當局ハ過失
ガ有リト認定スルコトニ傾キ易イト云フコ
トハ、又是モ已ムヲ得ナイノデ、是ガ我々
ガ心配ヲスル所デアルノデアリマス、實際
過失ノアツタ者ヲ免レシメヨウト云フ考デ
ハナイノデアリマス、此ノ點ハ昨日岩田博
士ガ繰返シテ申サレタノデアリマス、過失

ノナカッタ者ヲ過失ガアル……過失ガアツタ
ト云フコトガ明カデアレバ、ソレヲ免レシ
メヨウト云フ考デハナイ、ソレナラバ又司
法當局ハ、ソレデカラ運用ヲ慎重ニスレバ
宜イデナイカト言ハレルカト思フノデアリ
マス、併シナガラ昨日説明者ノ申サレタヤ
ウニ、海陸ヲ同ジヤウニ考ヘル、海陸ノ權
衡ヲ失スルト云フヤウナ風ニ、海ノ事故モ
陸ノ事故モ同ジヤウニト云フ根本觀念ガアッ
タレバ、到底其ノ運用ガ又適正デアルト云
フコトモ考ヘラレス、安心シテ運用ノ適正
ニ御任セラスルト云フコトハ、私共ハ安心
出來ナイノデアリマス、ソレデアリマスカ
ラ、單ニ形式ノ上カラ見レバ不公平ナヤウ
ニ見エマス、見エルノモ、ソレハ輕過失ト
カ重過失トカ云フ言葉ヲ用ヒルカラ、ソレ
ガ不公平ノヤウニ見エルノデアリマスガ、
此ノ書イテアル文句ノ通り海上任務ノ特殊
性カラ見テ、船員ガ著シク職務ヲ怠リ、依テ
事故ヲ生ジタ場合、斯ウ云フノデ、言葉ヲ換
ヘレバ明カニ職務怠慢ト認メラレタル時ニ
處罰スルト云フコトデ、疑ハシキハ論ジ
ナイト云フ又意味ガアルノデアリマス、之ヲ私
共ガ言ツテ居ルノデアリマス、唯陸上トノ權
衡云々、ソレモ本當ノ形式カラサウ云フコ
トヲ言ハレルト云フコトハ私ハ承服出來ナ

イノデアリマス、少クモ明カニ職務怠慢ト認
メラレタル時ニ處罰ヲ受ケルト云フコトニ
ナツテ居ッテ、陸上ノ交通機關ト比較シテ不
公正ハ無イト思フノデアリマス、ソレカラ
第二點ハ船員法ハ二十噸未満ノ船ニ適用セ
ラレナイ、小型船ハ一般刑法ニ依ツテ罰セラ
レルカラ、小型船船員ト比較シテ公正ヲ失
スルト云フ御議論デアリマシタガ、此ノ意
味ガチヨット私ニハ理解シ兼ねタノデアリ
マスガ、小型船ト大型船ハ全然別ノ取扱ニ
ナツテ居リマスカラ、元來比較スベキモノデ
ナイカラ、公正トカ、不公正トカ云フ論ハ
立タナイヤウニ思フノデアリマス、若シ小
型船ハ船員法カラ除外シテ、大型船ヨリモ
制裁ガ非常ニ輕イモノトシテアル建前ガア
ルノニモ拘ラズ、過失ノ處罰ノ點ダケガ重
クナルノハイカスト云フ御議論デアツタト
思ヒマスガ、ソレハ小型船船員ハ船員法カ
ラ退ケラレテ居ルノデアリマス、即チ普通
人ヲ以テ遇セラレテ居ルノデアリマスカラ、
一般刑法ニ依ルコトトナツテ毫モ不思議デ
ヤナイト思フノデアリマス、第三點ハ、刑
法百二十九條ハ普通人ニモ適用セラレルモ
ノデアルカラ、普通人トノ權衡ヲ缺クト云
フ御議論デアリマシタガ、是亦形式論ノ甚
ダシキモノデナイカト思フノデアリマス、

元來輕過失ガ何デ、重過失ガ何デアルト云
フヤウナ一定ノ見解ハ勿論アリマセス、ノ
ミナラズ同ジ事實デモ普通人ガシタラ輕過
失ト認メラレルモノデモ、其ノ業務ニ從事
シテ居ル者ガシタラ重過失ト認メラルベキ
モノガ澤山アルト思フノデアリマス、普通
人ガ輕過失デ船舶ニ危害ヲ受ケルト云フ事
實ハチヨット想像ガツキマセスガ假ニデス、
船ノ上デ煙草ヲ喫ンデ居ッテ、其ノ吸殻ヲ投
ゲタ、投ゲタ處ガ折惡シク「ヴェンチレー
ター」ノ中ニ入ッタ、其ノ下ニ燃エ易イ荷物
ガアッテ、吸殻ノ爲ニ火災ヲ起シタト云フヤ
ウナ場合ヲ想像シテ見マシテモ、普通人ナ
レバ是ハマア輕過失ト云フノデアリマセウ
ガ、船員デシタラ是ハ重過失ト謂フベキモ
ノデアラウト思フ、同ジ事故ヲ惹キ起シテ、
普通人ガ罰セラレテ、船員ガ罰セラレナイ
ト云フナラバ、不公正ト謂フベキデアリマ
セウガ、唯觀念的ニ輕過失ト云フモノニ付
テ處罰セラレルトカ、處罰セラレタトカ云
フコトデ、不公正ト云フコトハ承服出來ナ
イノデアリマス、ソレカラ第四點ハ船長及
船員ハ貴重ナ人命ヲ澤山託セラレテ居ルカ
ラ、少シデモ制裁ヲ多クシテ注意ヲ怠ラヌ
ヤウニセシメル必要ガアル、是ハ最モ殘念
ナ御議論デアッテ、此ノ御考ハ頗ル實情ニ疎

イノデハナイカト思フノデアリマス、多ク
ノ船員ハ司法當局ニ斯様ナ御考ヲ持ッテ居
ラレルト云フコトヲ承クテ、多大ノ侮辱ヲ
感ズルノデハナカラウカト思フノデアリマ
ス、申ス迄モナク船長及海員ハ何レモ其ノ
職責ニ對應スル教育ト訓練ヲ受ケテ居ルノ
デ、常ニ責任ノ重大ナルコトヲ肝ニ銘ジテ
職務ヲ執ッテ居ルノデアリマス、刑罰ガ課セ
ラレルカラ注意ヲ深クシ、刑罰ガナイカラ
油斷ヲスルト云フヤウナ心理狀態ハ、一分
一秒ノ間ト雖モアラウト云フコトハ想像ガ
付カヌノデアリマス、假ニ左様ナ不心得ノ
者ガアルト致シマシテモ、船舶ガ危難ニ陥ッ
タ時ハ、船長自分自身ガ眞先ニ危險ニ曝サ
レルノデアリマス、此ノ新船員法第九條ニ
於キマシテモ、船舶ニ急迫ノ危險アルトキ
ハ船長ハ人命、船舶及積荷ノ救助ニ必要ナ
ル手段ヲ盡シ且旅客、海員其ノ他船内ニ在
ル者ヲ去ラシメタル後ニ非ザレバ船舶ヲ去
ルコトヲ得ズ、續イテ罰則第五十二條ニ、
船長ガ第九條ノ規定ニ違反シ船舶ヲ去リタ
ルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス、斯ウ云フ
罰則ガ附イテ居ルノデアリマス、斯様ナ規
定ガ有ッテモ無クテモ、船長ハ最後迄踏止マ
ルヤウニ教ヘラレ、又其ノ覺悟ヲ持ッテ居ル
ノデアリマス、兎ニ角斯様ナ罰則モアルク

ラキデアリマシテ、此ノ點カラ考ヘテモ寸
刻モ注意ヲ怠ラウトハ思ヒマセス、從テ一
般刑法ノ刑罰ノ有無ニ依ッテ注意ヲ異ニス
ルナドト云フコトハ考ヘラレヌノデアリマ
ス、斯様ニ此ノ四點トモ私ハ承服ガ出來ナ
イノデアリマス、尙序ニ航空法ノコトヲ申
上ゲタイト思ヒマス、是ハ司法當局ニ於テ
航空法トノ權衡ガ取レスト云フコトヲ、最
後ニ御申出ガアルカト思フノデ附加ヘマス
ガ、成ル程航空法ノ五十二條ニハ、過失ニ
因リ航空ノ危險ヲ生ゼシメ又ハ現ニ航空ノ
用ニ供スル航空機ノ墜落、顛覆、覆没又ハ
破壊ヲ致シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處
ス、其ノ業務ニ從事スル者前項ノ罪ヲ犯シ
タルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ三千圓以下
ノ罰金ニ處ス、斯ウアッテ、其ノ特別法ノ航空法
ニモ今私共ガ論ジテ居ル所謂重過失、輕過失
ト云フモノハ問題ニナッテ居ラスノデア
リマス、併シナガラ是ハ昨日モ井上男爵
カラ御話ニナッタヤウニ、實際問題トシテ
飛行機ノ事故ニ對シテハ、一般ニ不可抗力
ト感ゼラレルコトガ強イノデ、檢察當局ニ
於テモ從來左様ニ御考ヘニナッテ居ルモノ
ト見エテ、過失問題ガ生ジナイ、實際問題ガ
生ジナイカラ、其ノ儘ニナッテ居ルノデア
ラウト思フノデアリマス、若シ過失問題ガ

頻發スルヤウニナリマシタナラバ、必ズ此
改正ノ問題ガ起リヤシナイカト思フノデア
リマス、船員ノ苦痛ハ唯ソレバカリデハア
リマセス、是ハ申上ゲル迄モナイコトデア
リマスガ、其ノ上ニ海員懲戒法ニ依ル行政
上ノ處分ガアリマス、即チ海事審判ニ付セ
ラレテ狀況ニ依ッテ譴責、免狀停止、免狀禁
止ト云フヤウナ制裁ヲ受ケルノデアリマス、
其上ニ檢察當局ノ取調ヲ受ケル場合ニ於テ
モ、陸上ノ當事者ハ、其ノ取調ヲ受ケタ時
ダケ仕事ヲ休メバ宜イノデアリマスガ、船
舶ハ遠方ニ航行スルノデアリマスカラ、碇
泊中調ガ終ラヌ時ハ、下船ヲスルコトノ已
ムヲ得ナイニ至ッテ、時ニ失業ノ虞モ伴フノ
デアリマス、斯様ニ之ヲ考ヘ合セマス時ハ、
船員ニ對シテ、刑法第二百二十九條ヲ擬スル
ト云フコトハ、苛酷デアリ、又我が船員ノ
自負心ヲ傷ツケルモノデアリマシテ、此ノ
結果優秀ナル青年ガ船員トナルコトヲ好マ
スヤウニナル、或ハ熟練ナ船長ガ不測ノ災
害ノナイ内ニ隱退ヲ欲スルト云フヤウナコ
トガ若シアリマシタラバ、我が海運界ノ發
展ニ多大ノ障礙ヲ來ス虞ハナイカト云フコ
トヲ心配スルノデアリマス、此ノ點ニ付キ
マシテ、司法大臣ノ御考ヲ承リタイト思ヒ
マス

○國務大臣(鹽野季彦君) 深尾男爵ノ御尋

ニ御答ヲ致シマス、海難事故ニ付キマシテ
特異性ノアリマスコトハ、誠ニ御説ノ通り
デアリマス、海員ノ刑事上ノ過失責任ニ付
キマシテハ、立法問題ト致シマシテ均衡
論ガゴザイマス、又法ノ運用ニ付キマシテ
ハ事實ノ問題ガゴザイマス、立法問題ト致
シマシテハ、現在刑罰法規ノ基本ヲナシテ
居リマス現行刑法上ニ於キマシテ、過失ニ
關スル責任ハ通常人又從業者何レヲモ其ノ
重要ナル過失ニ、業務ニ付テ……業務ト云
ヒマスカ、重要ナル事故ニ付テ責任ヲ負ハ
シテ居ルノデアリマス、ソコデ海員ト他ノ
從業者若シタハ通常人ト云フ者ガ、同ジヤ
ウニ責任ヲ負ハセラレテ居リ、サウシテ業
務ニ從事スル者ハ、通常人ヨリモ重ク罰ス
ルト云フ建前ヲ刑法ガ採ッテ居ルノデアリ
マス、是ハ一般ノ刑事責任ヲ律スル法典ト
致シマシテ、均衡ガ取レテ居ルコトト信ジ
テ居リマス、ソレニ依リマシテ昨日モ説明
員カラシテ色々小分ケニシテ御説明申上ゲ
タコトト存ジマスガ、先ヅ法律ノ建前ト致
シマシテハ、現行刑法ガアリマス以上ハ、之
ニ從ッテ行クノガ相當ト考ヘテ居ルノデア
リマス、唯法ヲ運用致シマス上ニ、海難事
故ガ特ニ特殊ナ事情ガ多い、而シテ之ニ對

スル取調ニハ特殊ナ知識ヲ要スルト云フヤ
ウナ點カラ致シマシテ、法ノ運用ノ上ニ於
テハ十分ニ考慮シナケレバナラスト存ジテ
居ルノデアリマス、申スマデモナク海難事
故ノ原因ヲ見マスト云フト、暴風雨トカ或
ハ潮流トカ、暗礁トカ或ハ濃霧トカ其ノ他
種々ナル自然現象ニ支配セラレル場合ガ多
多生ズルノデアリマシテ、而モ是ノ間ニ運
航ヲ續ケテ居リマス上ニ於テハ、多數ノ船
員ガ共同操作ヲナシテ居ルト云フ關係カラ
シテ、其ノ間ニ過失アリヤ否ヤト云フコト
ヲ認定致シマスルコトハ頗ル困難ナコトト
考ヘラレマス、多クハ輕過失ノ如キモノハ
サウ判然ト認メルコトガ困難デアリマシテ、
通常著シイ過失ガ過失トシテ認メラレ、サ
ウシテ處罰ヲ受クルコトニナルコトト考ヘ
テ居リマス、併シナガラ左様ナムツカシイ
事案デゴザイマスルカラ、是ハ先ヅ最初ニ
海事審判所ノ審判ニ委セテ、其ノ結果ヲ
俟ッテカラ刑事上ノ捜査ニ著手スルノガ相
當デアルト云フコトヲ考ヘテ居リマシテ、
司法當局モ既ニ十年前カラ其ノ點ニ付テハ
訓令モ發シテ居ルヤウナ次第デアリマス、
其ノ後ニ於キマシテモ、困難ナル事案デア
ルカラシテ、之ヲ檢舉スルニ當ッテハ十分
ナル注意ヲ加ヘ、理解アル處置ヲ以テ臨マ

ナケレバ相成ラスト云フコトヲ一般檢事局
ニ對シテ訓示致シテ居ルヤウナ次第デアリ
マス、斯様ナ次第デ、先ヅ事件ノ取扱方ハ、
通常ノ事件トハ特殊ノモノデアルト云フコ
トヲ係リノ者ニ於テ能ク頭ニ入レテ置キマ
シテ、サウシテ濫リニ海員ノ取調ノ爲ニ、
海員ノ業務上ハ勿論、其ノ船ノ運航ニ付
テノ支障ヲ起サセナイヤウニ、又關係者ニ
對スル損害等ヲ考慮シテ損害ノ大ナラヌヤ
ウニ注意ヲスルト云フヤウナコトニ付テ、
十分ニ注意ヲ致シマスルナラバ、御懸念ノ
ヤウナ結果ハナクテ済ムノデハナイカト考
ヘテ居リマス、併シナガラ此ノ問題ハ關係
當事者ノ間ニ於テ非常ニ熱烈ナル希望モア
ルコトデゴザイマスルシ、又實際海難事故
ノ頗ル特異性ノアルコトモ認メラレマスル
カラシテ、目下刑法改正ノ委員會モ存置シ
テ居リマシテ、丁度各論ノ改正ニ取掛カッテ
居ル際デゴザイマスカラ、此ノ事情ヲ詳シ
ク刑法改正委員會ニ申シ傳ヘマシテ十分ニ
審議ヲシテ貰フコトニ努力致シタイト考ヘ
テ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○男爵深尾隆太郎君 大分障礙ニ對スル御

質問者ガ多イヤウデゴザイマスガ、私ハ此
ノ程度デ止メマス、唯モウ一點チヨット御伺
ヒシタイノデアリマスガ、只今司法大臣ノ

仰セニナリマシタ海軍審判所ノ審判後デナ
ケレバ刑事訴追ヲシナイ方針ニスルト云フ
コトハ、ドウ云フ方針デソレヲ御決メニナ
ルノデアリマスガ、此ノ法律ニ現レテ居ル
處デハ却テ反對ノコトガアル、詰リソレハ
海員懲戒法ノ第三十四條ニハ、「刑事裁判手
續中ハ被審人ニ對シ審判ヲ開始スルコトヲ得
ス、被審人刑事訴追ヲ受ケタルトキハ直チ
ニ其ノ事件ノ判決ヲ終ルマテ審判ヲ中止ス
ヘシ」、却テ懲戒法ノ方ガ後退リマシテ居ル
ヤウナ風デアリマスカラ、餘程ハッキリ其ノ
點ヲ安心ノ出來ルヤウニ御決メ戴カスト云フ
ト、事實ハ反對ノコトニナッテ、海事審判ノ
方ガ出ラレナイト云フヤウニ考ヘマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 御尤モデアリマ

スルガ、其ノ規定ハ詰リ双方取調ガ並行シ
テ進ミマスルト、非常ニ御互ニ支障ヲ生ジ
マスルコトヲ懸念致シマシテ、先ヅ一方ガ
始ッテ居レバ停止スルト云フヤウナ趣意ニ
過ギナイノデアリマシテ、先ヅ海員審判所
ノ方デ先ニ取調ヲ開始スル、サウシテ刑事
訴訟ノ方ハアトニスルト云フコトニ致シマ
シテ、大正四年既ニ其ノ旨ヲ檢事一同ニ對
シテ通牒ヲ發シテ居ルヤウナ次第デゴザイ
マス、懲戒處分ノ方ト矢張り競合スルヤウ
ナ場合ニハ、懲戒處分ヲ俟ツト云フニ過ギナ

イノデゴザイマス

○男爵深尾隆太郎君 チョット關聯シテ遞信

省ノ當局ニ御伺ヒシマスガ、只今司法大臣ノ御答ノヤウナ趣意デ事實上、將來ハ海事審判ノ方ガ先ヘ立ッテ行クト云フコトニ、我共事實上サウ云フコトハ必ズナルト云フ安心ヲシテ宜シイノデアリマセウカ

○政府委員(小島新一君) 司法大臣カラ御

答ガアリマシタガ、大正四年來、事實海事審判ノ方ガ先行シテ居リマスカラ、將來モサウナルコトト思ヒマス

○男爵深尾隆太郎君 私ハ是デ質問ヲ終リマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 尙申添ヘマスガ、

此ノ大正四年ノハ舊イノデアリマシテ年月ヲ經過致シテ居リマスカラ、更ニ職員ヲシテ記憶ヲ新シクサセル爲ニ、本年六月ニ於キマシテ司法官會同ヲ致シマシタル際ニ、此ノ點ニ付テ詳シク訓示ヲ致シテ居リマス

○橋本辰二郎君 深尾サンモウ宜シウゴザイマセウカ

○男爵深尾隆太郎君 エ、

○委員長(侯爵西郷從德君) 司法大臣ニ御

尋デゴザイマスカ

○橋本辰二郎君 私ノ御尋ネシタイト思フコトノ大要ハ、深尾委員ニ於テ既ニ御聽キ

ニナリマシタノデゴザイマスガ、尙多少重複スル點モアルカモ知レマセヌガ、私自身ニ於キマシテハ補正ノ意味ニ於キマシテ、

少シク御尋ネ致シテ置キタイト思ヒマス、茲ニ審議中ノ此ノ船員法ト云フモノハ、多年ニ亙リマシテ海事關係者ノ希望シタル要綱ノ大部分ヲ採擇セラレマシテ、此ノ原案ガ出來タヤウニ思ヒマシテ、私ニ於キマシテモ此ノ案ハ比較的好キ案デアルト思フノデアリマス、併シナガラ多年ノ間本法ノ高級海員ハ勿論、海運關係者ガ舉ッテ熱望ヲ致シテ居リマシタル肝要ナル一箇條ヲ缺イタルコトハ、是ハ確カニ白玉ノ微瑕デアッテ、

本法ノ完璧ヲ缺クモノデアルト私ハ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、尤モ昨日來ノ質問應答ヲ承ッテ居リマス、遞信當局ニ於キマシテハ能ク船員竝ニ海事關係者ノ意思ノアル所ヲ參酌セラレマシテ、其ノ希望ノ達成ニ努メラレタルニモ拘ラズ、司法省ノ反對ニ依ッテ肝要ノ一箇條ヲ削除スルコトニ

ナッタト云フコトデアリマス、而シテ此ノ點ニ對シマシテ昨日ノ司法省ノ説明員ノ言フ所ハ、先程深尾委員カラモ御述べニナリマシタ通りニ、今直チニ現行法第七十三條ノ規定ヲ此ノ改正法律案ニ挿入スルコトニ付テハ御賛成申上ゲルコトハ出來ナイ、此ノ

事ハ幾度モ繰返シテ説明セラレタノデアリマス、然ルニ此ノ法案ハ前議會ニモ提案セラレタモノデアリマス、而シテ前議會竝ニ今議會ニ於キマシテ衆議院ニ於キマシテハ、多數ノ時日ヲ費シテ慎重審議シタノデアリマスルガ、其ノ質問ノ重點ト云フモノハ、

悉ク此ノ輕過失ハ處罰セズト云フコトニ集中セラレテ居ッタノデアリマス、是ハ當然ナルコトデアリマシテ、苟モ今日海事ニ關係スル者ハ一般ニ此ノ事ハ共鳴致シテ居リマス、ノミナラズ衆議院ノ多數モ此點ニ付キマシテ共鳴致シテ居ル點カラ觀マシテ、此ノ事ハ所謂衆愚ノ輿論ニアラズシテ、實ニ天下ノ識者ノ輿論ト言ッテモ私ハ宜イモノト思ヒマスル、此ノ點ニ付キマシテ司法當局ガ能ク御考ヘニナランコトヲ私ハ望ムノデアリマス、又陸上交通機關操縦者ノ輕過失ヲ處罰セルニ、單リ船員ノ輕過失ヲ除外シタルハ均衡ヲ失シテ、國民ノ感情ニ反スルト云フコトデアリマス、是ハ一應ハ御尤モデアルヤウデアリマスガ、實ハ本問題ノ核心ニハ觸レテ居ラヌト私ハ思フノデアリマス、

我々ノ尊敬致シマスル所ノ我が高級海員……高等專門ノ教育ヲ受ケテ、人格ト經驗トヲ具備シテ居リマスル所ノ我が高級海員諸君ハ、決シテ免レテ恥ナキ手輩デハナイノ

デアリマス、苟モ過失ガアルナラバ之ニ對スル處罰ハ甘ンジテ潔ク受クルノデアリマス、唯恐ル、所ハ罪ナクシテ配所ノ月ヲ眺ムルト云フコトデアアルノデアリマス、事實又司法當局ハ陸上交通機關ノ操縦者ト、此ノ船舶操縦者トヲ殆ト同一視セラレタルヤウノ觀ノアリマスルノハ、誠ニ遺憾ニ存ズルモノデアリマス、之ヲ極端ニ評シマスルナラバ菽麥ヲ辨ゼズ、薰蕕同架ト云フ謗リヲ免レナイト言ッテモ私ハ然ルベキカト思フノデアリマス、先程深尾委員モ御話ニナリマシタヤウニ、彼ノ軌道ノ上ヲ走ル汽車ヤ電車ノ運轉手ヤ、坦々タル道路ヲ走ル所ノ自動車ト運轉手ト、高等ノ教養ヲ積ミ、尊敬スベキ人格ヲ有スル所ノ高級海員トヲ混同スルハ、是ハ常識上許容セラル、コトデアラウカドウカト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、此ノ誤リタル所ノ混同ト云フモノハ、著シク高等海員ノ矜持ト自尊心トヲ傷ツケマシテ、職務ノ執行上ニモ少カラザル惡影響ヲ及ボス虞ガ十分ニアルト思フノデアリマス、又汽車ヤ電車、自動車ノ事故ノ發生ノ場合ハ、其ノ過失ニ起因スルカドウカト云フコトヲ、之ヲ認定スルコトハ左程困難ノコトデハナイカト思ヒマス、然ルニ船舶ノ事故ニ付キマシテ、其ノ事柄ガ果シテ過失デ

アルカドウカト云フコトヲ認定スルコトハ、非常ニ困難ナ事情ガアルノデアリマス、船舶操縦者ガ如何ニ注意ヲ拂ヒ、善謀善斷善處スル所ガアリマシテモ、海難事故ト云フコトヲ免レルコトガ出来ナイ事情ガ實ニ屢、起ルノデアリマス、而シテ一度海難事故ガ起リマシテ、其ノ原因ヲ探究スル場合ニ於テハ、全ク是ハ陸上ノ事故トハ異ニ致シテ居リマシテ、ナカ／＼容易ニ其ノ事實ノ真相ヲ掴ムコトガ出来ナイノデアリマス、サウシテ甚ダ斯クノ如キ事ガアルガ爲ニデスネ、大抵ナ事ハ過失ナリト認定セラル、機會ガ多イノデアリマス、デ詰リ此ノ事實ノ認定ト云フコトニ付キマシテ、海員一般ハ非常ニ恐レテ居ルノデアリマス、御承知ノ通りニ船舶ノ遭難事故ト云フモノハ、其ノ影響ガ重大デアリマス、昨日モ説明員ガ言ハレマシタ通り、海難ノ事故ハ何分船舶ハ多數ノ乗客、又多數ノ貨物ヲ積載シテ居ル關係上、一度顛覆等ノ事故ガ發生スレバ、其ノ事故ノ重大ニシテ且ツ悲慘デアルコトハ、到底他ノ陸上ノモノト比較スベキモノデナイカラ、此ノ重大ナル結果ニ對シテ、客船並ニ船員ノ運命ヲ双肩ニ擔ッテ居ル船舶乗組員トシテ重キ責任ヲ負ハナケレバナラヌコトハ當然デアル、斯ウ云フコトデア

リマス、是ガ實ニ恐ルベキコトデアリマス、所謂此ノ船舶ノ遭難事故ト云フモノハ實際其ノ通りノ重大ナル結果ヲ起シマシテ、社會問題トナルノデアリマス、此ノ事柄ガツイ檢察當局ヤ地方當局ノ腦裡ニ反映致シマシテ、知ラズ識ラズ誤斷ニ陥リマシテ、假令不可抗力デアリ、又天災デアツク場合デモ尙且之ヲ過失ナリト認定スルコトガ多々アルノデアリマス、是ガ實ニ恐ルベキコトデアリマシテ、所謂此ノ誤リタル認定ノ爲ニ無辜ノ冤罪ヲ被ルコトハ多々アリ、而シテ一度刑罰ニ處セラレタル者ハ保險會社ノ「ブラックリスト」ニ載リマシテ、再ビ船長タルコトノ職務ヲ得ルコトハ出来ナイノデアリマス、即チ終世失業ノ憂目ヲ見ナケレバナラヌノデアリマス、罪ガアリマシテ、罰セラレルコトハ固ヨリ海員一般ノ厭フ所デハナイノデアリマスルガ、誤リタル認定ニ依ッテ生業ヲ失フト云フコトハ、實ニ是ハ人生ノ堪ヘ得ザル所ノ悲慘事デアルト思ハレルノデアリマス、是ガ我が高等海員一同ノ輕過失ノ處罰徹廢ヲ叫ブ所以デアリマスル、所謂疑ハシキハ之ヲ罰セズト云フコトガアリマシテ、事實ノ認定ノ困難ナル疑ハシキ事故ニ付キマシテハ、宜シク法ヲ設ケテ、其ノ疑惑ヲ一掃スルコトガ事ノ宜シキヲ得タルモ

ノデハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、只今申上ゲマシタルコトニ付キマシテハ、多少意見ニ互ル點モアルカト思ヒマスルガ、斯クノ如キ問題ヲ審議スル場合ニ於テハ、其ノ意見ノ變ハルコトモ是ハ已ムラ得ヌコトト言ハナケレバナリマセヌデゴザイマスルガ、切ニ此點ニ付キマシテ司法當局ノ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ大臣ハ只今、衆議院ニ於テノ附帶決議モ尊重スルト云フコトデアリマシタガ、尙一層此ノ海員ノ立場及海事關係者一般ノ輿論トモ言フベキ所ノ此ノ希望ノ達成ニ付キマシテハ非常ナル同情ヲ以チマシテ、來ルベキ刑法改正ノ場合ニ此ノ點ヲ明瞭ニ法文化シマシテ、多年ノ海員其ノ他ノ者ノ熱望ヲ容レラレムコトヲ、私ハ御願ヒ致シタイト思フ者デアリマス、尙只今ノ申上ゲマシタコトニ付キマシテ、司法大臣ヨリ教ヲ受ケルコトガアルナラバ、此ノ際承リタイト思ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君)

誠ニ御説ノ通り

ニ海員ノ立場ト云フモノガ、非常ニ同情スベキ下ニアルコトハ能ク了承致シマシタ、之ガ過失ヲ罰シナイト決リマスレバ兎ニ角、何レニシマシテモ過失ヲ罰スルト云フコトニ決ッテ居リマス、其ノ事件ノ取扱ノ上ニ於キマシテ、之ヲ認定スルコトガ非常ニ困難デアルト云フ事情モ能ク察セラレマスルノデ、將來ニ於キマシテ一層部下職員ニ對シマシテハ、事件ノ取扱ニ對シテ十分ナル注意ヲ加ヘマシテ、同情アル處置ニ出ルヤウニ心配ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○内田重成君 私ハ幸ヒ司法大臣モ御出席デアリマスカラ、極メテ簡單ニ御聽キ申スノデアリマス、只今色々承リマシタ御意見ト又御答辯ニ依リマスルト、刑法ノ改正ト云フコトハ案件ニ對シテ重大ナル關係ヲ有スルヤウニ思ヒマスルガ、刑法改正ハ既ニ數年前ヨリ司法省ニ於テ御著手ニ相成ッテ、其ノ完成モ恐ラクハ遠カラザルコトトハ考ヘルノデアリマスガ、海軍刑法ニ於キマシテ又陸軍刑法ニ於キマシテ、普通刑法トノ睨ミ合ヒニ於キマシテ、其ノ改正事業ガ數年前ヨリ著手致シテ居ルニ拘ラズ未ダ完成ニ至ラズト云フコトデアリマス、豫算總會ニ於キマシテ私が陸軍大臣ニ御尋ヲ致シマシタ際ニ左様ナ御答デアリマシタ、海軍ノ實情ニ於キマシテモ矢張り同様ニ仄聞ヲ致シテ居ルノデアリマス、陸海軍ノ刑法ガ現在ノ時相ニ鑑ミマシテ、相當改善ヲ要スル點モアルデアラウト云フコトニ考ヘラル、ノデアリマシテ、先程軍

務局長ノ御意見ノ中ニモ左様ナ御言葉ガ
アッタノデアリマス、就キマシテハ此ノ刑法
ノ改正ノ完成ト云フコトガ現在ニ於キマシ
テハ、最も重大ナル關涉ヲ有スルモノデア
リマス、私ハ此ノ法律ノ改正ニ付テ數年若
シクハ十年以上モ之ヲ其ノ爲ニ掛ッテ居ル
ト云フコトデアッテハ、次第々々ニ此ノ時代ガ
變化シテ參リマスルト、所謂巧遅ヨリ拙速
ヲ尙ブト云フコトノ方ガ適當デハナイカ、
若シ先ヘ行ッテ惡イ所ガアレバ、其ノ惡イ所
ハ端カラ變ヘテ行クト云フ方針ガ宜イノ
デ、其ノ完璧ヲ絶對的ニ期スルト云フコト
ハ、ソレハ斯ク變轉スル時代ニ於テハ極メ
テムツカシイコトデアルト考ヘル、ソレデ
次ノ議會ニデモ刑法ノ改正案ガ、普通刑法
若シクハ陸海軍刑法トモ、其ノ改正案ガ御
提出ニナルト云フコトノ御取扱ガ出來ル御
見込アリヤナシヤト云フコトニ付キマシ
テ、御意嚮ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 普通刑法ノ改正
ニ付キマシテハ、昨年ノ秋頃迄ニ第一ノ草
案ガ出來マシテ、秋カラ非常ナ速力デ更ニ
之ヲ見直シ修正シツ、アルノデアリマス、
刑法ノ特別委員會ニ於キマシテハ成ルベク
急イデ來年ノ議會迄、詰リ十三年ノ春ノ議
會ニ出シタイト云フ目標ノ下ニ勉強セラレ

テ居リマス、恐ラクハ年末迄ニハ脱稿スル
コトト考ヘテ居リマスルガ、私ノ只今ノ見
透シデハ來年ノ議會ニ提案スルコトハムツ
カシカラウト思ッテ居リマス、其ノ次ノ議會
ニ必ズ出サウト云フ見透シデ居ルノデアリ
マス、ガ併シ各委員ガ熱心ニヤッテ居ラレマ
スルカラ、是ガモウ二ヶ月モ早ク纏リマス
レバ、更ニ之ヲ總會ニ掛ケマシテ、サウシ
テ提案ノ運びニ致シタイト云フノデ、急イ
デ居ルヤウナ次第デアリマス、先ヅ只今ノ
所一同ノ人ハ來年ニハ必ズ出スト言ッテ居
ラレマスルカラ、ウマク參リマスレバ來年
ニ出マス、左様ナ程度ニナッテ居リマス

○内田重成君 モウ少シ伺ヒタイ、此ノ海
上事故ニ對シマスル檢事ノ取扱處分トシ
テ、輕過失等ニ付テ不起訴若シクハ起訴猶
豫ト云フヤウナ處分ハ相當ニアルデアラ
ウ、今迄統計ニ現レテ居リマスルモノニ依ッ
テ見レバ、海員ニ對スル刑事訴追ハ餘リ多
クナイヤウニ考ヘル、其ノ實際ニ我々が見
聞スル所ト裁判所ノ統計トハ餘程距離ガア
ルヤウニ考ヘル、シテ見ルト檢事ノ手心デ
過失ガアッテモ、輕過失ノ如キモノハ多看
過サレルデナイカト云フヤウナ考ヲ持ツノ
デアリマス、其ノ統計ノ御調べニナッタモノ
ガアリマスレバ後程政府委員、又ハ司法省

ノ、其ノ統計等ニ付キマシテモ詳細ナルモ
ノヲ御示シ下サルト宜シカラウカト考ヘマ
ス、又檢事ノサウ云フ手心、所謂起訴猶豫、
又ハ不起訴處分ト云フヤウナコトガ實際ニ
於テ爲サッテ居ルノダラウト私ハ考ヘル、其
處ハ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(鹽野季彦君) 御尋ノ表モ二十
部位ハアルサウデゴザイマスルカラ、御上
ゲヲ致スコトニ致シマス、チョット申上ゲ
マスルト、五年間ニ海事審判所デ扱ヒマシタ事
件ノ數ガ三千六十九件デゴザイマスルガ、
其ノ中手ヲ著ケマシタ……檢事局デ調べ
マシタノガ一千八百十件、サウシテ其ノ中起
訴シタ總數ガ七十三件ニ過ギナイノデアリ
マス、後ノハ皆不起訴デ、御説ノヤウニ認
定ガ頗ル困難デアリマスカラ多クハ不起訴
ニナル、起訴猶豫ガ其ノ中ニ多數ゴザイ
マス

○内田重成君 モウ一遍伺ヒマス、色々此
ノ現行法ノ七十三條ノ規定ニ付キマシテ、
衆議院ニ於キマシテモ、昨年色々議論ガ起
キテ居ルヤウデアリマス、只今モ各位ノ御
意見ヲ承リマシタ海上事故ノ判定ニ付テハ
相當困難デアル、素人デハ容易ニ判斷出來
ナイ問題ガ多い、ソレ故ニ海軍ニ於キマシ
テハ餘程以前カラ查問會ト云フヤウナ特別

ノ制度ガ出來テ居リマシテ、之ニ依ッテ當ニ
責任問題ノミナラズ、海難事故ノ原因、其
ノ他將來ニ對スル改善等ノ意見迄モ調査ス
ル爲ニ查問規則ガ出テ居リマシテ、事件ノ
大小ニ依ッテ調査委員ヲ其ノ都度設ケルヤ
ウニナッテ居リマスガ、ソレ程ニ海上事故ノ
判定ハ困難ナモノデアル、若シ斯クノ如キ
事故ニ對スル裁判制度ニ於キマシテ、特別
ノ裁判官ハ一種ノ組織ヲシテ、海上生活等
ニ精通スル人モ其ノ裁判官ノ中ニ入ルト云
フコトニサル、ナラバ今日迄貴衆兩院ニ現
レマシタヤウナ意見デアルトカ、又ハ民間
ノ海員ヨリノ各種ノ此ノ點ニ付テノ意見デ
アルトカ云フヤウナモノモ、自ラ其處ニ諒
解ガ出來、緩和ガ出來ルノデハナイカト云
フ感ジモスルノデアリマス、此ノ海難事故
ニ對スル海事裁判ハ區裁判所ノ管轄ニ相成
ルノデアリマス、一人ノ判事ガ裁判ヲスル、
不服デアルナラバ、控訴上告ノ途ガアリマ
スケレドモ、大體最初ノ裁判ニ依ッテ決マル
ノデアアル控訴上告ト云フヤウナ煩雜ナ手續
ハ一般ガ欲シナイノデアリマス、ソレデサ
ウ云フ特別ノ裁判機關ヲ設ケルト云フコト
ガ、一ツノ考ヘ方デハナイト考ヘルノデア
リマス、ソレニ付テ御考ヲ一ツ承リタイト

思ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 御尤ナ御考デアリマスガ、ソレニ付キマシテハ十分考究シテ見タイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷從德君) チョット皆様ニ御相談シマス、午後續ケタイト思ヒマスガ、司法省ノ方ハ是デモウ質問ハ濟ミマシタカ

○内田重成君 私ハ司法省ハ濟ミマシタ、アト遞信省ノ方ニチョット御尋ネシタイ

○岩田宙造君 私ハ司法關係ノ質問ヲマダ致シタイ

○子爵秋元春朝君 私モ司法關係ニ質問ガアリマス

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ銀行局長ガ御出デニナッテ居リマスカラ、其ノ分ヲ今願ヒマス

○橋本辰二郎君 私ハ海事金融ノコトニ付キマシテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、海事金融ハ前議會ニ於キマシテ擴張サレマシテ、七千萬圓ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ現在建造中ノ船ハ約百萬噸ヲ越シテ居ルト思フノデアリマス、サウシテ是ハ何レモ優秀船デアリマス爲ニ、此ノ建造費ト云フモノモナカク多額ヲ要シマシテ、恐ラク百萬噸以上ノ現在建造中ノ船ノ

製造費ト云フモノハ、五億圓ヲ下ラスカト

私ハ思フノデアリマスガ、此ノ中ニ郵船、商船兩會社ノ註文ニカ、ルモノモ相當アリマセウト思ヒマス、此ノ郵船、商船ニ於キマシテハ資金ハ自ラノ手ニ於テ融通スルト云フコトニナッテ居ルヤウニ聞イテ居リマス

ガ、此ノ郵船、商船ヲ除キマシテモ、所謂社外船ト云フ側ニ於テ建造シテ居ル所ノ總額ハ、恐ラク三億圓ヲ下ラスノデハナカラ

ウカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、果シテ三億圓デアルトスレバ、現行ノ海事金融ノ規定ニ依リマスレバ、其ノ建造費ノ三分ノ二迄ハ貸出スコトガ出來ルト云フコトデア

リマスカラ、二億圓迄ハ、是ハ借り得ルダケノ資格ガアルノデアリマス、然ルニ海事金融ノ最高限ト云フモノハ七千萬圓ニナッテ居リマシテ、甚ダ金額ガ少クシテ不自由ヲ

感じテ居リマスガ、之ヲ相當額ニ擴張サレマシテ、次ノ議會ニデモ提案スルト云フ御意思ハナイデアリマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 橋本サンノ御尋ニ御答ヘ致シマス、御話ノ通り只今造船資金ガ七千萬圓ゴザイマシテ、興業銀行アタリノ話ニ依リマシテモ、相當巨額ノ借入ノ申込ガアルト云フコトヲ承テ居リマスルノデ、七千萬圓デハ不足デアラウト云フコ

トハ想像スルニ難クナイ所デゴザイマス、

從ヒマシテ之ガ資金ノ増額ヲシタラ宜イデハナイカト云フ只今ノ御質問デアリマスルガ、之ニ付キマシテハ豫算等ノ關係モアリマスルノデ、一存ニ御答ハ致シ兼ねマスルケレドモ、遞信當局トモ協議致シマシテ、適

當善處致シタイト考ヘマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御答辯ニ依ッテ適

當ニ善處ショウト云フ思召デアルトスレバ、多分民間ノ希望ヲ御容レニナルコトト私ハ

自己ニ都合好ク之ヲ解釋致シマス、サウ致シマシテ尙一ツ御尋ネ致シタイノデアリマスルガ、只今ノ此ノ海事金融ハ興業銀行ノミヲ通ジテ行ハレテ居ルカノヤウニ聞イテ

居リマスガ、果シテサウデアリマセウカ、是ハ他ノ金融機關ニ迄貸渡シノ任務ヲ與ヘマシテ、一般ノ海事金融ヲ仰グ者ニ便宜ヲ與ヘルト云フ御考ハナイノデアリマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 只今造船資金ノ供給ヲ致シテ居リマスルノハ事實上、日本興業銀行一行ダケデアリマスガ、併シナガラ制度ノ上カラ申シマスレバ、敢テ興業銀行ノミニ限ッテ居リマスル譯デモアリマセウ、普通銀行デモ、信託會社デモ、他ノ金融機關ニ於キマシテ、若シ金融ヲシテ見タイト

云フ希望ガアリマスレバ其方ニモ許ス考デ

居リマス、實ハ只今ツイ最近ニ東京海上保險株式會社カラデゴザイマシタカ、ヤッテ見タイト云フヤウナ申出モアリマスルノデ、最近「コスト」其ノ他ノ點ニ付キマシテ折角

調査中デアリマス、當局ト致シマシテハ、決シテ日本興業銀行ノミニ限ル意思ハ持つテ居リマセウ

○橋本辰二郎君 只今資金「コスト」ト云フ

御話ガアリマスルガ、要スルニ、興業銀行ノ如キ、興業債券ニ依ッテ得タル低利資金ヲ持つテ居ル金融業者デナケレバ、是ハ許サナイ

ト云フ御方針デアリマスルカ

○政府委員(入間野武雄君) 只今資金「コスト」ト申上ゲマシタノハ、興業銀行等デアリマスレバ、興業債券ノ發行等ニ依リマシテ、其ノ自分ノ得マスル資金ノ「コスト」ハ明白ニ分ル譯デアリマシテ、保險會社等デアリマスレバ債券ヲ發行シテ居リマセウ

ヤウナ譯デアリマスカラ、ドノ程度デ資金ヲ得ラレルカト云フヤウナ調査ヲ致サナケレバナラナイカト思ヒマス

○橋本辰二郎君 御説明ニ依リマスレバ、普通ノ銀行ニ於キマシテモ此ノ融資ヲ致シタイト云フ願出ガアレバ、大藏省トシテハ之ヲ許スト云フ御方針デアリマスルカ、又

ハ現ニ其ノ意思ヲ大藏省ニ申出タルモノガアリマス

○政府委員(入間野武雄君) 普通銀行カラ

造船資金ノ融通ヲシタイト云フ希望ヲ申出デテ参リマスレバ大藏省トシテハ許ス積リデアリマス、只今ノ所デハ未ダ一行モ其ノ申出ヲ致シテ居リマセス

○橋本辰二郎君 肝要ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

デスガ、過去ニ於キマシテ海事金融ノ資金ハ五千萬圓ト云フコトニナツテ居タト私ハ記憶致シマス、處ガ此ノ五千萬圓ト云フモノハ甚ダ其ノ融通方法ガ窮屈デアリマシテ、事實上是ハ全部利用ハ出来ナカッタヤウニ承ツテ居リマス、是ハナンデアルカト言ヘバ、興業銀行ニ於キマシテ船舶ヲ擔保ニ取ルノミナラズ、個人保證ヲ要求シテ居タカラデアリマス、而シテ個人保證ト云フコト

ニナリマス、其ノ保證人タル所ノ個人ノ

資産、信用狀態ヲ調査致シマシテ、確實ナリト認メタル際デナケレバ之ヲ貸渡シラシナカッタ爲ニ、此ノ資格ニ適當スルモノハナイ、其ノ結果ト致シマシテ此ノ海事金融ハ思フヤウニ利用ガ出来ナカッタト云フコトデアリマス、然ルニ前議會ヲ通過致シマシタル金融制度ニ於キマシテハ、其ノ損失ノ七割迄ハ是ハ國家ニ於テ補償スルト云フコ

トニナツテ、從前ハ詰リ金融銀行ソレ自身ガ總テノ危險ト責任ヲ持ッタノデアリマスルガ、今回ハ國ニ於キマシテ其ノ損害ノ……

若シ損害ガ起ツタ場合ニ於テハ七割迄モ補償スルト云フコトニナツテ居ルト云フコトデ、事實ニ於キマシテ從來海事金融ニ於テ、銀行ニ於テ損害ヲ被ツタ例ト云フモノハ絶無ダト云フコトデアリマシテ、是ハ單ニ安心ヲ與ヘル爲ニ拵ヘタモノカト思ヒマスルケレドモ、斯ウ云フ制度ヲ設ケタ以上ト云フモノハ、從來興業銀行ガ要求シテ居タ所

ノ、個人保證ト云フモノハ、當然是ハ撤廢スベキモノト思ヒマスルガ、依然トシテ興業銀行ハ個人保證ヲ要求スルカノ噂ガアリマスルガ、是ハ事實デアリマセウカ、又如何ナルモノデアリマスルカ、大藏省ノ之ニ對スル御方針ヲ承リタイ

○政府委員(入間野武雄君) 只今興業銀行

ガ個人保證ヲ要求シテ居リマスカドウカニ付キマシテハ、未ダ私能ク存ジテ居リマセヌノデ御答ヘ致シ兼ねマス、ガ併シナガラ興業銀行ガ一面ニ於キマシテ、此ノ船舶金融ノ圓滑ナル運行ヲスルコトニ努力スベキコトハ勿論デアリマス、ト同時ニ將來溢リニ損失補償ヲ受ケルヤウナコトヲシテハナラヌコトモ考ヘナクテナラヌコトデアリ

マス、其點宜シク調和ヲ圖リマシテ、適當此ノ趣旨ニ副フテ進ムグラウト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 目下建造スル所ノ優秀船

ハ、今後如何ニ海運界ガ不況ニナリ、造船原價ガ引下ゲラレマシテモ、決シテ今註文シテ居ル所ノ價格ヲ下ルヤウナコトハナイ

ノミナラズ、而モソレガ三分ノ二ヨリ貸シテ居ラヌト云フコトニナレバ、其ノ擔保物ニ於テ十分ニ此ノ借入金ハ辨償スルコトガ出来ルト思フノデアリマス、此ノ上ニ尙且保證ヲ要求スルト云フコトハ如何ニモ無理ナコトノヤウデアッテ、此ノ法案ヲ拵ヘタル所ノ趣旨ニモ私ハ副ハヌカト思フノデアリマスガ、大藏省ハ如何ニ御覽ニナリマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 將來船價ガド

ウ云フ風ニナリマスサカト云フコトハ、近キ將來ニ於キマシテハ、御説ノ通り下ガルコトガナイカトモト思ヒマス、嘗テ大正九年頃デゴザイマシタカ、非常ニ船舶界ノ打撃ヲ受ケタ例モアリマスルノデ、興業銀行トシテモ、サウ云フ點ヲ考ヘマシテ、相當慎重ニヤツテ居ルカトモ思ヒマスガ、併シナガラ、此ノ立法ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、出來ルダケ便宜ニ金融ヲスルコトニ努メサセタイ

ト存ジテ居リマス

○橋本辰二郎君 私ノ質問ハ是デ……

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレヂヤ此ノ

程度デ打切リマシテ、午後ハ一時半カラ委員會ヲ開會致シマス

午後零時二十分休憩

午後一時三十九分開會

○委員長(侯爵西郷從德君) 只今カラ委員

會ヲ開會致シマス、司法省ノ警務局長ガ二時カラ御差支ガアルサウデアリマスカラ、司法省ノ方ノ御質問ヲ先ニ續ケテ戴キマス

○子爵松平保男君 私ハ昨日ノ委員會ニ於

キマシテ司法當局ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ッテ初メニ質問ヲ致シマシタガ、御出デニナラナイノデ逕信省關係ニ關スル點ヲ二三御尋ネシタニ止メタノデアリマスガ、其ノ後司法省關係ノ質問ニ付キマシテハ各委員ヨリ縷

縷御述ベニナリマシテ、殆ド私ノ申上ゲヨウ、又伺ヒタイト思フコトハ御聽キニナリマシテ御答辯ガアリマシタ、殊ニ本日ハ司法大臣ヨリ御答辯モアリマシテ、大體ノ御意嚮ハ分クノデアリマス、要スルニ此ノ問題トナツテ居リマスル件ハ海上ノ特異性ヲ認メル、同ジ認メルト云ツテモ其ノ認メ方ニ深ク認メルカ、或ハ海上ト云フモノハナカナカ色ンナコトガアッテ、普通トハ考ヘラ

レナイノダト云フヤウナ一般的ノ考ヘ方
ト、實際其ノ體驗ラシテ色々サウ云フ場合
ニ當ッテ來タ人ノ見ル所トハ大イニ違フダ
ラウト思フ、昨日井上男爵カラモ色々ノ海
上ニ關スルコトノ御話モアリマシタガ、井
上男爵ハ永年海上生活ヲ爲スッテ御出デニ
ルノダカラシテ、斯ウ云フヤウナ御考ガ出
ルノモ當然ト思フノデアリマスガ、私モ同
様ニ相當永ク海上生活ラシテ居リマシタカ
ラシテ、此ノ體驗ヲ可ナリ深く持ッテ居ル
積リナシデアリマス、要スルニ其ノ海上ノ
特異性ヲ認メル、之ガ爲ニ特別法ヲ作ル、
是ハ一般ノ交通者ノ事故トハ違フト云フコ
トノ認識ガ深ケレバ、之ガ爲ニ特別法ヲ設
ケラレルコト困難デナイノダラウト思フ、
司法當局ノ答辯ハ斯ウ云フヤウナ特別法ヲ
色々ヤツタナラバ、コチラノ方面カラモ船員
バカリニサウ云フ特別法ヲ設ケルノハ不都
合ダ、我々ノ方ニモ斯ウ云フコトヲシテ貫
ヒタイト云フヤウナ要求ガアルト云フト、
甚ダ煩ニ堪ヘナイト云フヤウナ司法當局ノ
御答辯ガ前議會ニ於テアツタヤウニ思ッテ居
ルノデアリマスガ、是ハ甚ダ如何ト思フ御
言葉ノヤウニ考ヘラレルノデアリマシテ、
司法ノ、所謂刑法ノ上ノ精神ニモ悖ルコト
ダラウト思フノデアリマス、ソレデ先程司

法大臣ガ此ノ刑法改正ノ委員會ニ此ノ實情
ヲ能ク傳ヘテ、十分ナル考慮ヲ爲サシムル
考デアルト云フヤウナ意味ノ御答デアリマ
シタガ、此ノ委員會ノ人達ガ恐ラク是ハ色
色海上ノ經驗ノアル人、又其ノ方面ノ權威
者モ委員ノ中ニハ入ッテ居ラレルコトダラウ
ト思ヒマスガ、是ガドウ云フヤウナ委員ノ
組織デアリマセウカ、ソレカラ尙又此ノ刑
法ノ改正ト云フコトモ、先程司法大臣ノ御
話デハ、モウ既ニ大體ノ骨子ハ出來テ居ッテ
今見直シラシテ居ル所デアル、來年ノ議會
ニハ上程ハムツカシイカモ知レナイガ、少
ク共其ノ次ノ議會ニハ出シ得ル見込デア
ルト云フヤウナコト迄御話ガアツタノデアリ
マスガ、此ノ改正ノ骨子ガ既ニ出來テ居ル
デアリマスレバ、今問題ニナッテ居リマス海
員ニ對スル處罰ノ問題ト云フヤウナコトガ、
ドンナ風ニナッテ居リマスカ、御差支ナケ
レバ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、或ハ又
是ハマダ無論發表モセヌ、未定稿デア
ルノダカラ此ノ程度デハ言ヘナイ、或ハ速記
モ止メテ話ヲスルナラバシテモ宜イ、祕密
會ニ移スナラバイ、ト云フヤウナコトデア
タラバ、サウ云フコトデ御願ラシテ、伺ヒ
得マシナラバ此ノ點モ伺ッテ置キタイト思
フノデアリマス、左様デアリマセスト云フ

ト、此ノ來ルベキ刑法ノ改正ノ時ニ於テ期
待シテ居ルコトガ、ドウモ愈々蓋ヲ開ケテ
見ルト云フト一向ドウモソレガ現レテナカ
タト云フコトニナリマスレバ、甚ダ遺憾ナ
コトニナルノヲ俱レルノデアリマス、要ス
ルニ此ノ問題ハ我が海運業ノ發展ノ上ニ於
テ非常ニ重大ナ關係ヲ持ッテ居ルコトト思
ヒマスカラシテ、十分ナル海員ニ對スル同
情ヲ以テ局ニ當ラレル方ハ御取計ヒニナ
ムコトヲ合セテ希望スル次第デアリマス
○政府委員(松阪廣政君) 御答ヘ申上ゲマ
ス、刑法ノ改正ノ委員會ハ大臣モ申サレタ
通り、一應ノ議了ラシタ未定稿ノ草案ノヤ
ウナモノハゴザイマスノデアリマスガ、ソ
レハホンノ假ニ一應ザツト議了シタト云フ
止マルノデアリマス、現ニソレヲ今ヤリ直
シテ居リマシテ、始終現在變更ヲ加ヘツ、
アルヤウナ狀態デアリマスカラ、如何様ニ
變リマスカマダ今ノ所實ハ申上ゲ兼ネルノ
デアリマスシ、又此ノ委員會ト云フモノノ
内容モ、公開致サナイ非公開ナモノデゴザ
イマスノデ、只今ノヤウナ狀態ニ於テ私ヨ
リ其ノ内容ヲ申上ゲルコトハドウカ御
許シヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、
從テ此ノ過失ノ問題デモ、今ノ所ハ未ダ
確定シタ、決ッテ案ト云フモノハナイノデ

アリマス、如何様ニ變化致スカ分ラヌノデ
アリマス、ソレカラ刑法委員會ノ構成デゴ
ザイマスガ、委員ハ主トシテ刑法學者、ソ
レカラ判檢事ノ最モ經驗ノ深い方、及ビ辯
護士ノ一部ノ方達ガ委員ニナッテ居リマシ
テ、海上經驗者ト云フ理由ノ下ニ委員ラシ
テ居ラレル方ハゴザイマセヌ、或ハ各方面
ノソレノノ經驗家ヲ集メレバ宜イノデゴ
ザイマセウガ、御承知ノ通り刑法ハ全般ニ
互ル問題デゴザイマシテ、ドウモ各方面ノ
規定ヲ設ケルニ對シテ、各方面カラ委員ヲ
採ルト云フヤウナコトモ致シ兼ネルヤウナ
實情デゴザイマシテ、現在ノ所デハ主トシ
テ左様ナ構成ニナッテ居ルノデゴザイマス
○子爵松平保男君 只今ノ御答ニ依ッテ私
ノ期待シテ居ルコトハ伺ヘナカッタノデゴ
ザイマスガ、ドウカ此ノ問題ノ重要性ニ鑑
ミマシテ、十分ナル海員ニ對スル同情ヲ以
テ此ノ刑法改正ニ御當リニナルコトヲ希望
シテ私ノ質問ハ打切りマス
○伯爵後藤一藏君 今度提出ニナリマシタ
法案ハ、相當重大ナ法案ダト思フノデア
リマスガ……
○委員長(侯爵西郷從德君) チョットオイ
デニナラナカッタカ知レマセヌガ、司法省
ノ方ダケ先ニ御願ヒ致シマス

○伯爵後藤一藏君 司法省ノ方モアリマス、

兩方關聯シテ居リマスカラ、兩方一緒ニヤリマス、斯ウ云フ法案ハ斯ナ短期ノ臨時議會ニ御提案ニナラナケレバナラナカッタト云フ理由ヲ……是ハマア後程デ宜シウゴザイマスカラ、遞司兩方ノ當局カラ伺ッテ置キタイノデアリマス、隨分衆議院デハ前ノ議會デ論議サレタ、其ノ論議サレタコトニ付テハ相當遞信省ハ勿論ノコト、司法省デモ認識サレタヤウデアリマス、隨分相當ナ御答辯ヲロデハ爲サツテ居ラシヤルケレドモ、其ノ後今度ノ議案ヲ提出サレタノヲ見マス、少シモ修正サレテ居ナイ、衆議院デ論議サレタコトヲチットモ尊重サレテ居ナイト云フ風ニシカ考ヘラレナイ、時間ガナカッタト云フナラバ斯ウ云フ問題ハ、通常議會ヘ御出シニナツテモ差支ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ續イテ伺ヒタイト思ヒマスガ、先程ナタカカラ御質問ガアツタヤウデアリマスガ、海難審判所ト云フヤウナモノヲ御造リニナル御考ガアルノデセウカ、ドウデセウカ、ソレカラ刑法ノ改正ト云フモノハ、來年カソコラニ出來ルト云フケレドモ、其時マデ御待チニナツタナラバドウカ、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居リマスガ、先程モ申上ゲタヤウニ、

衆議院デアレダケ論議サレタコトヲ無視サ

レルヤウデアレバ、我々ガ今日此處デ色々申上ゲテ居ル事柄モ、委員會全體ノ氣持モ刑法ノ改正ノ時ニ御取上ゲ下サルカドウカト云フコトモ私ハ甚ダ疑問ニ思フ、ツイ前議會ノ時ニ論議サレタコトサヘモ御取上ゲニナラヌト云フコトカラ見ルト、非常ニ私ハ心配ニナリマスカラ、是ハ何モ急グコトハナイノデアリマスカラ、通常議會マデ御待チニナツテ、刑法ニ於テ如何ナルコトニ付テ、此ノ論議サレタコトガ現レタカト云フコトヲ見テカラ、此ノ海員法ノ方モ、折角ノ改正ナンデスカラ其ノ時ニ改正サレテモ遅クハナイ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、サウシテ又遞信省ト此ノ司法省トノ間モ本當ニ私ハシツクリ……答辯ヲ伺ヘバシツクリ行ッテ居ルト仰シヤルカモ知レナイガ、シツクリ行ッテ居ナイヤウニ私ハ感ジルノデアリマス、ソレカラ又此ノ海、陸、空ト云フヤウナモノヲ一ツノモノニシテ、サウシテソレニ刑法問題ヲ一緒ニ絡メテ之ヲ規定シヨウト御考ニナツテモ、是ハ矢張り私ハ無理ダト思フ、是ハ先程カラ度々論議サレタノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ色々ナ點ガアリマスカラ、私ハ矢張り此ノ際ハモウ少シ先キニ延バシテ御考ニナルト云フ風

ニ、御考ニナツテ戴キタイ、ソレカラ遞信省

ニ於キマシテモ、船舶ニ對シテノ理解ハ私ハ餘リ深クナイト思フ、況シテヤ司法省ニ於テハ御理解ガ深クナイト云フ事柄ハ、交通ノ色々ノ問題ヲ考ヘテモ、卑近ナ問題ニ於テ、例ヘバ東京市内ノ自動車ノ問題ニ付テモ、警察ニ委セキリデ司法省ハ餘リ關係シテ居ラナイ、警察ハ嚴罰主義デ臨ミ、司法省ハ輕ク見テ居ラシヤルヤウデアリマス、船舶ニ付テモ警察ノ嚴罰主義ニ對シテ司法省ガ割合輕ク見テ居ルト云フコトハ認メルケレドモ、愈々正式裁判デモ仰グト云フコトガアツタ場合、司法省ノ裁判官ノ方ハ本當ニ船舶ノコトヲ知ッテ居ラシヤラナイ、其ノ豫備知識ヲ知ッテヤラナイト、ドウシテモ裁判ガウマク行カナイ、交通ト云フ問題ニ對シテモ司法省ノ方々ガ能ク御存ジガナイ、殊ニ自動車ト云フモノハ司法省ノ方々ガ常ニ乗ッタリ見タリシテ居ラシヤル、ソレデスラサウ云フコトデアルカラ、此ノ海上ノ航海ノコトニ付テハ、司法省ノ方ハ外國ニデモ行カレル時ニ乗ラレタカモ知レナイガ、ドウシテモ認識不足デハナカラウカト思フカラ、司法省デモ交通審判ト云フカ、海事裁判ト云フカ、サウ云フ風ノ専門ノ裁判官ト云フモノモ出來ルヤウニ私ハシテ戴キタイ、斯

ウ云フ風ニ私ハ思フ、ドウカ斯ウ云フモノ

ハモウ少シ練ッテカラ御出シニナツテ、マア七十三條ノ問題ガ今焦點ニナツテ居ルノデスカラ、出來ルナラバ七十三條ノ問題ニ關聯シタヤウナコトヲ、此ノ中ニ挿入シテ戴ケレバ宜イト思ヒマスガ、サウ云フ取扱ヲシテ戴ク譯ニイカヌモノデアリマセウカ、ソレダケ御伺ヒ致シマス

○政府委員(田島勝太郎君) 私カラ只今ノ御尋ノ遞信省關係ノ部分ダケ御答ヲ致シマス、本案ヲ此ノ短期ノ議會ニ提出致シマシタ所以ハ、前通常議會デ論議ヲ經マシテ、既ニ衆議院ヲ通過シ本院ニ廻付セラレマシテ、其ノ間際ニ解散ニナリマシタ爲ニ、前議會デハ其ノ儘トナツタノデゴザイマスルガ、本案其ノモノハ非常ニ長ク懸案ニナツテ居ッタモノデアリマシテ、社會立法ト云フ立場カラ、船員其ノモノノ側カラモ、此ノ法律ノ成立ヲ非常ニ要望シテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、社會立法トシテ一日モ速カニ此ノ實行ヲ圖リタイト云フノガ、本議會ニ提出致シマシテ御審議ヲ願フヤウニナツタ所以デゴザイマス、ソレカラ又前議會デアレダケ論議ヲシテ居リナガラ、本議會ニ提出スルニ拘ラズ、何等前議會ノ衆議院ニ於ケル論議ニ考慮ヲ加ヘナカッタト云フコト

ハ不都合デハナイカト云フ御意見モ、一應御尤ノ次第デアリマス、併シ是ハ少クトモ今ノ刑罰法規ニ關シマスル限リニ於キマシテハ、此ノ改正案デハアリマセスガ、現行法ニハ重過失ニ付テノ船員ノ處罰規定ガアリ、現行刑法ニハ一般的ノ規定ガアルノデアリマス、昨日司法省ノ説明員カラモ申上ゲマシタヤウニ、現行船員法ノ刑罰規定ハ普通刑法ノ特別規定ノヤウナモノデゴザイマシテ、刑罰法規ノ建前カラシテ、一般刑法ノ修正ヲ待ツニアラザレバ、前議會ノ衆議院ニ於ケル論議ノ、輕過失ヲ處罰シナイト云フヤウナ問題ハ解消セラレナイノデゴザイマスカラ、其ノ點カラ致シマシテ、アレダケ衆議院デハ論議サレテ居ッタノデゴザイマスガ、其ノ際ニ遞信大臣及司法大臣ヨリ附帶決議ニ對シマシテ、刑法改正ヲ幸ヒ今ヤッテ居ル際デアルカラシテ、其ノ審議ニ際シテ能ク事情ヲ取入レテ考慮スルコトニ致シマス云フ御答辯ヲ申上ゲテ、前議會ニ衆議院ヲ通過シタヤウナ次第デ、其ノ事情ハ今日モ變リハナイノデアリマスカラ、此ノ改正案ニ衆議院ニ於ケル論議ノ結果ヲ取入レルコトハ出來ナイ次第デゴザイマシテ、矢張り刑法ノ改正ヲ待ツヨリ外ニハ途ハナイト考ヘタ次第デゴザイマス、左様ナ次第

デ、此ノ議會ニ、前議會ニ提出シタ儘ノモノヲ提案致シマシタ次第デアルコトハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、又遞信省ト致シマシテハ、御注意モアリマシテ誠ニ恐縮ニ存ジマスガ、明治初年以來船舶及海員ニ關スル職務ヲ擔當シテ参リマシテ今日ニ至ッテ居リマスノデ、成程色々不行届ノ點ハラウカト存ジマスケレドモ、海海上ノ關係ト致シマシテハ日夕勉強致シマシテ、實情ニ即スルヤウニ努メテ居ル次第デゴザイマシテ、本法案ノ改正ニ際シマシテモ衆議ノアル所ヲ察シマシテ、篤ト司法當局トモ協調ヲ取ッテ今日マデ参リマシタコトハ、今日マデ申上ゲマシタ答辯ノ經過ニ徴シテモ御諒解ヲ願ヒタイト思フ次第デゴザイマス、尙昨日ノ答辯其ノ他ニ付テ多少ノ行違ヒガアツタカノヤウナ次第モアツテ、誠ニ恐縮ニ存ジマスルガ、昨日ノ答辯ハ所謂理論上ノ解釋ヲ當局者ノ一人ガ申上ゲタノデゴザイマシテ、當局ノ意思ト致シマシテハ兩大臣ヨリ縷々申上ゲマシタ所ニ於テ盡キテ居ルト考ヘマスカラ、ドウカ其ノ點ヲ宜シク御諒承願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松阪廣政君) 海難審判所ヲ別ニ置クカドウカト云フ御意見デアリマシタ、此ノ點ニ付キマシテハマダ具體的ニ司法省トシテハ纏マツタ考ヲ持ッテ居ラスノデアリマス、能ク研究ヲ致シテ見ルコトニシタイト思ヒマス、ソレカラ刑法ノ改正ヲ俟ッテカラヤッタラドウカト云フ御話デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、只今遞信省政府委員ノ御答セラレタル通りデアリマシテ、司法省ト致シマシテモ或ハ海員多數ノ要望ニハ副ハヌ點モアルカモ知レマセスガ、改正法ハ刑罰ノ點ニ於キマシテハ、少クモ舊法ヨリハ船員ニハ不利益ニナッテ居ラスデ、寧ロ利益ニナッテ居ル、ト申スノハ舊法デハ輕過失重過失ヲ問ハズ、過失ガアレバ刑法デ罰セラレルコトニナッテ居リマシタガ、ソレガ改正法デハ重イ點タケラ除キマシテ、總テ刑法ニ於テ同ジヤウニ致スト云フコトニシタノデ、其ノ點ニ於テハ少クモ改正法ハ利益ニナッテ居リマス、唯輕過失ハ總テ罰セヌヤウニシロト云フ要望ガアリマスガ、ソレニナリマス、ソレハ刑法ノ改正ト關聯ヲ持ツコトニナリマスノデ、刑法ノ改正ガ果シテココ一年位ニ出來マスカドウカ、私トシテモチヨットムヅカシイノデヤナイカト思ヒマスノデ、兎ニ角現在ヨリハ利益ニナルコトデアリマスカラ、一日モ早く之ヲ施行シタ方ガ船員ノ爲ニモ宜シカラウト云フノデ、急イデ提案致シタ次第デアリマス

○岩田宙造君 私モ刑罰ノ關係ニ付キマシテ、司法省ノ刑事局長ニ御伺シタイト思フノデアリマスガ、第一ニ刑法ノ改正ノ問題デアリマス、先程カラ伺ッテ居リマスルト、海難事故ノ特異性ト云フコトハ、十分司法當局ニ於テモ認メルト云フ御話デハアルノデアリマスルガ、併シ其ノ實際ヲ伺ッテ見タ所デ察シマスルト、本當ニ其ノ特異性ト云フモノガ御分リニナッテ居ナイノデナイカ、是ハマア御無理ノナイコトダト思フノデアリマス、是ハ長クナルカラ其ノ點ハ後ノ機會ニ譲リマスルガ、私共海事審判ニ立會ツタ經驗カラ申シマシテモ、本當ニ海難ノ事故ノ問題デ、輕過失ノ場合ハ實ハドウナルカト云フヤウナコトハ、殆ド籤ヲ引クヤウナモノデアッテ實際分ラナイ、殊ニ海難ノ中ノ最モ著シキ衝突ノ場合等ニ付テ見マスルト云フト、實ハ距離ガ二町デアツタカ三町デアツタカ、見タ時ノ方位ガ眞正面ニ出會ツタカ、或ハ幾ラカ右ニ見エタカト云フ極メテ細カイ問題デ責任ガ定マル、ソレガ兩當時者ノ言フコトガ合ヒマセヌシ、外ニ證據ガナイカラソレヲ決定スルノハドウシテ決定スルカト云フト、モウ何哩モ前ノ船ノ位置迄モ遡ッテ、何處ノ岬ニドウ云フ距離デ出會ツタト云フ船ノ位置ヲ定メル、サウシテ

海圖ノ上ニ線ヲ引イテ見テ、潮流ヤラ速力ヤラ風ヤラ、色々ナ加減デ見テモ、ドウモ一方ノ言フ所ニハ船ガ衝突間際ニ來テ居ラス、ドウモ一方ノ言フ方ガソレニ合フヤウダト云フコトデ、一方ノ言フコトガ立チ一方ガ排斥セラレルト云フコトハ、衝突事件ナンカハ殆ドサウ云フ實例デアアルノデアリマス、併シソレハ實際ハサウ云フコト決定サレマスケレドモ、果シテ海圖ノ上ニ線ヲ引イテ來テ、合フ方ガ正シイカドウカト云フコトハ實ハ分ラナイ、存外正直ニ言ッテ行ツタ方ガ正シクナイトサレル、ドウモ頭ガソコ迄廻ラズニ十分證明ガ出來ズ、本當ノコトヲ言ヒナガラ恨ヲ吞ンデ自分ガ責任者ノ地位ニ立ツヤウナコトガ、ドウモ相當少ナカラズアルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、デアリマスカラ數哩ノ間ヲ走ッテ來タ結果、僅カ何間カ何十間カノ距離ガ爭ヒニナッテソレガ定マル、サウシテ右ニ十間寄ッテ居ツタカ、五間寄ッテ居ツタカト云フコトデ勝敗ガ定マル、過失ノ有無ガ定マルト云フヤウナコトガ、衝突事件等ノ過失ノ有無ヲ定メルコトニナルノデアリマス、サウ云フノモ危フヤノ事實ニ基イテ懲戒ヲサレル、ソレデ行政處罰ヲ受ケルト云フナラバ忍ブベキデアリマスケレドモ、ソレデ刑

罰ヲ課セラレルト云フコトハ不安ニ堪ヘナイト云フコトハ、私共尤モダト考ヘルノデアリマス、ドウモ其處迄ノ實際ノ認識ハ、ソレハ局ニ當ッテ者デナケレバ分ラヌノデアリマスルカラ、司法省デ唯刑法學者ガ御集リニナッテ、幾ラ協議サレテモサウ云フコトハ分ラナイと思フ、デアリマスルカラソレニ關聯シテ私ハ伺ヒタイノハ、是ハ刑法ノ改正委員ノ中ニ、サウ云フ特別ノ人ヲ入レルト云フコトハ困難ナル事情ガアルト思ヒマスルガ、少クトモ何カ特別委員ナリ臨時委員ナリ、ソレモ出來ナイナラバ特ニサウ云フ人ヲ呼ンデ、刑法ノ委員會ニ呼ンデ、此ノ特異性ヲ十分説明ヲ聞イテ戴ク、何カサウ云フコトガアリマセヌト、唯特異性ヲ刑法改正ノ時ニ考慮スルト仰シヤツテモ、其ノ方ノ特別知識ガ無い人が御集マリニナッテ、協議ヲ幾ラ御重ネニナッテモ、是ハ出來ナイノデハナイカ、衷心カラサウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、ソレデサウ云フコトハ出來ナイモノデアリマセヌカ、何カ特別ノ知識ヲ刑法改正委員會ニ採入レル、具體的ノ方法ニ付テ、何カサウ云フ手段ヲ講ゼラレナイモノデアラウカ、先ヅソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(松阪廣政君) 御意思ノアルコトハ能ク分リマシテ、サウ云フコトハアルノデゴザイマス、唯現在ノ委員會ノ制度ト致シマシテ、左様ニ出來ルカドウカ一ツ研究致シテ見タイと思ヒマス、或ハ鐵道アタリノ場合モ要望ガ同様ニ起ルノデハナイカト思ヒマス、ソレヲドウ云フ風ニ判明セシムルカ、其ノ點ガ更ニ司法省トシテモ研究ヲ致シテ見タイと思ヒマス

○岩田宙造君 其ノ點ハ一ツ御考慮ヲ願ッテ置キマス、モウ一ツ次ニ伺ヒタイノハ、本法ノ罰則ト刑法ノ關係ガアリマスルガ、例ヘバ本法ノ五十二條ニ依リマスルト、船長ガ第九條ノ規定ニ違反シ船舶ヲ去リタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス、第九條ト云フノハ急迫ノ危險ガアル場合デアリマス、例ヘバ沈没シカケテ居ルト云フヤウナ危險ノアル場合デアリマスガ、サウ云フ時ニ後始末ヲシナイデ船舶ヲ去ツタ時ニハ、五年以下ノ懲役ニ處スト、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、是ガ唯船舶ヲ去ツタケデ五年以下ノ懲役ニナル、サウシテ刑法ノ規定ヲ見マスト沈没ヲシテモ三年以下ノ懲役デアツタと思フノデアリマスガ、其ノ點モ大變權衡ヲ失シテ居ルヤウニ考ヘラレマスガ、是ハ姑ク措キマシテ、只今伺ヒタイノハ船長ガ危急ノ場合ニ此ノ五十二條ノ違反デ此

ノ船ヲ去ツタト斯ウシテ、其ノ後ニ船ガ沈没シタト云フヤウナ場合ニハ、此ノ五十二條ノ處罰ト、刑法ノ方ノ處罰トシテ、兩者處罰セラレルトコトニナルノデアリマセウカ、ドウ云フ關係ニナリマスルカ、其ノ沈没ガ船ヲ去ツタト云フコトト因果關係ガアル場合モアリ、無イ場合モアルト思ヒマスルガ、或ハモウ少シ努力シタナラバ免レタカモ知ラスガ、ドウモ去リ方ガ早カッタカラ沈没シタト云フヤウナ場合ニハ、兩方ガ適用サレルコトニナルノデアリマセウカ、是ハドウ云フ關係ニナルノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(松阪廣政君) 去ルコトノ自體ガ過失デ、去ラナケレバ左様ナ事故ガ起ラナカッタノデアアル、通常ノ場合ニ起ラナイノニ、去ツタガ爲ニ起ツタノデアアル、而モ船長ガサウ云フコトヲ豫知シ得タト云フコトデ因果關係ガアルト致シマスレバ、船ヲ去ルコト自體ガ過失ニナリマスカラ、其ノ過失ガ二行爲ニナルト思ヒマス、一ツノ行爲ガ船ヲ去ルト云フ行爲ト二行爲ニ課スルコトニナルノデアリナイカト思ヒマス、一ツノ行爲ガ刑法ノ五十四條ノ前段ノ適用ニナルノデアリナイカト思ヒマス

○岩田宙造君 サウシマスト、ドツチデ罰セ

ラレルノデアリマスカ

○政府委員(松阪廣政君) 五十四條ノ一項ニ依リマシテ、重イ方デ罰スルノデアリマスカラ、本法ノ五十二條ノ方ガ重イカラ五十二條ノ刑ニ依ッテ處斷スルト云フコトニナルト思ヒマス

○岩田宙造君 サウシマスト五十二條ノ方ハ、船ハ沈没シナクテモ五年以下ノ懲役ニ處セラレルコトガアリ得ル譯デアリマスカ、刑法ノ方デハ沈没シナケレバ罰セラレナイト云フコトデ、非常ナ權衡ヲ失シタ規定ニナル處ハナイノデアリマセウカ

○政府委員(松阪廣政君) 私トシテハ此ノ方ニ依ッテ處斷シタトシデモ、サウ權衡ヲ失シテ居ナイヤウニ思ハレマス

○岩田宙造君 此ノ前カラ政府委員ノ仰シヤルヤウニ、結果ニ重キヲ置クト云フ點カラ見マス、沈没スラ刑法デハ三年シカヤラナイノニ、此ノ海員法ノ方デハ、沈没セヌデモ去ツタト云フコトデモ五年以下ニ罰セラレルト云フコトハ、私共ノ考デハ如何ニモ權衡ヲ失シテ居ルヤウニ思フノデスガ……

○政府委員(松阪廣政君) 船長ト致シマシテハ自分ノ託セラレタ船ヲ法規ノ規定ニ反シテ去ルト云フコトハ、誠ニ重大ナコトデ

アリマス、多數ノ人ノ人命、又ハ貨物ヲ預ッテ居ル責任上、ソレダケノ責任ヲ認メテ、ソレニ相當ナル刑罰ヲ課シテ、刑罰ノ制裁ヲ課シテ責任ヲ取ルト云フコトハ矢張り必要ト存ズルノデアリマス

○岩田宙造君 ソレハ議論ニナリマスカラ措キマスガ、ソレハサウデアリマスガ、其ノ上ニ沈没サセタ方ガ重クナルノナラ宜イノデアリマスガ、沈没シナイ方ガ重クナルト云フコトハ不思議ニ思フノデスガ、此ノ點ハ措キマシテ、ソレカラ今一ツ此ノ六十五條ノ場合デアリマスナ、六十五條ノ場合ハ船舶所有者ガ未成年者若シクハ禁治產者ナル場合、又ハ法人ナル場合ニハ、其ノ代表者ガ本法デ總テ罰則ヲ受ケルノダト云フ六十五條ノ一項デアアルノデアリマス、所謂一項ノ、前項ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ニ處スルコトヲ得ズト斯ウナッテ居リマスガ、是ハドウ云フ趣旨デアリマスカ、例ヘバ船舶所有者ガ未成年者デアッテ、後見人ガ其ノ未成年者ニ代ッテ其ノ任務ヲ擔當シテ居ル、サウシテ其ノ後見人……其ノ場合ニハ後見人ヲ總テ本人ト看做シテ此ノ罰則ヲ適用スルト云フ、此ノ一項ノ趣旨ハ是ハ明カデアリマスガ、此ノ場合ニハ本人ナラバ懲役ニ處セラレル場合デアッテモ、今ノ後見人ノ場合

ニハ懲役ニハ處セナイ、斯ウ云フ意味ダラウト思ヒマス、ドウモ此ノ理由ガ私ニハ分ラナイノデアリマスガ、若シ後見人ガ自分ノ仕事トシテヤレバ懲役ニ處セラレルヤウナコトヲシテモ、未成年者ノ後見人トシテヤルノナラバ、サウ云フコトヲシテモ懲役ニハ處セラレナイ、實質ハ全ク同ジコトデアリマス、後見人ノ意思カラ言ヘバ道德的ニ見テモ、何カラ見テモ全ク同ジダト思フノデアリマスガ、自分ノ爲ニヤル場合デアッタナラバ懲役ニナルガ、後見人トシテヤッタナラバ懲役ニハ處セナイト云フノハドウ云フ理由デアリマセウカ

○政府委員(松阪廣政君) 其ノ點、解釋ハ御説ノ通りデアリマス、本條ノ規定ハ犯罪ヲ犯シタ者、行爲者ト刑罰ヲ受ケル者トノ主體ガ異ッテ居リマスル場合、他人ノ謂ハバ行爲ニ對シテ別人ガ責ヲ負フノデアリマスカラ、之ニ對シテ懲役刑ヲ課スルト云フコトハ甚ダシク酷デアリマシテ、懲役ノ刑ハ課セナイ、罰金ダケヲ課スト云フコトニ致シタノデゴザイマス、他ニモ同様ノ立法例モアルコトデアリマスカラ、ソレニ從ッタ譯デアリマス

○岩田宙造君 後ハ議論ニナリマスカラ……ソレカラ今度ハ別ノ問題デアリマスガ、

四十三條、是ハ刑事局長ニ御尋ラスルノハドウカト思ヒマスガ、民事局長ハ御出デニナリマセスカラ便宜上御尋ラ致シマスガ、四十三條ハ要スルニ本法ノ中デ船舶所有者ニ關スル規定ハ、其ノ船舶賃貸ノ場合ニ付テ言ヒマスルト、其ノ船舶ノ借人ガ所有者ト同ジ地位ニ立ッテ本法ノ適用ヲ受ケル、斯ウ云フ趣旨ダラウト思フノデアリマス、從ッテ傭入契約其ノ他船ノ乗組員ト船舶所有者、其ノ雇主トノ關係ニ於キマシテハ、船舶ノ借人ガ總テ船舶所有者即チ雇主ノ地位ニ立ッテ此ノ法ノ適用ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、是ハ普通ノ賃貸ノ場合ナラ無論ソレデ宜イノデアリマシテ、其ノ船ヲ借リル人ハ船ヲ即チ裸傭船デ、唯船ヲ借リルノデアリマスカラ、サウシテ借リタ人ガ船長ナリ其ノ他海員ヲ乗込マシムルノデアリマスカラ、丁度借主ガ船主ノ地位ニ立ツト云フコトデ、此ノ規定通りデ少シモ差支ナイノデアリマス、併シ御承知ノ通りニ所謂定期傭船、傭船契約トハ稱シテ居リマスケレドモ、一年トカ一年半トカ云フコトデ期間ヲ定メテ傭船シマスカラ、元ノ其ノ船ニ船長並ニ他ノ海員ガ乗組ンダ儘デ其ノ船ヲ借リルト云フコトガ、是ハ頻繁ニ行ハレテ居ルノデアリマス、

其ノ時ニハソレニ乗ッテ居ル船長其ノ他其ノ船員ハ借人ガ傭入レタモノデナクシテ、元ノ船主ガ傭入レタモノデアル、サウ云フ場合デアリマシテモ、今ノ判例ニ依リマスト、是ハ皆船舶貸借デアルト云フ判例ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ場合ニ此ノ規定ニ依リマスルト、船長ヲ傭入レタモノデハナシ、傭入レ契約ノ主體デモナイ、借主ガ恰モソレヲ主體デアル、本法ノ適用ヲ受ケルト云フ關係ニナルノデハナイカと思フノデアリマスガ、此點ハドウ云フ扱ニナリマスカ

○政府委員(松阪廣政君) 此ノ點ハ民事局長ガ衆議院ニ出テ居リマスカラ、民事局長ガ出席致シマシテカラ御答ヘ致スコトニ致シマス

○政府委員(小野猛君) 私カラ一應御答シテ宜シウゴザイマセウカ

○岩田宙造君 ドウゾ

○政府委員(小野猛君) 現在ノ海運界ノ傭船又ハ賃貸借ト云フコトハ極メテ複雑ニナツテ居リマシテ、傭船ト言ヒナガラ裸傭船ノ方ハ此處ニ掲ゲテアル賃貸借ト云フ扱ニ入リマスガ、通常ノ場合ハ、今岩田博士ノ仰セニナル如ク「タイム・チャーター」ノ如キ、或ハ賃貸借ト見ル方ガ宜イノデハナイ

カと思フ場合ガアリマスガ、此ノ契約内容ニ依リマス、矢張り純然タル傭船契約デ、此ノ船員トノ關係ハ船主ト關係ヲ持續シテ居ル例ガ相當アルノデアリマス、其ノ他傭船ニモ非ズ、賃貸借ニモ非ズ、管理船ト云フ風ナ形ノモノモ不景氣ノ時ニハ出テ參ッテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ管理船ト申シマスルノハ、船ヲ借りテ、ソレハ裸ノ場合モアリマスシ、船員ガ附イテ居ル場合モアリマスシ、唯儲ケタ場合ニハ幾ラ貸主ニ提供スル、儲ケナイ場合ニハ其ノ儘報酬ヲヤラナイト云フ風ナ契約モアリマスノデ、非常ニ之ヲハッキリ、何レガ賃貸借ナリヤ、何レガ傭船ナリヤト云フコトヲ分ケルコトハ困難デアアルノデアリマス、ソコデソレヲ一々法律ニ掲ゲル譯ニモ行キマセヌノデ、實ハ此ノ條文モ外ノ法律ニモ皆斯ウ云フ前例ガアルノデアリマス、ソレニ倣ッタノデアリマスガ、結局其ノ契約内容ノ解釋カラ賃貸借、使用貸借ト認メラレタモノハ借入人ノ責任ニ於テ此ノ規定ガ適用サレル、其ノ契約内容ノ解釋ニ於テ貸借ト見ラレナイモノニ付テハ船主ガ此ノ適用ヲ受ケル、斯ウ云フ風ニ形式的ニ定メタニ過ギナイノデアリマス、要ハ其ノ契約ノ内容ヲ見マシテ、何レノモノニ適用スルカト云フコトヲ具體的

ニ決メルコトニナラウト思フノデアリマス、外ノ船員最低年齢法其ノ他ニモ斯ウ云フ條文ガアリマスノデ、サウ致シタヤウナ次第デアリマス

○岩田宙造君 サウ致シマス、解釋上は船主ノ賃貸借デアルト斯ウ云フコトニナリマシタ場合ニ、サウシテ而モ船長ハ船主ノ船長ガ乗ッテ居ル、斯ウ云フ時ニハドウ云フコトニナリマスカ、船主ノ船長ガ乗ッテ居ルト云フ、ソレデアッテモ尙船舶賃貸借ダト、斯ウ云フ解釋ニナリマシタ時ニハドウナリマスカ

○政府委員(小野猛君) 今申上ゲマシタヤウニ解釋上賃貸借ト云フコトニナレバ、是ガ適用ニナル、解釋上然ラズトナレバ船主ト云フコトニナル、斯ウ云フ解釋ヲ致シテ居ルノデアリマス

○岩田宙造君 サウ致シマス、適用スル時ニ非常ナ困難ガ生ジマセヌカ

○政府委員(小野猛君) 只今申上ゲマシヤウニ、實際ノ經濟上ノ取引ガ非常ニ是ガ賃貸借カ否カト云フコトガ複雑ニナツテハッキリシマセヌカラ、サウ云フ説明ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、説明ト致シマシテハ、解釋上普通ノ傭船デアリ賃貸借ニ非ズト云フコトニナリマスレバ、今御話ノヤウニ困難

ガ相當アルダラウト思ヒマス、解釋上ノ困難ガアルダラウト思ヒマスルガ、ソレガ決定致シマスレバ、其ノ決定ニ從フト云フ外ナイト思フノデアリマス

○岩田宙造君 其ノ決定ニ從フト仰セラレマスケレドモ、現ニモウ今大審院デハ期間傭船ト云フモノハ「タイム・チャーター」ト云フモノハ先ヅ反證ガ擧ラヌ限リハ總テ賃貸借デアルトシテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ其ノ大多數ハ船主ノ船ニ乗ッテ居ルノデアッテ、借主ノ船長ガ乗ッテ居ルノデアル、サウ云フモノガ現在アルノデアリマスルカラ、其ノ時ニハ多少困難ガアルバカリデハナイ、之ヲ少シモ運用セナイコトニナル、是ハ總テ船主ガ傭入レタ船長ガ乗ッテ居ルト云フ立場ガ本法ハ總テ出來テ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ適用シヨウトシテモ、サウシテ其ノ場合ニハ借主ガ此ノ規定ニ依リマシテ船主ノ地位ニ立ツノデアリマス、然ルニ乗ッテ居ル船長初メ船員ハ、船主ノ地位ニ立ッテ居ル、借主ノ傭入人デハナイト云フコトニナリマスルト、是ハモウ困難ドコロデヤナイ、此ノ規定ハ二進モ三進モ、少シモ動かスコトニナル、ソレヲ唯解釋ニ任スト云フノデハ是ハ問題ハ解決シナイト思フノデアリマス

○政府委員(小野猛君) 此ノ規定ノ解釋ト致シマシテハ、私ノ申上ゲタヤウニ解釋スル外ナイト思ヒマス

○岩田宙造君 デアリマスルカラ、ドウシテモ私ハ之ニ但書ヲ附ケテ、但シ船主ノ船長其ノ他船員ガ乗ッテ居ル場合ハ此ノ限リニ非ズ、斯ウ云フ但書ヲ附ケナケレバ、此ノ四十三條ハモウ動キノ取レスモノニナルト私ハ思フノデアリマス、ソレハ宜シイノデアリマセウカ

○政府委員(小野猛君) サウ云フ困難ガ實際ノ場合ニハアルカモ知レマセスガ、例ヘバ航海中ニ所有權ガ移轉シタト云フ場合デモ、實際ハ雇傭契約ハナイ、新所有者ガ法律ノ規定ニ依ッテ前ノ船主ト同ジ權利義務ヲ負フト云フヤウナコトモ書イテアルノデアリマス、ソコデ實際ノ雇傭關係ガ今岩田サンノ御話ノヤウナ場合ニ備船者トノ間ニハ實際ノ雇傭關係ガナイノデナイカ、ソレデモ適用ヲ受ケルノハヲカシイデヤナイカ、適用ガ出來ナイデヤナイカ、斯ウ云フコトデアリマスルガ、法ノ適用上實際ノ雇傭關係ナキ場合デモ、適用ノ已ムヲ得ザル場合ガアルト思フノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○岩田宙造君 是ハ今例ニ御引キニナッタノハ全然違フヤウニ思フノデアリマスガ、

是ハ適用スルト云フテモ仕樣ガナイト思ヒマスガ、是ハ私ハ此處デ唯當局者ヲ困ラストカ、議論スル爲ニ言ッテ居ルノデハナイノデアリマス、是ガ實施サレル時ニ實際困ルト思ヒマスカラ、言ッテ居ルノデアリマス、唯議論ヲスル、唯此處デ何トカ申上ゲサヘスレバ宜イト云フノデナク、本當ニ考ヘテ貰ヒタイト思フノデアリマス

ガ……立替ヘテ呉レマスカラ、ソレデ海員ハ目的ヲ達スルノデアリマスケレドモ、斯ウ云フヤウナ規定ガアリマス云フト、立替ヘテヤル譯ニハ行カナイ、立替ヘレバ、ソレヲ目的ニ取ル譯ニ行キマセヌカラ、却テ是ガ差押又ハ讓渡ヲ禁ジタ爲ニ實ノ持腐レノヤウナモノデ、船主ナラバ、直チニ受取ルコトガ出來ル場合ナラバ宜イノデアリマスケレドモ、何處カ離レタ港ニ居ルトカ、離レタ土地ニ居ル時ニハ、金ガ要ルト云ッテモ、ドウモ誰モ之ヲ引當ニシテ立替ヘテ呉レル人ガナイト云フコトデ、却テ不便ナコトガアリハシナイカト思フノデアリマス、其ノ點ハドウ云フ御考デスカ

ノ融通性ヲ缺クコトニ付テ不便モアリマスガ、斯様定メタ次第デアリマシテ、此ノ規定ハ他ノ工場工業勞働者災害扶助法等ニモ皆アルノデアリマスシテ、船員モ此ノ規定ノ保護ヲ受ケサセルト云フコトニ相成ッタ次第デアリマス

○政府委員(小野猛君) 實際ノ適用ニ關シテハ能ク考究スル考デアリマス

○政府委員(小野猛君) 勿論サウ云フ場合モアルグラウト思ヒマスガ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、海員ニハナカク周圍ニクツ付イテ居ル高利貸トカ云フヤウナモノガ多イノデアリマシテ、是ガ矯正ニ私共非常ニ骨折ッテ居ルノデアリマシテ、勿論斯ウ云フ禁止ヲシタ爲ニ不便モアリマスガ、之ヲ斯ウ云フ海員ノ重要ナル權利ヲサウ云フ宜シカラザル方面カラ、甘言ニ惑ハサレテ奪取サレル場合ノ虞モ非常ニ多イノデアリマス、彼此考慮致シマシテ、斯ウシタ方ガ海員ノ爲ニヨリ有利デアラウ、幾分ノ今

○岩田宙造君 モウ一ツダケ、是ハ細カイコトデアリマスガ、餘リ條文ノ體裁ガドウカト思ッテ御尋ネスルノデアリマス、第二條デアリマス、第二條ニ「船員、船員タラントスル者、船舶所有者又ハ船長ハ船員又ハ船員タラントスル者ノ戸籍ニ關シ」云々「證明ヲ求ムルコトヲ得」斯ウ云フ規定ガアリマスガ、此ノ證明ヲ求ムルコトヲ得」云フコトハ、誰ガ出來ルカト云フト、船員又ハ船員タラントスル者モ出來ルシ、ソレカラ船舶所有者又ハ船長モ出來ル、斯ウ云フ規定ダト思フノデアリマス、其ノ船舶所有者ト云フノデアリマスガ、又ハ船長ト云フノハ無論船員ノ中ニ入ッテ居ルノデスカ、前ノ……デアリマスカラ、後ノ船長ト云フノハ全ク不必要ノヤウニ思ハレルノデアリマス、是ハ甚ダ詰ラス字句ノ問題デアリマスケレドモ、餘リニ何ダカ妙ナヤウニ思フノデアリマス、序デニモウ一ツアリマスカラ、ソレデ私ノ質問ハ終ルノデアリマス、第三條デアリマ

スガ、第三條ハ、未成年者ガ船員ト爲ル場合ニハ其ノ法定代理人ノ許可ヲ得ルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ矢張り船員トナルト云フコトハ、一ツノ職業ニ就クコトデアラウト思フノデアリマスガ、サウシマスルト、民法デ當然許可ヲ得ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ特ニ茲ニ又繰返シテ御書キニナリマシタノハ、何カ別ノ意味ガアルノデアリマセウカ、其ノ點ト二點ダケヲ御尋ネシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○政府委員(小野猛君) 第二條ノ御尋デアリマスガ、是ハ岩田博士ノ申サレマスル通り、形トシテハ重複致シテ居ルヤウデアリマス、唯觀念ト致シマシテ、上ノ「船員、船員タラントスル者」是ハ船員側ノコトヲ書イタノデアリマス、下ノ「船舶所有者又ハ船長」後ノ船舶所有者、船長、船長ハ、船舶所有者ノ、代理人トシテノ船長ト云フ意味ヲ出シタ積リデアアルノデアリマス、ソレデ此ノ下ノ船長ハ上ノ船員ニ含シテ居ルカラ、宜イデヤナイカト云フコトデアリマスガ、勿論實質的ニハソレデ宜イノデアリマスガ、船舶所有者ノ代理人タル船長、船舶所有者ダケガ出來ルノデヤナイ、船長獨自デモ無償ノ證明ヲ求ムルコトガ船舶所有者ノ代理人トシテ出來ルノダ、斯ウ云フコトヲ強調

シタモノト思フノデアリマシテ、是ハ成ルベク船長ニモ自分獨自デ部下ノ船員ノ證明ヲ求ムルコトガ無償デ出來ルト云フコトヲ知ラセル爲ノ或ル意味ニ於テハ宣言的ノ規定ト見デモ宜イデヤナイカト思フノデアリマス、第二點ハ現行ノ船員法ニモ此ノ通りアルノデアリマス、私共ノ解釋ニ依リマスト云フト、法定代理人ノ許可ヲ受クルコトヲ要ストアリマスガ、船員トナル法律行為ノ個々ノ同意ヲ得ルコトヲ要スト云フトハ民法ニアリマスガ、モウ一旦船員トナリマシタナラバ、其ノ船員トシテノ職業ノ範圍トシテハ、個々ニハ同意ヲ要シナイ、包括的ニ一度法定代理人ノ許可ヲ得テ置ケバ宜イ、斯ウ云フコトヲ現シタノデアリマシテ、民法ノ規定デハ或ハ不十分デナカラウカト云フノデ、船員法ニ特ニ取上ゲタモノト解釋シテ居ルノデアリマス、現行船員法ニモ全ク此ノ通りアリマシタモノデアリマシテ、其ノ法文ヲ繼承シテ居ル次第デアリマス

○内田重成君 遞信當局ニ伺ヒマスガ、申ス迄モナク、船員ノ重要性ハ軍事關係ニ於キマシテモ、先程海軍省軍務局長ガ申シテ居リマシタヤウニ、極メテ重要性ヲ持ツモノデアリマス、船員ノ生活ノ安全ヲ圖ルト

共ニ、海軍界ノ平和ト其ノ健全ナル發達ヲ期スルト云フ御趣旨デ、船員法改正法律案ヲ御制定ニ相成ルコトハ、極メテ時宜ニ適シタ法案デ、寧ロ其ノ遅カリシコトヲ憾ムノデアリマスガ、私ハ此ノ船員法中ノ規定ニ於キマシテ、殊ニ其ノ罰則規定等ニ於テ、海軍ノ法令トノ、即チ極メテ親類筋デアアル海軍ノ法令トノ睨ミ合ヒガ十分ニ行届イテ居ルカ否ヤト云フコトニ付テ、多少ノ疑ヲ有スルノデアリマス、是ハ無論一々其ノ睨ミ合ヒニ付テ御研究ニ相成ツコトトハ考ヘルノデアリマスガ、如何ニモ海軍法規、殊ニ軍刑法ノ軍人ノ責任ノ程度ト非常ナル相違ノアル點ガ多イノデアリマス、是ハ多少船舶ト軍艦トノ性質及ビ其ノ身分ノ關係ニ於テ相違ハアリマスルケレドモ、其ノ職務ノ對國家關係ニ於テノ重要性等カラ考ヘマスルト、又其ノ海上交通ノ平和及ビ健全ナル發展ヲ期スル上カラ見マシテ、其ノ睨ミ合ヒガモウ少シ密接ニ出來テ居ツタナラバ宜カラウト云フヤウナ感じモ致シマスル、之ヲ今具體的ニ一々指摘致シマスルコトハ、煩ニナリマスルノデ、ソレハ略シマスルケレドモ、例ヘバ、其ノ一例ヲ申シマスルナラバ、此ノ海上ニ於キマシテ、船員ガ徒黨ヲ組ンデ、長上ニ抵抗スル、暴行

スルト云フヤウナコトモ相當アリ得ルト思フ、其ノ場合ノ規定ガ軍事法ト比ベマシテ餘リニ差ガアルヤウニモ思ヒマス、ソレカラ先程チョット質問モ出マシタ船長ガ船舶危急ノ際ニ、衆ニ先立テ退去シタト云フヤウナ場合ノ規定ニ於キマシテモ、相當ニ差異ガアリマス、是等ノ定規ハマア從來ノ船員法等ノ規定トノ關係モアリマスルカラ、今俄カニ軍刑法トノ睨ミ合ヒト云フコトハ困難ナ事情モアリマセウガ、本法制定ノ際ニ於キマシテハ、是等ハ十分ニ御研究ニ相成ツコトトハ考ヘマスルガ、其ノ概容ダケデ宜シウゴザイマスルカラ、軍事法トノ睨ミ合ヒハ此ノ位ノ程度ヨリ外ニハ仕方ガナカッタト云フコトニ付キマシテノ事情ヲ少シク承ルコトガ出來マスレバ、幸ヒデゴザイマス、ソレカラモウ一點同ジク法制ニ關スルコトデアリマス、御承知ノ通り、海軍ノ軍人ガ船舶ト衝突ヲ致シタト云フヤウナ場合ニ、假令人ノ生命、身體財産ニ對シテ損害ヲ加ヘマシテモ、ソレハ官吏行爲ト云フ關係ニ於テ民事責任ヲ負擔シナイ、然ルニ船員ノ方ニ於キマシテハ、左様ナ場合ニ民事關係ニ於キマシテ船舶所有者若シクハ船長ニ於キマシテ民事責任ヲ生ズルノデアリマス、此ノ間ノ差別ニ付キマシテ、同ジ性質ヲ有スル

者ガ、僅カニ一方ハ國家ノ關係ニ於テ、一方ハ私人ノ關係ニ於テト云フ理由ノミニ依ツテ、其ノ船舶所有者若シクハ船長ノ方ハ重大ナル責任ヲ背負フテ、再ビ起ツ能ハザルヤウナ状態ニ迄陥ルコトガ往々ニシテアルト思フ、デ、是等ニ對シテ少シ大キナ眼カラ考ヘテ、何トカ法制的ニ船舶所有者若シクハ船長ノ責任緩和ノ方法ハ……此ノ民事關係ニ於テ、重大ナル民事關係ヲ生ズルヤウナ場合ニ、ソレヲ緩和スル方法ヲ法制的ニ考ヘルベキデヤナイカト云フコトヲ常ニ私ハ感じテ居ル、斯ウ云フ點ニ付テ本法律制定ノ際ニ御諮議ガアツタモノカドウカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、其ノ二點ヲ先ツ伺ヒタイ

○政府委員(小野猛君) 第一ノ軍刑法トノ關係デ十分連絡ヲシテ見合ツテ此ノ法案ヲ立テカト云フヤウナ御質問デアリマスガ、勿論私ノ方デ海軍艦船ニ關スル規定モ參酌致シマシテ立案致シタノデアリマス、唯海軍ノ方ハ軍刑法デアリマシテ、此方ハ船員法デ、刑罰ヲ主トスルモノニアラズシテ、船員ノ監督保護ト云フコトヲ主體ト致シマスル關係上、必ズシモ海軍ノ方ノ規定ト調子ヲ揃ヘテ行ツテ居ラナイ點モ相當アルト思ヒマス、又行ツテ居ラナイコトガ當然ナ規

定モアルノデアリマス、唯一番問題ニナリマシタノハ、先頃カラ最モ論議サレテ居リマスル二重刑罰ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、海軍艦船ノ艦長モ輕過失ノ責ヲ現在ハ負ウテ居ルノデアリマス、船長モ負ウテ居ル、デアリマスルノデ特ニ此ノ點ニ付テハ海軍關係ト十分協力致シマシテ、此ノ輕過失問題ニ對スル方針ヲ色々相談致シタノデアリマスルガ、結局今此處デ現在ノ程度デハ、普通刑法ノ改正ヲ待ツト云フコトニ相成ツタノデアリマス、就キマシテハ普通刑法改正ニ付キマシテモ、海軍ト能ク協調致シマシテ、艦長並ニ船長ノ責任問題ニ付テ、十分適正ナ方法ニ參ルヤウニ努力致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス、次ニ軍艦等ノ衝突(軍艦等カラ衝突サレタ場合、商船ト非常ニ權衡ヲ失スルヤウナゴトガアルト云フ御話デアリマスルガ、是ハ現在ノ船舶界ニ於キマシテ非常ニ重大ナ問題ニナツテ居ルノデアリマス、所謂公船責任論ト云フ議論ガ非常ニ問題ニナツテ居リマス、要スルニ軍艦等ガ衝突シタ場合ニハ、國ノ權力行爲デアアルノダカラ、普通ノ民事裁判ニ據ルベカラズト云フ風ニナツテ居ルノガ、獨リ日本ノミナラズ各國ノ現在ノ慣行デアアルノデアリマス、併シ今仰シヤツクヤウニ、ソレ

ハ怪シカラヌデヤナイカ、民間ノ船ダケガサウ云フ莫大ナ損害賠償其ノ他ノ負擔ヲ負フノニ、軍艦ニ依ル同様ノ行爲ガ、何等法律上ノ責任ニ觸レナイト云フノハラカシイデヤナイカト云フコトハ、各國皆唱ヘラレテ居ルノデアリマシテ、是ハ國際海法會議等デモ論議サレマシテ、公船責任ニ關スル條約ト云フモノモボツノ審議シテ參リツツアル次第デアリマス、將來之ガ解決ノ何等カ具體的方法ガ見出サレルコトと思フノデアリマス、唯實際問題ト致シマシテ、軍艦等ニ依ル衝突ノ損害賠償ハ、大體事實問題トシテ、商船ノ損害賠償ト同ジヤウナ程度ニ賄ツテ居ルノデアリマス、實際ハ具體的問題トシテハ、大體ニ於テ不平等ナ行ツテ居ルト了解シテ居ルノデアリマス、又反對ニ商船ノ現在ノ衝突ニ依ル損害賠償ハ非常ニ大キナモノデ、之ヲモウ少シ下ゲル方法ハナイカト云フ御尋モアツクヤウデアリマス、是ハ一般民法ノ根本論デアリマス、現行民法デ損害賠償ノ根本法ヲ定メテ居リマスル以上、之デ根本ガ改正サレナイ限りハ、現在ノ法制デハ如何トモシ難イノデハナカラウカト思ヒマスガ、御質問ノ點ハ私共全ク同感デアリマスノデ、十分損害賠償ノ責任ノ實際問題ニ當リマシテハ、篤ト考

慮致シタイト存ズル次第デアリマス

○内田重成君 モウ一點御伺ヒ致シマス、此ノ船員ノ精神教育、チヨットヲカシウゴザイマスケレドモ、私ハ始終船員ハ海軍ト親類筋ト云フ見地カラ思フノデアリマスガ、御承知ノ如ク海軍軍人ノ精神教育ト云フノガ、是ガ第一義ニ置イテ施設シテ居ルノデアリマス、其ノ船員ノ精神教育ニ付キマシテハ、是ハ逡信省ハ海軍省ト同様ニ、全部ノ船員ニ付テ總テヲ監督セラル、譯デハアリマスマイカラ、困難ナコトデハアリマセウガ、一般的ニ此ノ船員ノ精神教育ノ施設ト云フモノガ、何カ逡信省デ船主等ニ對シテノ指導方針ガ定メラレテ居リ、又將來之ヲドウ云フ風ニ御指導ニ相成ルカガ、御研究ニナツテ居ル點ガアリマスルナラバ、一ツ承リタイノデアリマス

○政府委員(田島勝太郎君) 船員ノ教育ニ關係致シマシテハ、所管省トシテハ文部省ガ其ノ局ニ當ツテ居ルノデゴザイマシテ、文部省ノ方デ御趣旨ノアル所ヲ平素考ヘテ、一面ニ於テ海軍ノ準備員タル關係ニ立ツテ居リマスル船員ノ立場ヲ考慮シテ、十分注意ヲ拂ツテ居ル次第デアアルノデゴザイマスガ、逡信當局ト致シマシテモ、海上交通ト云フモノノ所管ノ官廳トシテ、其ノ構成員タル船

員ノ素質ニ付テハ、直接間接ニ注意ヲ怠ラズニ其ノ時宜ニ應ジマシタ處置ニ付キマシテ、若シ注意スベキコトガゴザイマシタナラバ文部當局ニ之ヲ移牒シ、又船主團體、船員團體等ニ對シマシテ相當ノ指導ヲ與ヘテ、十全ヲ期シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○内田重成君 モウ一點伺ヒマスガ、是ハ衆議院デ前議會ニ於テ、管船局長ノ御答辯デアツタカニ考ヘマスルガ、遞信省ニ於キマシテモ、此ノ海難事故ニ對スル海軍ノ査問規則ニ類スル如キ制度ヲ設ケルコトガ、適當デハナイカトモ思フト云フヤウナ御意向ノ陳述ガアツタヤウニ私記憶致シマスルガ、若シ果シテサウ云フ御意向ガアレバ、誠ニソレハ適法ナル御企テデアルト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ海員ニ付キマシテハ海員懲戒法ガアツテ、相當此ノ懲戒事項ニ付キマシテハ、極メナ他ニ類例ノナイ丁寧ナ法制ガ出來テ居ル、單ナル懲戒ダケニ、此ノ海員ニ限ツテハ二審制度マデ裁判制定ガ設ケラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ制度、此ノ懲戒法ニ今少シク改正ヲ加ヘラレテモ宜カラウト思フ、又ハ特別ナル勅令等ニ依ツテ定メラレテモ出來ルコトデアラウト思フノデアリマス、左様ナ海軍ノ査問ニ類スル如キ範圍ヲ有スル調査機關ヲ、特ニ御設置

ニ相成ル御意向ガアリマスカ否カト云フコトヲ御伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(小野猛君) 衆議院デ私が申述べマシタノハ、海軍ノ査問ニ類スルヤウナモノヲ設ケル意向アリヤト云フ質問ニ對シマシテ、現在ノ海員懲戒法ノ懲戒制度ガ、海軍ノ査問ニ相當スルヤウナ制度デアラウト思フト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、唯現在ノ海員懲戒制度ト云フモノハ、大體ニ於テ懲戒ヲ主トスルモノデアツテ、海難即チ衝突、ノシ上ゲ等ノ原因ヲ調査スルコトヲ主眼トシナイヤウナ嫌ガアルヤウニモ思ハレルカラ、一ツ此ノ海員懲戒法ヲ改正シテ、海難ヲ調査スルコトヲ主トシナイヤウナ方針デアラウテテ見タイ、此ノ海難ヲ調査スル道程ニ於テ、船長ノ責任アリト云フコトニナレバ船長ヲ懲戒ニ付シ、燈臺ガ足りナイガ爲ニ海難ガ出來タト云フコトニナレバ、燈臺ノ施設ヲ改善スルガ宜シカラウシ、其ノ他色々原因ガ其ノ調査ノ道程ニ於テ判明スル次第ダカラ、兎ニ角海難ヲ調査スルコトヲ方針ニ現在ノ制度ヲ改メテ見テハドウカト自分ハ考ヘテ居ル、斯ウ申上ゲタ次第デアリマス、此ノ私ノ申述べタコトハ、現在私マダ私ノ信念トシテ左様考ヘテ居ル次第デアリマスノデ、一ツ此ノ調査ニ著手シテ見タ

イト考ヘテ居ル次第デアリマス

○内田重成君 私ハ終リマシタ

○橋本辰二郎君 只今ノ質問ニ關聯シテデアリマスガ、實ハ日本ノ海難ノ密問ノ如キモノハ、主トシテ懲戒ヲ目的トスルヤウナ傾向ガアリマシテ、歐米ノ先進國ノ中ニハ、其ノ海難ノ起ツタ原因ヲ探究シテ將來ノ禍根ヲ絶チ、一般海員ニ注意ヲ促スト云フコトヲ主トスルヤウニ聞イテ居ルガ、其ノ方面ニ向ツテ進ンデハドウカト云フコトヲ、私ハ四五年前議場ニ於テ政府ニ要求シタコトガアリマシタ、時ノ大臣モソレニ同感ヲ表セラレマシタガ、マダソレノ實現ヲ見ナイノヲ遺憾トスル、只今管船局長ノ御意向ノアル所ハ諒承致シマシタガ、先程モ内田委員ヨリ御話ニナツテ、司法當局カラノ答辯ガアツタヤウニ思ヒマスガ、私中座致シテ居リマシテ、重複致シマスナラバソレハ取消シマシテ宜シウゴザイマスガ、實ハ海事裁判所ト云フモノヲ設ケルノ必要ガ今日アリハシナイカ、斯ウ考ヘノデアリマス、御承知ノ通り日本モ殆ド英國ニ次グノ海運國ニナリマシタ今日ニ於キマシテハ、海事ニ關スル事故ノ發生ト云フモノハ、過去ニ於ケルヨリモ餘程増加致シマシテ、今後頻々トシテ起ルノ虞ガ十分ニ

アルノデアリマス、而シテ海事ニ關スル知識ノ比較的少イ所ノ普通裁判所ニ於キマシテ、此ノ民事上ノ損害賠償等ノ審理ヲスル場合ニ於テハ、非常ニ困難ヲ感ズルノミナラズ、其ノ裁判ノ正確ヲ期スルコトモ如何ト思ハレル節モナイデハナイノデアリマス、ソコデ其ノ海員ノ、詰リ今日日本ニ於ケル所ノ審判所デヤツテ居ルヤウナ事柄モ勿論デアリマスガ、海上ノ事故ニ關スル民事問題等モ包含シテ、之ヲ管轄スルヤウナ海事裁判所ト云フモノヲ設ケタナラバ、非常ニ便宜デアラウト考ヘルノデアリマス、英國ニ於キマシテハ「アドミラル・ポート」ト云フモノガアリマシテ、専ラ海事ニ關スル所ノ裁判ヲ掌ツテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、既ニ世界ニ於テ英國ト海運業ノ覇ヲ爭ツテ居ル日本ト致シマシテハ、最モ施設ノ必要ヲ痛感スルヤウニ一般デハ見テ居リマスガ、之ニ對シマシテハ、遞信當局ハドウ云フ御意向ヲ御持チ下サイマセウカ、承リタイト思ヒマス

○政府委員(田島勝太郎君) 御尤モナ御質問ト考ヘマス、先刻ソレト同様ナ御質問ガ内田サンカラ御提出ニナリマシテ、時恰モ司法大臣ガ列席シテ居ラレマシテ、司法大臣トシテ篤ト考慮シテ見タイト思フト云フ

員ノ素質ニ付テハ、直接間接ニ注意ヲ怠ラズニ其ノ時宜ニ應ジマシタ處置ニ付キマシテ、若シ注意スベキコトガゴザイマシタナラバ文部當局ニ之ヲ移牒シ、又船主團體、船員團體等ニ對シマシテ相當ノ指導ヲ與ヘテ、十全ヲ期シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○内田重成君 モウ一點伺ヒマスガ、是ハ衆議院デ前議會ニ於テ、管船局長ノ御答辯デアツタカニ考ヘマスルガ、遞信省ニ於キマシテモ、此ノ海難事故ニ對スル海軍ノ査問規則ニ類スル如キ制度ヲ設ケルコトガ、適當デハナイカトモ思フト云フヤウナ御意向ノ陳述ガアツタヤウニ私記憶致シマスルガ、若シ果シテサウ云フ御意向ガアレバ、誠ニソレハ適法ナル御企テデアルト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ海員ニ付キマシテハ海員懲戒法ガアツテ、相當此ノ懲戒事項ニ付キマシテハ、極メナ他ニ類例ノナイ丁寧ナ法制ガ出來テ居ル、單ナル懲戒ダケニ、此ノ海員ニ限ツテハ二審制度マデ裁判制定ガ設ケラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ制度、此ノ懲戒法ニ今少シク改正ヲ加ヘラレテモ宜カラウト思フ、又ハ特別ナル勅令等ニ依ツテ定メラレテモ出來ルコトデアラウト思フノデアリマス、左様ナ海軍ノ査問ニ類スル如キ範圍ヲ有スル調査機關ヲ、特ニ御設置

イト考ヘテ居ル次第デアリマス

アルノデアリマス、而シテ海事ニ關スル知識ノ比較的少イ所ノ普通裁判所ニ於キマシテ、此ノ民事上ノ損害賠償等ノ審理ヲスル場合ニ於テハ、非常ニ困難ヲ感ズルノミナラズ、其ノ裁判ノ正確ヲ期スルコトモ如何ト思ハレル節モナイデハナイノデアリマス、ソコデ其ノ海員ノ、詰リ今日日本ニ於ケル所ノ審判所デヤツテ居ルヤウナ事柄モ勿論デアリマスガ、海上ノ事故ニ關スル民事問題等モ包含シテ、之ヲ管轄スルヤウナ海事裁判所ト云フモノヲ設ケタナラバ、非常ニ便宜デアラウト考ヘルノデアリマス、英國ニ於キマシテハ「アドミラル・ポート」ト云フモノガアリマシテ、専ラ海事ニ關スル所ノ裁判ヲ掌ツテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、既ニ世界ニ於テ英國ト海運業ノ覇ヲ爭ツテ居ル日本ト致シマシテハ、最モ施設ノ必要ヲ痛感スルヤウニ一般デハ見テ居リマスガ、之ニ對シマシテハ、遞信當局ハドウ云フ御意向ヲ御持チ下サイマセウカ、承リタイト思ヒマス

ヤウナ御意見ノ陳述ガアッテ居リマシタガ、
遞信當局ト致シマシテハ、勿論橋本サシノ
御意見ノ通り海運國トシテ隆々タル進歩ノ
跡ヲ示シテ居ル我ガ國ノコトデアリマスル
カラ、海事ニ關スル特別ノ裁判制度ノ如キ
モノガ創設セラレルト云フコトハ、非常ニ
斯界ノ爲ニ都合モ宜シイコトデアッテ、海運
國トシテノ日本ニ相應スルコトデハナイカ
ト思フノデゴザイマスガ、何分未ダ日本ニ
於キマシテハ、民事刑事事ト二ツニ分レテ居
ルダケデゴザイマシテ、此ノ社會ノ複雑ナ
事象ニ對スル裁判所ノ働キトシテハ、非常
ニ狭イヤウナ感ジガ致シテ居ルノデゴザイ
マスカラ、遞信當局ト致シマシテモ篤ト司
法省ノ考慮ヲ促スヤウニ、此ノ海運ノ進歩
ニ伴ヒマシテ努力ヲ致シテ見タイ積リデア
リマス、又遞信當局ソレ自身モ、サウ云フ
コトノ實現スルヤウニ自カラノ事務擔當ノ
範圍内ニ於テ、努力シテ見ル積リデゴザイ
マス

○橋本辰二郎君 只今ノ私ノ質疑ニ對シマ
シテ、遞信當局ノ御意向ヲ承リマシタガ、
御賛成ノ御趣旨ダト云フコトニ拜聽致シマ
シテ満足致シマス、若シ必要ト云フコトヲ
痛感セラレマスル以上ハ、一日モ早く其ノ
コトノ實現ニ向ッテ、司法省ト協力シテ努力

セラレムコトヲ此ノ際ニ於テ御願ヒ致シテ
置キマス、ソレカラ次ニ水先人ニ付キマシ
テ、船員法ニ付テ何等ノ規定モナイヤウデ
アリマスガ、是ハ水先人ノ取締規則トカ何
トカ云フモノガアリマシテ、ソレハ改正セ
ズトモ現行ノ儘デ差支ナイト云フコトニナッ
テ居リマセウカ

○政府委員(小野猛君) 水先人ニ關シマシ
テハ、現在水先法ト云フモノガアルノデア
リマス、是ハ水先人ノ保護ノ爲ニ水先人組
合等ヲ設ケ、水先人其ノ他ニ付テ遞信省ガ
關與スルト云フヤウナ趣意ノ規定デアリマ
シテ、船員法ノ方向ト大分違フノデゴザイ
マス、唯水先人ハ水先業務ニ從事シテ居リ
マス間ハ、船長ニ代ッテ指揮ヲスル譯デアリ
マスカラ、其ノ關係ニ於キマシテハ、船長
ニ準ズルモノトシテ私ノ方デハ海員懲戒ノ
場合ノ如キハ水先人モ船長ト同様ニ取扱ヒ
マシテ、之ヲ適用ヲ致シテ居ルヤウナ次第
デアリマス、水先人ノ保護ニ關スルモノハ
水先法規定致シマシテ、船員法トハ聊カ
趣ヲ異ニシテ居リマスノデ、改正ノ運ビニ
ナッテ居ラナイ次第デアリマス、併シ今申上
ゲマシタヤウニ取締ノ點ニ付テハ船員ト同
様、或程度ノ……同様ト申シマスト語弊ガ
アリマスガ、或程度ニ船員ト同ジヤウナ規

定ヲ適用致シテ居ル次第デアリマス
○橋本辰二郎君 水先人ガ船長ニ代ッテ船
長ノ職務ヲ行フ場合ニ於テ生ジタ海難事故
ニ對シマスル懲罰方法ハ、此ノ船員法ニ於
テ、船長ニ課スルモノト差ガアルノデアリ
マスカ如何デセウカ

○政府委員(小野猛君) 現行水先法デハ、
水先人ノ衝突其ノ他ノ事故ニ付キマシテハ、
水先法デ輕過失ヲ罰シテ居ルノデアリマス、
併シ將來刑法改正ノ時ニ際シマシテハ、私
共ト致シマシテハ、船員ト同様ナ程度ノ處
罰規定ヲ設ケルヤウニ努力シタイト考ヘテ
居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御答辯ヲ承リマシ
テ私モ満足致シマシテゴザイマス、將來刑
法ヲ改正致シマシテ、日本ノ海運關係者一
同ガ熱望シテ居リマスル輕過失ヲ、司法處
分ニ付セスト云フコトニナリマシタ時ニハ、
水先人モ之ニ均霑セシメルヤウ、是非御取
計ヒ願ヒタイト云フ希望ヲ重ネテ申上ゲテ
置キマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 大概是デ、此
ノ案ヲ御質問ハ終リマシタヤウデアリマス
ガ……

○岩田宙造君 民事局長ハマダ御見エニナ
リマセデスカ、先刻民事局長カラ返事ス

ルト云フコトニナッテ居リマスガ……

○橋本辰二郎君 遞信當局ニモウ少シ御伺
シテ置キタイト思ヒマス、昨日沿岸貿易ノ
禁止ヲ緩和シテ之ヲ特許スルト云フコトニ
付キマシテ、井上委員ヨリ御質問ガアリマ
シテ、ソレニ對シテ大臣ヨリノ御答辯ガア
リマシタノデスカ、是ハ大連置籍船ハ勿論
支那ノ置籍船モ勿論デアリマスガ、總テノ
諸外國ノモノモ之ニ均霑スルト云フコトニ
ナルコトデアラウト思ヒマスガ、只今大連
置籍船ハドノ位アリマスガ、支那ノ置籍船
ニ付テハ昨日三十萬噸バカリト云フコトデ
アリマシタガ、尙ソレニ間違ヒナイカト云
フコトモ承リタイ、サウシテ現在沿岸貿易
ノ特許ヲ願出タル所ノ大連置籍船、支那置
籍船及外國船ハドノ位アルノデアリマスガ、
又遞信當局ニ於テドノ位ナ船舶ガ此ノ特許
ヲ願出ルト云フ御見込デアリマセウカ、此
ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(小野猛君) 大連置籍船ハ現在
二十三萬噸バカリアルト記憶シテ居リマス、
支那置籍船ニ付キマシテハ大臣カラ昨日申
上ゲマシタガ、約三十萬噸ト云フコトニ我
我見當付ケテ居ルノデアリマスガ、是ハ甚
ダ遺憾ナガラ政府ノ方針ヲ潛ッテ支那ニ置
籍シテ居リマスルヤウナコトデ、此ノ數字ニ

ハ相當出入リガアルカトモ思ハレマスガ、色々ノ方面カラ取リマシタ材料ヲ綜合致シマス、大體三十萬噸見當デアラウト考ヘラレルノデアリマス、又現在下ノ位沿岸貿易特許ヲ願出タモノガアルカト云フ御話デアリマスガ、實ハマダ之ヲ聲明致シマシテ時日ガ經チマセヌ關係上、各地ノ要望ガハッキリ致シテ居ラナイノデアリマス、何レモウ暫ク致シマス、相當ノ計數ヲ申上ゲラレルコトニナルト考ヘラレルノデアリマス、ソレデハ下ノ位ノ見込カ、斯ウ云フコトデアリマスガ、是ハ今後ノ近海ノ運賃ノ上リ下リニモ相當因ルコトと思フノデアリマス、私共ノ考ヘマスル所デハ、大連置籍船ノ大體半分位ハ内地ニ來ルモノデハナカラウカ、ソレカラ内地ニ來ルモノデハナカラウカト申シマスルノハ、相當御用船ニ徵收サレテ居リマスノデ、内地ノ沿岸ハ相當空イテ居リマスルノデ、ソレヲ充タスト云フ風ニナルノデアリマスルガ、大體半分位ナ見當デハナカラウカト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、支那置籍船ガ下ノ位來ルダラウカ、是ハ現在ノ所デハハッキリ動向ガ分リマセヌ、一時傳ヘラレル所ニ依リマスルト、支那置籍ナルガ故ニ非常ニ危險ヲ感ジテ居ル、支那側カラ徵收處分ヲシハシナイカ、或ハ

乘組シテ居ル下級船員、高級船員ニ相當脅威ヲ與ヘヤシナイカ、サウ云フコトデ成ルベク安全ナ方向ニ之ヲ導クト云フコトガ、適切ナル方策デアラウト考ヘマシテ、其ノ方策モ加味シテ居ルノデアリマスルガ、色聞イテ見マス、非常ニ脅威ヲ受ケテ居ルト云フ說モアリマスルシ、大シタコトハナイト云フ說モアリマスルノデ、其ノ程度ハハッキリ致シマセヌ、私共ノ考デハ此ノ戰局ノ進展ニ伴ヒマシテ、其ノ脅威ト内地沿岸ニ於ケル運賃ノ幾分ノ引締リ等カラ見マシテ、大部分コチラニ來ルノデハナカラウカト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 北支事件ガ起リマシテ以來、南京政府ニ於キマシテハ、支那人ニシテ其ノ船舶ノ船籍國ヲ變更スル者ヲ死刑ニ處スルト云フ法令ヲ出シタト云フ噂ガアリマスガ、遞信當局ニ於テハ其ノコトニ付テハ御承知ガアルデアリマセウカ、無イデアリマセウカ、又現在ノ支那置籍船ノ名義主ト云フモノハ何レニ居住シテ居ル支那人ノ名義ヲ借りテ居ルノデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ御調ガ付イテ居ルナラバソレヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ最後ニ沿岸貿易ト云フコトハ今カラ三十年程前迄ハ、一般ノ外國人ナドモ許サレテ居ッタト私ハ

記憶シテ居リマス、其ノ後日本ノ船舶ヲ之ガ爲ニ壓迫スルト云フヤウナ關係ヨリシテ、日本ノ海運業ノ獎勵、發達助長ト云フヤウナ見地ヨリシテ、之ヲ禁止シタカノヤウニ私ハ記憶致シテ居リマスガ、今日ニ於キマシテハ假令我ガ沿岸ノ外國船ニ解放シタ場合ニ於キマシテモ、何等本邦船舶ニ付テハ脅威ヲ與ヘヌモノト思フノデアリマス、果シテ脅威ヲ與ヘヌモノトスレバ、斯ウ云フ沿岸貿易ヲ禁止ラシテ、外國ニ之ガ爲ニ、日本ノ或領國主義ノ如キ行動ヲ非難サレルヨリモ、寧ろ是ハ沿岸貿易ト云フコトハ解放スル方ガ國策トシテハ宜クハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、現ニ先般英國ニ於キマシテモ、日本ハ沿岸貿易ヲ禁止シテ居ルガ爲ニ、英國ノ東洋ニ於ケル所ノ植民地ノ航路ニ付テハ、日本船ノ貨物ノ積ミ卸シヲ禁止シ、サウシテ沿岸貿易ハ之ヲ杜絶センメル方ガ宜カラウト云フ議論ガアッタト云フコトモ聞キマシテゴザイマスルガ、此ノ點ニ付キマシテモ遞信當局ノ御所感ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(小野猛君) 第一點ノ支那變態輸入船ノ變更ニ對シテ、死刑ニ處スルト云フヤウナコトヲ聞イタカト云フ御話デアリマスガ、私共ハ此ノ點ニ付テハ何等權威ア

ル報告ニ接シテ居ラナイノデアリマス、或ハ事實デハナイノダラウト考ヘルノデアリマス、ソレカラ支那ノ船ハ、所謂變態輸入船ハドウ云フヤウナ方法デ處置シテ居ルカト云フ御話デアリマスルガ、是ハ極メテ區區マチノデアリマシテ、主トシテ上海、芝罘、青島ト云フ方面ニ籍ガアルノデアリマスガ、芝罘邊リニハ相當大キイ會社ヲ立テマシテ、日本人ニ名前ヲ貸ス爲ノ會社組織ノモノガアルサウデアリマス、上海邊リニハサウ云フモノハナイノデアリマスルガ、從來ノ取引、其ノ他ノ關係カラ名義ヲ借りテヤッテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、又其ノ後ニハ必ズシモ支那人デナクテ支那以外ノ外國ノ資本ト結託シテ居ルト云フヤウナ噂モ聞イテ居ルノデアリマス、其ノ程度ノコトハ私共モ調ベテ分ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三ノ沿岸貿易ヲ寧ろ解放シタラドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ非常ナ重大ナ、又微妙ナ問題デアリマスノデ、慎重ニ研究シナケレバナラナイノデアリマス、沿岸貿易ヲ解放シテモ私共ノ考デハ外國船ガ濫リニ入ッテ、此ノ程度ニ發達シタ日本ノ海運ニ脅威ヲ與ヘヨウト云フコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、併シ對外競爭其ノ他ノ關係カラ、今急速ニ無條

件ニ之ヲ解放スルト云フコトハ如何カト思フノデアリマスノデ、暫ク此ノ現狀ヲ維持シタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 私ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(侯爵西郷從德君) ドナタカ御質問ハ……如何デゴザイマセウカ、五分バカリ休憩シタイト思ヒマスガ……ソレデハ五分間休憩致シマス

午後三時二十六分休憩

午後三時三十六分開會

○委員長(侯爵西郷從德君) 只今カラ委員會ヲ開會致シマス

○子爵秋元春朝君 委員長ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、司法省ノ方モ御出デニナラスヤウデアリマスガ、此ノナリ待ッテ居ルノモ何デアリマスカラ、此ノ方ノ法案ハ此ノ程度デ御打切りヲ願ッテ、其ノ代リ明朝司法省ノ方ニ全部御出デラ願フヤウニ御約束ヲ願ヒマシテ、サウシテ其ノ間モウ一ツ我々委員ニ付託ニナリマシタ通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案、之ヲ此ノ際御審議ヲ願ッたら、ドウカト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 只今大藏省ノ方カ司法省ノ方カドツチカ來ラレたら、ドツチデモ御出デニナッタ方カラ始メタイト思ヒマス、明日ナッテ宜イノカ、今日中ニヤラナクチャナラナイノカ、今委員課ニ問合セテ居リマス、御含ミヲ願ヒマス、ソレデハ船員法改正法律案、前回ニ續キマシテ御質疑ヲ願ヒマス、ドナタカ御質疑アリマセヌデスカ

○岩田宙造君 先刻ノ質問ニ對シマシテ御答ヘニナリマスガ、ドウデゴザイマスカ

○政府委員(小野猛君) 此ノ法案ヲ立案ヲ致シマシタ時モ、最前私ノ申上ゲタヤウナコトデ、司法當局ト相談致シテ、立案致シタノデアリマス、今司法當局ト重ネテ相談致シテ見タノデアリマスルガ、此ノ解釋ハ四十三條ノ裸傭船ノ借入ニ解釋ヲショウト云フコトデ話合ニナッタノデアリマス、岩田博士ノ御指示ニ依リマシテ、大審院ノ判決ト幾分是ト齟齬スルヤウナ結果ニ相成ルヤウナ場合モアリマスルガ、將來司法當局ト能ク協議致シマシテ、實際ニ妨ゲノナイヤウニ解釋ヲ、幾分ノ解釋ニ餘地ガアリマスルト致シマスレバ、司法當局トモ能ク相談致シマシテ、最モ適正ナル解釋ヲ何等カ公權的ニ決メヨウト考ヘル次第デアリマス

○岩田宙造君 只今通信當局ノ方カラ御説明ガゴザイマシタガ、私ハ矢張り遺憾ナガラ只今ノ御説明デハ満足スルコトガ出來ナイノデアリマス、ト申シマスルノハ、實質上裸傭船デナイ場合、詰リ船主ノ雇入レタル船長竝ニ其ノ他ノ船員ガ乗組ンデ居リマスル場合ニハ、此ノ四十三條ヲ適用スルコトガ出來ナイ、サウ云フ出來ナイト云フ點ニ付テハ、是ハ皆見ル所ハ一致シテ居ルノデアリマス、ソレデ四十三條ノ中カラハ船主ガ雇入レタル船長、其ノ他ノ船員ガ乗ッテ居ル場合ハ、四十三條ノ中ニ含メルコトガ出來ナイト云フコトハ誰モ爭ハナイノデアリマス、然ラバ四十五條ノ中ニ含メナイト云フコトニナルカドウカト云フコトガ問題ニナルノデアリマス、而シテ四十三條ハ、外ノ場合モアリマスルガ、是ハ姑ク措キマシテ、船舶貸借ノ場合ニ付テ見マスレバ、廣ク船舶貸借ノ場合ニハ、船舶借入人ガ船主ノ地位ニ立ツコトニナッテ居ル、而シテ船舶貸借ト云フ中ニハ、船主ノ雇入レタル船長、其ノ他ノ船員ガ乗組ンデ居ル場合ガ入ッテ居ルカ、入ッテ居ラスカト言ヒマスルト、此ノ船舶貸借ト云フ言葉ハ、商法ノ船舶貸借ト同意義デアルト云フコトモ、是ハドウモ解釋上當然サウナルト思フノデアリマス、ト申シマスルノハ、商法ト云フモノガ、此ノ本法ノ船員法ト縁ノ遠イモノデアレバ、ソレハ格別デアリマスルガ、商法ト此ノ本

法トハ是ハ兄弟ト云フヨリモ、モット縁ノ深イ兩方ノ規定ガ錯綜シテ兩方ニ規定シテアル、是ハ法律デアリマス、斯様ナ關係ガアルノデアリマスルカラ、商法ノ船舶貸借ト云フコトノ解釋ト本法ニアル船舶貸借ト云フコトノ解釋ヲ異ナル意味ニショウト云フコトハ、是ハドウシテモ無理デアルト思ヒマス、デ商法ノ方デハ兩様ガアル、裸傭船ノ場合モアリ、船主ノ雇入レタル船長其ノ他ノ船員ノ乗組ンデ居ル貸借モアルト云フコトハ、大審院ハ繰返シテサウ云フ判決ヲ下シテ居ルノデアリマスカラ、商法ノ解釋トシテ今日ハ動カスベカラザルコトニナッテ居ル、然ルニ本法デ商法ト斯様ナ密接ナ關係ノアル本法ニ於テ、本法ノ解釋ト云フノハ其ノ一部分ダケヲ言フノダト云フコトハ、是ハドウシテモサウ云フ解釋ヲ付ケルト云フコトハ、是ハ通ラヌト思フノデアリマス、ソレモモウ既ニ出來上ツタ法律デ、何トカシナケレバナラヌト言フノナラバ、無理ナ解釋デモ已ムラ得ヌデアリマセウケレドモ、是カラサウ云フコトガ問題ニナッタ際ニ世間ガサウ云フ無理ナ解釋ヲ普通スルト云フコトノ豫想ノ下ニ之ヲ此ノ儘置クト云フコトハ私ハ遺憾ナガラ御同意ガ出來ナイノデアリマス

○政府委員(田島勝太郎君) 私カラ甚ダ恐

縮デアリマスケレドモ、管船局長ノ答辯ヲ更ニ補充シテ申上ゲテ見タイと思ヒマス、只今岩田博士ノ御説ハ御尤モニ存ジ上ゲマス、併シ此ノ船員法改正法律案ヲ立案致シマス際ニ、逓信當局ノ司法當局ノ協議ノ要領ハ、詰リ此ノ船舶借入人ト此ノ四十三條ニアリマスル場合ハ、俗ニ申シマス裸備船ノ場合ヲ想像致シマシテ、此處ニ規定シタト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマシテ、サウ云フ解釋ノ方針ヲ以テ本法案ヲ立案シタノデゴザイマス、ソレハ此ノ船員法ノ姉妹法デアリマス所ノ船舶職員法デアリマストカ、其ノ他ノ法律ニ於テ是ト同様ノ條文ニ依ッテ規定ヲ致シテ居ルノハ、其ノ精神ニ依ッテ規定サレテ居ルノデアリマシテ、其ノ點カラ考ヘマシテ、同様ノ精神ヲ以テ此ノ四十三條ヲ規定シタノデアリマス、ソレデ成ル程岩田博士ノ仰セラル、通りニ、本法ト商法トハ非常ニ密接ナル關係ヲ有ッテ居ルノデゴザイマスルガ、此ノ船員法ノ中ニ商法ノ規定ヲ一部分包含セシメマシテ、一本ノ法律ニ致シマシタト云フ其ノ部分ハ商法中ノ船員ニ關係致シマシタ部分デゴザイマシテ、所謂海商法ノ本體ニ屬スルトデモ申シマスルカ、所謂商事關係ニ於ケル法律關係

ハ總テ之ヲ商法ニ一任致シマシテ、本法ハ

寧ろ社會立法的、若シクハ言葉トシテハ少シ妥當デナイカモ知レマセヌガ、幾分公法的ノ性質ヲ有ッテ居リマスル社會法的ノ性質ヲ有ッテ居リマスル船員ノ雇傭關係ニ付テ海商法ノ規定ヲ船員法中ニ包含セシメタモノデゴザイマシテ、詰リサウ云フ雇傭關係ノ目的ノ上ニ於キマシテ、商法ノ解釋ガ、商法ニ關スル大審院ノ判決例ガ本法ノ規定シテ居リマスル本法ノ解釋シテ居リマスル解釋ノ精神ト假ニ背馳スルヤウナ場合ガアリマシテモ、ソレハ自カラ法ノ分野ニ於テサウ云フコトハアリ得ルト云フコトヲ考ヘテモ宜シイカト私等ハ考ヘテ居リマサウナ次第デアリマス、左様ナ次第デ、此ノ四十三條ノ船舶借入人ト申シマスルノハ、裸備船ノ場合ヲ指差スモノデアルト云フコトハ、船員法ノミナラズ、船員法關係姉妹法ノ各法律ニ同様ノ精神ヲ以テ立法ヲ致シテ居ルト云フ點ヲ考ヘマスレバ、或ハ博士ノ仰セラレルヤウナ點ニ付キマシテハ、相當ニ辯明ノ途ガ立チ得ルカト考ヘテ居ル次第デアリマス、逓信當局ノ立場ヲ説明旁、補足致シテ置キマス

○岩田宙造君 モウ繰返シテ申上ゲマセヌガ、只今ノ御説明ニモ遺憾ナガラ満足ヲ表

スル譯ニ參ラナイノデアリマス

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ内閣

ノ政府委員カラ此ノ付託議案ノ通信事業特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案、此ノ議案ノ説明ヲシテ戴キマスコトニ御異議ハゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハドウ

ゾ……

○政府委員(井野碩哉君) 只今議題ニナリ

マシタ法律案ニ付キマシテ、御説明申上ゲマス、新設省ノ設置ニ伴ヒマシテ、簡易生命保險及郵便年金ノ兩事業ハ同省ニ移管セラハ、コトトナリマシタ處、募集及維持ニ關シマスル現業事務ハ差向之ヲ逓信省ニ委託致シマシテ、郵便官署ヲシテ取扱ハシムルコトヲ利便且經濟的ト認メラレマスノデ、右現業事務及ビ之ニ伴フ管理事務ハ、別途勅令ヲ以チマシテ、逓信省及逓信大臣ノ管理ニ屬スル官署ニ於テ取扱ハシムルコトニ規定セラル、見込デゴザイマス、從テ之ガ事務取扱ニ要シマスル經費ハ、總テ通信事業特別會計ノ所屬ト致シマシテ、之ガ經費ノ財源ハ、簡易生命保險及郵便年金ノ兩特別會計ヨリ通信事業特別會計ニ繰入ニナス

ノ要ガアルノデアリマス、以上ガ本法律案

提出ノ理由デゴザイマス、何卒御審議ヲ煩ハシタイト存ジマス

○子爵秋元春朝君 極ク法律案ノヤウデア

リマスガ、通信事業特別會計繰入ノ分ノ、千五百十七萬餘圓ノ方ノ内容ニ付テ極ク簡單ニ大要タケテ御説明願ヒタイ、年金ノ方ハ分ッテ居リマス

○政府委員(手島榮君) 簡易生命保險事業

及郵便年金事業デ逓信省ノ方ニ殘サレマス部分ハ、郵便局ニ於キマスル募集事務ト、ソレカラ募集シマシタ保險年金ノ維持ニ關スル事務ガ主體デアリマシテ、其ノ募集並ニ維持ニ關シマスル關係ニ於キマシテハ、現在逓信省ガ直接ニ逓信省ノ仕事トシテ行ッテ居リマス仕事ト全然同一デアリマス、從ヒマシテ郵便局關係ニ於キマスル經費ハ、現在ノ逓信省デ使ッテ居リマスモノガ、其ノ儘今度ハ繰入金トシテコッチノ方ニ入ル譯ニ相成リマス、ソレカラ逓信局ノ關係ニ於キマシテハ、現在逓信局デ簡易保險、郵便年金ノ管理事務ヲ行ッテ居リマス仕事ノ中デ、健康相談所ノ管理ニ屬スル事務ト、積立金運用ニ關シマスル事務ガ、今度新省ノ方ニ移ルコトニナリマスノデ其ノ經費ガ今迄ヨリモ減ジマス、ソレカラ本省ニ於キマ

シテハ、從來ノ仕事ノ中デ最も多ク變リマスノハ管理事務デアリマスガ、其ノ外ニ經費トシマシテ非常ニ大キナ變化ガアリマシテハ、現在簡易保險局ニ現業事務ヲ持ッテ居リマス其ノ部分ガ新省ノ方ニ移ルコトニナリマスノデ、其ノ經費ガ減ジマス、從ヒマシテ豫算トシマシテ遞信省ニ殘リマス本省ノ部分トシマシテハ、本省ノ局長ガ一人殘リマシテ、其ノ外ニ書記官ガ二名、事務官ガ二名ト云フ程度ノモノガ本省ニ殘リマス、大體ノ仕事ノ幅カラ參リマシタ經費ノ分配デアリマス

○子爵秋元春朝君 サウスルト現在トチットモヤリ方ニ於テ差異ガナイ譯デアリマスカ、詰リ金ガ違フダケノコトデ、差異ガナイ譯デスカ

○政府委員(手島榮君) 私ハ今豫算ノ方ノ金額ヲ主トシテ中心ニ申上ゲマシタガ、仕事トシマシテハ只今申上ゲマシタヤウニ現在ノ遞信省デヤッテ居リマス簡易保險、郵便年金ノ仕事ハ簡易保險、郵便年金ニ關シマスル一切ノ管理事務並ニ現業ノ郵便局デヤッテ居リマス仕事ヲ管轄シテ居ルノデアリマスガ、今度ハ只今申上ゲマシタヤウニ分リ易ク現業ノ方カラ申上ゲマシタガ、仕事ノ幅ガ郵便局デ取扱ッテ居リマスル募集

ト、其ノ維持ニ關シマスル仕事ノ監督的ナ仕事及ビ企畫的ナ仕事ダケヲ遞信省ニ殘スコトニナリマスノデ、仕事ノ幅トシマシテハ、今迄ヨリモ餘程遞信省所管ノ方ハ減ッテ參ルコトニ相成リマス

○今井田清徳君 私モ簡單ニ一言伺ヒタイト思ヒマス、只今取扱ノ範圍ニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、先程ノ御説明ニ依リマスルト、勅令ニ依ッテ事務ヲ遞信官署ニ委任スルト云フ御話デアリマスガ、其ノ勅令ニ依ッテ委任スルト云フコトハ法律上下ウ云フ性質、又筋道カラノ取扱ニナリマセウカ、サウシテソコニ現業事務ト云フモノハドウ云フ範圍ニ限定サレルノデアリマスガ、其ノ點ヲ豫メ承リタイト思ヒマス

○政府委員(伊勢谷次郎君) 勅令ニ依ッテ委託ト申シマスガ、簡易保險事業ハ保健社會大臣ノ所管ニナルノデアリマスガ、其ノ簡易保險事業ノ中ノ契約者ノ募集、保險料ノ集金並ニソレ等ノ現業事務ノ監督ハ、遞信局又ハ郵便局ヲシテ司掌セシメルト云フ形ノ勅令ヲ以テ委任スルト云フ恰好ニナルノデゴザイマスガ、丁度年金恩給ノ支給事務モ、其ノ所管致シテ居リマス所ハ内閣ノ恩給局デアリマスガ、其ノ支給事務ハ郵便局ヲシテ取扱ハシムルト云フ勅令ヲ以テ委

任セラレテ居ルト同ジ格好ニナルノデゴザイマス、ソレカラ次ノ御尋ノ委任セラレル幅デゴザイマスガ、是ハ郵便局ニ於ケル募集並ニ集金ノ事務、ソレカラ其ノ管理事務ト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、結局遞信局等ノ郵便局ヲ監督シテ居ル機關ノ募集、集金等ノ管理監督ノ事務ト云フモノガ其ノ委託ノ幅トナルト云フ譯デアリマス

○今井田清徳君 郵便局デ取扱ッテ居ル事務ノ管理監督ト云フ御話デアリマシタガ、郵便局デ取扱ッタ事務ノ結果ト云フモノハ、其ノ管理監督ノ中ニ含メテ最後ノ結末迄行カスト其ノ事務ガ完了シナイト云フコトニナルカト思フノデアリマスガ、其ノ點迄御加ヘニナリマスルカ、ドウデスカ

○政府委員(伊勢谷次郎君) 此ノ郵便局デ取扱ヒマスル保險契約ノ募集ニ付テ見マスルト云フト、契約ノ募集ハ委託サレテ居ルノデゴザイマスルガ、其契約ノ締結ト云フコトニナリマスルト云フト、委託事務中ニ入ッテ參リマセヌノデゴザイマス、ソレカラ又保險料ノ集金ト云フ點ニ於キマシテモ、其ノ歳入ノ調定ト云フ事務並ニ之ニ關聯シテ起リマスル原簿ノ登記デアリマスルト云フ即チソレヲ引括メテ申シマスルト云フ

ト、從來簡易保險局自體ノ持ッテ居リマシタ現業、郵便局ノ現業ニアラザル簡易保險局自體ノ持ッテ居リマシタ所謂中央現業ナルモノハ、委託セラレナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス

○今井田清徳君 次ニ尙一點伺ヒマスルガ、繰入金ノ算定ノ基礎デアリマスルガ、是ハ何カマダ確定ハ致シテ居ナイカト思フノデアリマスルガ、ドウ云フ方法デ御算定ニナルカ、大體ノ方針デモ決ッテ居リマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(手島榮君) 繰入金ノ算定ノ基礎ニ付キマシテハ、十三年度以降ノモノニ付キマシテハ更ニ關係省デ打合セラシテ今考ヘテ居リマスルノハ、一定ノ標準ヲ出シテ簡單ニ將來繰入金ノ額ヲ算定スルヤウナ方法ニシタイト考ヘテ居リマス、本年度ノ分ハ年度途中デアリマシタ爲ニ、十二年度成立豫算ヲ只今初メニ申上ゲマシタ仕事ノ分量ニ應ジマシテ、人ノ配置其ノ他ノモノガ決ッテ參リマシタノデ、ソレニ應ジマシテ成立豫算ヲ兩方ニ實際上能ク審議シマシテ分ケマシタ程度デゴザイマス

○今井田清徳君 簡易保險ノ事業ヲ移管スルノ是非ハ論ジナイト致シマシテ、其ノ事業ヲ二ツノ系統ノ官廳デ取扱フト云フコ

ト、其ノ維持ニ關シマスル仕事ノ監督的ナ仕事及ビ企畫的ナ仕事ダケヲ遞信省ニ殘スコトニナリマスノデ、仕事ノ幅トシマシテハ、今迄ヨリモ餘程遞信省所管ノ方ハ減ッテ參ルコトニ相成リマス

○今井田清徳君 次ニ尙一點伺ヒマスルガ、繰入金ノ算定ノ基礎デアリマスルガ、是ハ何カマダ確定ハ致シテ居ナイカト思フノデアリマスルガ、ドウ云フ方法デ御算定ニナルカ、大體ノ方針デモ決ッテ居リマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(手島榮君) 繰入金ノ算定ノ基礎ニ付キマシテハ、十三年度以降ノモノニ付キマシテハ更ニ關係省デ打合セラシテ今考ヘテ居リマスルノハ、一定ノ標準ヲ出シテ簡單ニ將來繰入金ノ額ヲ算定スルヤウナ方法ニシタイト考ヘテ居リマス、本年度ノ分ハ年度途中デアリマシタ爲ニ、十二年度成立豫算ヲ只今初メニ申上ゲマシタ仕事ノ分量ニ應ジマシテ、人ノ配置其ノ他ノモノガ決ッテ參リマシタノデ、ソレニ應ジマシテ成立豫算ヲ兩方ニ實際上能ク審議シマシテ分ケマシタ程度デゴザイマス

○今井田清徳君 簡易保險ノ事業ヲ移管スルノ是非ハ論ジナイト致シマシテ、其ノ事業ヲ二ツノ系統ノ官廳デ取扱フト云フコ

トハ、種々ノ點ニ於テ支障ヲ生ズル虞ガアルノデアリマス、今日迄幸ニ非常ナル好成績ヲ收メテ參ッテ居ルノデアリマシテ、是ガ二ツノ官廳ニ於テ取扱フ爲ニ、其ノ成績ニ惡影響ヲ及スト云フヤウナコトガアッテハ相成ラスコトト存ズルノデアリマス、而モ其ノ影響ヲ出來ルダケ少クスルト云フコトヲ是非御考慮ヲ願ヒタイノデアリマシテ、ソレヲ考慮サレル上ニ於キマシテハ各、分擔事務ノ範圍ト云フコトガ、先ヅ第一ニ考ヘナケレバナラスコトドラウト思フノデアリマス、次ニハ之ヲ運用スル所ノ、所謂今申シマシタ繰入金ノ算定ト云フコトガ、事業其ノモノノ經濟ノ點カラ見マシテ、又其ノ現業務ヲ運用スル上ニ於キマシテ、非常ニ必要ナ要件デハナイカト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ十分ニ既ニ御承知ノコトトハ存ジマスルガ、此ノ上トモニ兩關係當局ニ於カレマシテ、十分御審議ヲ戴キマシテ將來運用上ニ何等ノ支障ノナイヤウニ御注意願ヒタイ、同時ニ簡易保險ノ積立金ハ今日非常ナ額ニ達シテ居リマシテ、是ハ簡易保險ノ契約者ノ利益ノ爲ヲ主トスルト同時ニ、社會公共ノ爲ニ運用サレテ居ルノデアリマス、其ノ運用ガ私共ハ大體今日迄理想的ニ進ンデ居ルヤウニ思フノ

デアリマス、將來此ノ運用ガ、此ノ事業ガ移管サレマシタ爲ニ著シク變更ヲ加ヘラレ改善サレルト云フコトナラバ、是ハ勿論異議ノナイコトデアリマスガ、著シク變更ヲ加ヘラレル爲ニ契約者ノ利益モナク、或ハ事業ノ經營上ニ不利益ヲ招クト云フコトノアリマスルコトハ、非常ニ避クベキコトト考ヘルノデアリマス、杞憂デハアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテ十分ニ御考慮ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ申シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 外ニ御質問ガナケレバ……

○橋本辰二郎君 此ノ特別會計ニ繰入金ヲナス金額ハ只今ノ御見込デハ幾何ニナッテ居リマスカ

○政府委員(手島榮君) 簡易保險特別會計カラ遞信事業特別會計ニ十二年度ニ繰入レマスル額ガ千五百十七萬九千四百八十六圓デゴザイマス、ソレカラ郵便年金特別會計カラ繰入レマスル額ガ二十四萬五千三百九十五圓デアリマス、十二年度ノ六箇月分デアリマス

○橋本辰二郎君 只今ノ簡易保險ヨリ通信事業ニ繰入レル額ハ千五百餘萬圓ト云フコトデアリマスガ、此ノ金額ナルモノハ簡易

保險ノ責任準備金及ビ其ノ費用ヲ控除シタル所ノ剩餘金デアリマスガ、如何ナモノデアリマスカ

○政府委員(伊勢谷次郎君) 御答ヲ申上ゲマス、只今申上ゲマシタ金額ハ郵便局デ簡易保險ノ募集、集金等ヲ扱フ取扱經費デアリマシテ、經費ノ性質ハ簡易保險ノ經營費ニ屬スルモノデゴザイマス、保險ノ積立金ノ方ハ又別ニソレノ算定シマシテ、簡易保險特別會計ノ方ヘ持つテ行キマシテ、繰入ラシナイ方ニアルノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 簡易保險ノ保險金額ヲ引上ゲマシテ、現在ノ四百五十圓デアリマスカ、之ヲ千圓位迄ニシヨウト云フ意嚮ガ政府ノ一部ニハアルト云フコトヲ聞キマシタガ、ソレニ付キマシテ簡易保險當局者ニ於キマシテハドウ云フ御考ヲ持つテ居ラレマスカ、又其ノ事柄ガ現在ノ民間ノ保險會社ニドウ云フ脅威ヲ與ヘルカ、脅威ヲ與ヘルトスレバソレニ對シテ何カ救済スルヤウナ方法ニ付テ御考ガアルカ、此ノ點ニ付テ承リタイ

○政府委員(田島勝太郎君) 御尋ノ點ニ付キマシテハ、衆議院ニ於キマシテモ質疑ガ繰返サレタノデゴザイマスガ、要スルニ新設保健社會省ニ於キマシテ相當ニ調査研究

ヲ致サレテ、御決定ニナル筋合ダト考ヘルノデアリマスガ、既ニ我々遞信當局ト致シマシテハ、四百五十圓ニ保險金額ノ制定ヲ致シマス際ニ、非常ナ摩擦ヲ生ジテ、色々ノ問題ヲ惹キ起シタ經驗ヲ持つテ居ルモノデゴザイマスルカラ、本問題ニ關シマシテハ慎重ニ考慮致シマシテ、各方面ニ起リマスル所ノ摩擦ヲ成ルベク少クスルヤウナ方法ニ於テ、決定ラスベキモノデナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、何レ新設省ノ大臣ガ御就任サレテ、相當ニ從來ノ沿革ヲ考慮セラレマシテ、適當ナ御決定ガアルト存ジテ居リマス

○橋本辰二郎君 現在ノ四百五十圓ニ付テ引上ゲル時ニ民間ヨリ相當ノ苦情ガアッタト云フコトハ聞イテ居リマスガ、其ノ當時ニ於ケル所ノ貨幣ノ價值ト今日ノ貨幣ノ價值トヲ比ベテ見マスト、相當ニ其處ニ懸隔ガアラウト思ヒマス、其ノ當時ニ於ケル四百五十圓ハ今日ニ於テハ之ヲ相當増額シテモ、結果ニ於テ別ニ何等ノ差ハナイカト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デセウカ

○政府委員(田島勝太郎君) 貨幣價值ノ低下トカ云フヤウナ點ハ、御承知ノ通りノ事情モアルト思ヒマス、ソレガ正確ニドウ云フ比例ヲ持つテ居リマスガハ、私トシテ今此

處デ御即答ヲ申上デ兼ネルノデアリマスケ
レドモ、要スルニ簡易保險ノ保險金額ノ増
加ノ必要ガアルデハナイカト云フ議論ハ目
下廣ク行ハレテ居ル意見デアリマス、又之
ニ對スル反對論モ相當ニ強ク行ハレテ居ル
ト思ッテ居リマス、左様ナ次第デゴザイマス
カラ、今日此ノ事務ガ移管セラレマス場合
ニ於テ、遞信當局ト致シマシテハ、的確ナ
ル御答ヲ申上ゲルコトノ出來ナイノヲ誠ニ
遺憾ト存ジマスルガ、左様ノ事情ニ鑑ミマ
シテ、新設省ニ於テ速カニ然ルベク御決定
ガアルト信ジテ居ル次第デゴザイマス

○橋本辰二郎君 御答辯ノ趣旨ハ能ク分リ
マシテ、只今ソレニ付テ御意見ヲ發表スル
時期デナイ、又位置デナイト云フコトモ分
リマスノデスガ、或一部ニ於テハ簡易保險
ヲ千圓程度ニ引上ゲテモ大キイ保險會社ニ
ハ何等ノ影響ハナイ、大保險會社ニ於テハ
比較的高額ノ保險契約ガ多イ、唯弱小保險
會社ニ於テハ、是ハ非常ナ影響ヲ及スモノ
デアル、併シナガラ現在ノ弱小保險會社ノ
中ニハ、此ノ保險收入ノ大部分ヲ營業費ニ
充當シテ居ルト云フヤウナモノ少カラズ、
其ノ基礎タルヤ甚ダ怪シキモノガアル、結
局是ハ被保險者ニ非常ニ迷惑ヲ及スモノデ
アルカラ、此ノ際政府ニ於テ簡易保險ノ金

額ヲ引上ゲルト同時ニ、弱小保險會社ノ合
同ヲ懲憑シ、又之ニ相當ノ保護ヲ加ヘテ、
サウシテ社ノ基礎ヲ鞏固ニシ、從テ其ノ經
營ヲ合理化セシメテ、仍以テ被保險者ノ
利益ヲ保護スルト云フコトガ、政府ノ當然
爲スベキ途デハナイカト云フヤウナ議論モ
アルヤウデアリマシテ、篤ト企畫廳關係ノ
御方ニ於キマシテモ、此ノ點ヲ能ク御考慮
セラレマシテ、適當ナ策ヲ立テラレンコト
ヲ希望シテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 他ニ御質問ゴ
ザイマセスカ、如何デアリマセウ、今日ハ
此ノ程度デ打切りマシテ、明日午前十時カ
ラ兩案ノ討論採決ニ移ッデハ……明日又御
質問ガアリマスカ

○子爵秋元春朝君 如何デス、此ノ方ダケ
決ヲ採ッテ、明日ハ船員法ダケニシテハ……
○委員長(侯爵西郷從德君) 今通信事業特
別會計ニ於ケル云々ノ、此ノ件ダケ今日採
決シテシマッテハドウカト云フ秋元子爵カ
ラノ動議ガアリマスカ、如何デスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○子爵伊集院兼知君 兎モ角ドナタモ御議
論ガナケレバ結構ト思ヒマス
○委員長(侯爵西郷從德君) 通信事業特
別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ

事務ノ取扱ニ要スル經費ニ關スル法律案、
是ノ討論ニ移リマス
○子爵秋元春朝君 私ハ原案ニ賛成致シマ
ス
○委員長(侯爵西郷從德君) 秋元委員ハ原
案ニ賛成デゴザイマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○委員長(侯爵西郷從德君) 全會一致原案
ニ御賛成ト認メマス、之ヲ以テ今日ノ會議
ヲ終リマスソレデハ是デ散會致シマス
午後四時二十九分散會
出席者左ノ如シ

委員長 侯爵西郷 從德君
副委員長 伯爵後藤 一藏君
委員 侯爵池田 宣政君
子爵伊集院兼知君
子爵松平 保男君
子爵秋元 春朝君
內田 重成君
男爵有地藤三郎君
白根 竹介君
今井田清德君
男爵井上 清純君
男爵深尾隆太郎君
橋本辰二郎君

國務大臣 油井 德藏君
岩田 宙造君
司法大臣 鹽野 季彦君

政府委員 企畫廳次長 井野 碩哉君
大藏參與官 中村三之丞君
大藏省銀行局長 入間野武雄君
海軍中將 豐田 副武君
司法省民事局長 大森 洪太君
司法省刑事局長 松阪 廣政君
遞信政務次官 田島勝太郎君
遞信參與官 犬養 健君
遞信省管船局長 小野 猛君
遞信省經理局長 手島 榮君
貯金局長 荻原 丈夫君
簡易保險局長 伊勢谷次郎君